

健康保険・船員保険 被保険者実態調査報告

平成 26 年 10 月



厚生労働省保険局

ま え が き

この報告書は、平成26年度に実施した健康保険・船員保険被保険者実態調査の結果をまとめたものである。

健康保険・船員保険被保険者実態調査は、健康保険及び船員保険の被保険者について、年齢、標準報酬月額、標準賞与額、所属している事業所の業態、規模及び被扶養者の年齢、続柄等を調査し、健康保険制度及び船員保険制度の健全な発展を期するための基礎資料を得ることを目的として実施している。

この調査は、昭和41年度から健康保険被保険者実態調査として、全国健康保険協会管掌健康保険（一般被保険者）及び健康保険組合管掌健康保険の被保険者を対象に実施されている。平成21年度からは平成20年10月に全国健康保険協会が発足したことに伴い、全国健康保険協会管掌健康保険（健康保険法第3条第2項被保険者）の被保険者を、平成22年度からは平成22年1月に船員保険を全国健康保険協会が管掌することとなったことに伴い、船員保険の被保険者を対象に加えている。

調査結果は、健康保険及び船員保険の被保険者や被扶養者の実態を示すものであり、受診動向や医療費の状況等を分析する際に欠かすことのできない基礎的統計である。

この報告書が、制度運営の基礎資料として広く各方面に利用されるならば誠に幸いである。

最後に、この調査の実施にあたり、ご協力をいただいた全国健康保険協会、健康保険組合の担当者の方々及び関係者各位に対し、深く感謝の意を表する。

平成27年10月

厚生労働省保険局調査課長

秋田 倫秀

目 次

第1章 調査の概要	7
-----------	---

第2章 調査結果の概要（健康保険被保険者実態調査）	12
---------------------------	----

1. 加入者の年齢構成	12
2. 被保険者の年齢構成	14
3. 被扶養者の年齢構成	17
4. 年齢階級別扶養率	21
5. 標準報酬月額別扶養率	26
6. 総報酬額階級別扶養率	28
7. 年齢階級別平均標準報酬月額	29
8. 年齢階級別平均標準賞与額	32
9. 年齢階級別平均総報酬額	36
10. 年齢階級別標準賞与額0円の被保険者の割合	39
11. 年齢階級別、被保険者期間別構成等	40
12. 業態別被保険者構成割合、扶養率等	43
13. 規模別被保険者構成割合、扶養率等	44
14. 被保険者数の推移について	45
15. コーホートによる続柄別扶養率の分析について	57
（参考）事業所の業態別・規模別事業所数、被保険者数の構成割合	61

第3章 調査結果の概要（船員保険被保険者実態調査）	63
---------------------------	----

1. 加入者の年齢構成	63
2. 被保険者の年齢構成	65
3. 被扶養者の年齢構成	66
4. 年齢階級別扶養率	68
5. 標準報酬月額別扶養率	70
6. 総報酬額階級別扶養率	72
7. 年齢階級別平均標準報酬月額	73
8. 年齢階級別平均標準賞与額	75
9. 年齢階級別平均総報酬額	78
10. 年齢階級別標準賞与額0円の被保険者の割合	80
11. 年齢階級別、被保険者期間別構成等	81
12. 規模別被保険者構成割合、扶養率等	84
13. 被保険者数の推移について	85

第4章 統計表	
---------	--

1. 全国健康保険協会管掌健康保険（一般被保険者）（全数統計）	89
---------------------------------	----

第1表	被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、被扶養者の性別、 被扶養者数、扶養率、平均標準報酬月額、平均標準賞与額 及び平均総報酬額	91
第2表	標準報酬月額別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数 及び平均標準報酬月額	92
第3表	標準賞与額階級別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数 及び平均標準賞与額	98
第4表	総報酬額階級別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数 及び平均総報酬額	104
第5表	標準報酬月額別・被扶養者数別・性別、被保険者数 及び平均標準報酬月額	111
第6表	標準賞与額階級別・被扶養者数別・性別、被保険者数 及び平均標準賞与額	115
第7表	総報酬額階級別・被扶養者数別・性別、被保険者数 及び平均総報酬額	119
第8表	都道府県別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、 平均年齢、被扶養者数及び扶養率	122
第9表	都道府県別・被扶養者の年齢階級別・性別、被扶養者数、 及び平均年齢	128
第10表	事業所の業態別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、 平均年齢及び被保険者数の構成比	134
第11表	被保険者の年齢階級別・事業所の規模別・性別、 被保険者数及び平均年齢	140
第12表	被扶養者の年齢階級別・性別・続柄別・被保険者の性別、 被扶養者数	147
第13表	被保険者の年齢階級別・性別・続柄別、被扶養者数	148
第14表	被保険者の年齢階級別・性別・被扶養者の年齢階級別・性別、 被扶養者数	150
第15表	標準報酬月額別・事業所の規模別・性別、被保険者数、 平均標準報酬月額、被扶養者数	156
第16表	標準賞与額階級別・事業所の規模別・性別、被保険者数、 平均標準賞与額、被扶養者数	162
第17表	被保険者－被扶養者別・年齢階級別、加入者数	168
第18表	被保険者－被扶養者別・年齢階級別、脱退者数	169
参考表	事業所の業態別・規模別事業所数及び被保険者数	170

2. 組合管掌健康保険（抽出率 1/100） 175

第1表	被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、被扶養者の性別、 被扶養者数、扶養率、平均標準報酬月額、平均標準賞与額 及び平均総報酬額	177
第2表	標準報酬月額別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数 及び平均標準報酬月額	178

第3表	標準賞与額階級別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数 及び平均標準賞与額	184
第4表	総報酬額階級別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数 及び平均総報酬額	190
第5表	標準報酬月額別・被扶養者数別・性別、被保険者数 及び平均標準報酬月額	197
第6表	標準賞与額階級別・被扶養者数別・性別、被保険者数 及び平均標準賞与額	201
第7表	総報酬額階級別・被扶養者数別・性別、被保険者数 及び平均総報酬額	205
第8表	都道府県別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、 平均年齢、被扶養者数及び扶養率	208
第9表	都道府県別・被扶養者の年齢階級別・性別、被扶養者数 及び平均年齢	214
第10表	事業所の業態別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、 平均年齢及び被保険者数の構成比	220
第11表	被保険者の年齢階級別・事業所の規模別・性別、 被保険者数及び平均年齢	226
第12表	被扶養者の年齢階級別・性別・続柄別・被保険者の性別、 被扶養者数	233
第13表	被保険者の年齢階級別・性別・続柄別、被扶養者数	234
第14表	被保険者の年齢階級別・性別・被扶養者の年齢階級別・性別、 被扶養者数	236
第15表	標準報酬月額別・事業所の規模別・性別、被保険者数、 平均標準報酬月額、被扶養者数	242
第16表	標準賞与額階級別・事業所の規模別・性別、被保険者数、 平均標準賞与額、被扶養者数	248
第17表	被保険者－被扶養者別・年齢階級別、加入者数	254
第18表	被保険者－被扶養者別・年齢階級別、脱退者数	255
第19表	年齢階級別・加入前制度別、加入者数	256
第20表	年齢階級別・脱退後制度別、脱退者数	257
3.	全国健康保険協会管掌健康保険（法第3条第2項被保険者）（全数統計）	259
第1表	被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、被扶養者の性別、 被扶養者数及び扶養率	261
第2表	都道府県別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、 平均年齢、被扶養者数及び扶養率	262
第3表	被扶養者の年齢階級別・性別・続柄別・被保険者の性別、 被扶養者数	269
第4表	被保険者の年齢階級別・性別・続柄別、被扶養者数	270
第5表	被保険者の年齢階級別・性別・被扶養者の年齢階級別・性別、 被扶養者数	272

第1表	被保険者の年齢階級別・性別・船舶種別、被保険者数、 被扶養者の性別、被扶養者数、扶養率、平均標準報酬月額、 平均標準賞与額及び平均総報酬額	281
第2表	標準報酬月額別・被保険者の年齢階級別・性別・船舶種別、 被保険者数及び平均標準報酬月額	286
第3表	標準賞与額階級別・被保険者の年齢階級別・性別・船舶種別、 被保険者数及び平均標準賞与額	298
第4表	総報酬額階級別・被保険者の年齢階級別・性別・船舶種別、 被保険者数及び平均総報酬額	300
第5表	標準報酬月額別・被扶養者数別・性別・船舶種別、被保険者数 及び平均標準報酬月額	303
第6表	標準賞与額階級別・被扶養者数別・性別・船舶種別、被保険者数 及び平均標準賞与額	305
第7表	総報酬額階級別・被扶養者数別・性別・船舶種別、被保険者数 及び平均総報酬額	307
第8表	都道府県別・被保険者の年齢階級別・性別・船舶種別、被保険者数、 平均年齢、被扶養者数及び扶養率	308
第9表	都道府県別・被扶養者の年齢階級別・性別・船舶種別、被扶養者数 及び平均年齢	310
第10表	被保険者の年齢階級別・船舶所有者の規模別・性別・船舶種別、 被保険者数及び平均年齢	312
第11表	被扶養者の年齢階級別・性別・船舶種別・続柄別・被保険者の性別、 被扶養者数	314
第12表	被保険者の年齢階級別・性別・船舶種別・続柄別、被扶養者数	318
第13表	被保険者の年齢階級別・性別・被扶養者の年齢階級別・性別 ・船舶種別、被扶養者数	320
第14表	標準報酬月額別・船舶所有者の規模別・性別・船舶種別、 被保険者数、平均標準報酬月額、被扶養者数	322
第15表	標準賞与額階級別・船舶所有者の規模別・性別・船舶種別、 被保険者数、平均標準賞与額、被扶養者数	324
第16表	被保険者－被扶養者別・年齢階級別・船舶種別、加入者数	326
第17表	被保険者－被扶養者別・年齢階級別・船舶種別、脱退者数	327

なお、船員保険については、第1表、第2表、第11表を除き船舶種別及び男女別に係る分を報告書に掲載していないが、政府統計の総合窓口（e-Stat）（URL <http://www.e-stat.go.jp>）にて公表している。

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、健康保険及び船員保険について、被保険者の年齢、標準報酬月額、標準賞与額、その所属している事業所の業態、規模及び被扶養者の年齢、続柄、異動の状況を調査し、制度運営のための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の対象及び調査客体

- (1) 組保管掌健康保険（以下「組合健保」という。）については、平成26年10月1日現在の被保険者並びに平成26年10月中に被保険者資格取得届及び被保険者資格喪失届により異動した者（以下「異動者」という。）を調査対象者とし、被保険者は健康保険組合（支部を有する健康保険組合にあっては支部）ごとに被保険者は100分の1（平成24年調査までは500分の1）、異動者（任意継続被保険者及び特例退職被保険者の資格取得者を除く。）については50分の1で系統抽出した者を調査客体とする。
- (2) 全国健康保険協会管掌健康保険（一般被保険者）（以下「協会（一般）」という。）については、平成26年10月1日現在の被保険者並びに平成25年10月から平成26年9月の間の異動者を調査対象者とし、その全数を調査客体とする。
- (3) 全国健康保険協会管掌健康保険（健康保険法第3条第2項被保険者）（以下「法第3条第2項被保険者」という。）については、平成26年10月1日現在の被保険者を調査対象者とし、その全数を調査客体とする。
- (4) 船員保険については、平成26年10月1日現在の被保険者並びに平成25年10月から平成26年9月の間の異動者を調査対象者とし、その全数を調査客体とする。

（参考）健康保険の加入者（被保険者及び被扶養者をいう。以下同じ。）については、平成20年4月に後期高齢者医療制度が施行されたことにより、後期高齢者広域連合の区域内に住所を有する75歳以上の者等はそれまで加入していた健康保険の加入者の資格を喪失し、後期高齢者広域連合が行う後期高齢者医療の被保険者になった。そのため、平成20年度調査より75歳以上の加入者は原則健康保険からいなくなる。

ただし、外国に住所を有する加入者は引き続き健康保険の加入者となることから、75歳以上の加入者も若干存在する。

また、船員保険の被保険者については、75歳以降の職務外の給付は後期高齢者医療から、職務上の給付は船員保険から給付されるため、75歳以上の被保険者も存在する。なお、船員保険の被扶養者については、健康保険と同様、原則75歳以上の者は船員保険からいなくなる。

3. 調査時点

被保険者は、平成26年10月1日現在、異動者は、組合健保にあっては平成26年10月中、協会（一般）及び船員保険にあっては平成25年10月から平成26年9月までの間とした。

4. 調査票及び調査事項

組合健保における調査票は次頁に掲げる様式とした。調査事項は調査票に記載のとおりである。また、協会（一般）及び法第3条第2項被保険者については、「健康保険被保険者実態調査 調査項目」に掲げる事項とし、船員保険については、「船員保険被保険者実態調査 調査項目」に掲げる事項とした。なお協会（一般）の異動者については当該調査事項によらず全国健康保険協会より集計表の提出を受けた（全国健康保険協会管掌健康保険（一般被保険者）第17表、18表）。

5. 集計及び解析

集計及び解析は厚生労働省保険局において行った。



政府統計

統計法に基づく国の統計
調査です。調査票情報の
秘密の保護に万全を期し
ます。

平成26年度 健康保険被保険者実態調査調査票

健康保険組合名 _____

適用区分	1. 強 制	2. 任 意	3. 任意継続	4. 特例退職							
事業所	都道府 県番号	業態番号	事業所の 被保険者数	人							
被 保 険 者	性 別	1. 男 2. 女	生 年 月	1. 明治 2. 大正 3. 昭和 4. 平成	年	月	被保険者等の区分	1. 被保険者 2. 加入者 3. 脱退者			
	資格取 得時期	1. 25年9月以前		2. 25年10月以降		標準報 酬月額	千円	標準 賞与額	千円		
	介護保険	1. 該当		2. 適用除外 ()		基準収入額適用申請		1. 該当		2. 不該当	
	加入者	1. 協会 2. 組合 3. 共済 4. 国保 5. その他 6. 不詳									
	脱退者	1. 協会 2. 組合 3. 共済 4. 国保 5. その他 6. 不詳 7. 死亡 8. 後期高齢者									
被 扶 養 者	性 別	生 年 月				続 柄		扶養開始時期		介護保険	
	1	1. 男 2. 女	1. 明 2. 大	3. 昭 4. 平	年	月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 25年9月以前 2. 25年10月以降		1. 該当 2. 適用除外 ()	
	2	1. 男 2. 女	1. 明 2. 大	3. 昭 4. 平	年	月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 25年9月以前 2. 25年10月以降		1. 該当 2. 適用除外 ()	
	3	1. 男 2. 女	1. 明 2. 大	3. 昭 4. 平	年	月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 25年9月以前 2. 25年10月以降		1. 該当 2. 適用除外 ()	
	4	1. 男 2. 女	1. 明 2. 大	3. 昭 4. 平	年	月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 25年9月以前 2. 25年10月以降		1. 該当 2. 適用除外 ()	
	5	1. 男 2. 女	1. 明 2. 大	3. 昭 4. 平	年	月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 25年9月以前 2. 25年10月以降		1. 該当 2. 適用除外 ()	
	6	1. 男 2. 女	1. 明 2. 大	3. 昭 4. 平	年	月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 25年9月以前 2. 25年10月以降		1. 該当 2. 適用除外 ()	
	7	1. 男 2. 女	1. 明 2. 大	3. 昭 4. 平	年	月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 25年9月以前 2. 25年10月以降		1. 該当 2. 適用除外 ()	
8	1. 男 2. 女	1. 明 2. 大	3. 昭 4. 平	年	月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 25年9月以前 2. 25年10月以降		1. 該当 2. 適用除外 ()		

被保険者証	記号	番号
-------	----	----

注) 1. 数字を選択する箇所については、該当数字及び文字を○で囲むこと。
2. 数字を記入する箇所については、算用数字で右詰めに記入すること。

健康保険被保険者実態調査 調査項目

以下の項目について、調査を行った。

【協会一般】

(被保険者の状況)

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| ①適用区分 | ②事業所の都道府県番号 | ③事業所の業態番号 |
| ④事業所の被保険者数 | ⑤性別 | ⑥生年月 |
| ⑦被保険者等の区分 | ⑧資格取得時期 | ⑨標準報酬月額 |
| ⑩標準賞与額 | ⑪介護保険の該当有無 | ⑫基準収入額適用申請有無 |

(被扶養者の状況)

- | | | |
|---------|------------|-----|
| ①性別 | ②生年月 | ③続柄 |
| ④扶養開始時期 | ⑤介護保険の該当有無 | |

【法第3条第2項被保険者】

(被保険者の状況)

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| ①適用区分 | ②事業所の都道府県番号 | ③事業所の業態番号 |
| ④事業所の被保険者数 | ⑤性別 | ⑥生年月 |
| ⑦被保険者等の区分 | ⑧資格取得時期 | ⑨介護保険の該当有無 |

(被扶養者の状況)

- | | | |
|---------|------------|-----|
| ①性別 | ②生年月 | ③続柄 |
| ④扶養開始時期 | ⑤介護保険の該当有無 | |

船員保険被保険者実態調査 調査項目

以下の項目について、調査を行った。

- ① 適用区分
- ② 船舶所有者の都道府県番号
- ③ 船舶所有者の業態番号
- ④ 船舶所有者の使用する船員の数
- ⑤ 被保険者等の性別
- ⑥ 被保険者等の生年月
- ⑦ 被保険者等の区分
- ⑧ 被保険者等の資格取得時期
- ⑨ 被保険者等の標準報酬月額
- ⑩ 被保険者等の標準賞与額
- ⑪ 被保険者等の介護保険の該当有無
- ⑫ 被保険者等の基準収入額適用申請有無
- ⑬ 加入者が加入前に適用されていた医療保険制度
- ⑭ 脱退者が脱退後に適用される医療保険制度
- ⑮ 被扶養者の性別
- ⑯ 被扶養者の生年月
- ⑰ 続柄
- ⑱ 被扶養者の扶養開始時期
- ⑲ 被扶養者の介護保険該当の有無

なお、強制適用被保険者については、再掲として船舶種別でも調査を行っている。船舶種別の内容については以下のとおり。

- 汽船等……………船舶の種類が、漁船以外の船舶（汽船（A船）及び機帆船（B船））をいう。
- 漁船（い）…船舶の種類が旧船員保険法第34条第1項第2号イ、ロ、ハのいずれかに該当する漁船（母船式漁業に従事する漁船に作業員として乗組む場合を除く。）（C船）をいう。
つまり、直接漁業に従事しない漁船をいう。
- 漁船（ろ）…船舶の種類が旧船員保険法第34条第1項第2号イ、ロ、ハのいずれにも該当しない漁船（母船式漁業に従事する漁船に作業員として乗組む場合を含む。）（D船）をいう。
つまり、直接漁業に従事する漁船をいう。

第2章 調査結果の概要（健康保険被保険者実態調査）

本調査では、協会（一般）及び法第3条第2項被保険者については全数、組合健保については100分の1の抽出率で抽出した被保険者（協会（一般）20,771,803人、組合健保156,899人、法第3条第2項被保険者12,240人）について集計を行った。また、協会（一般）については全数、組合健保については50分の1の抽出率で抽出した異動者（協会（一般）8,319,417人、組合健保8,644人）について集計を行った。

なお、平成26年9月末日現在の毎月事業状況報告書の被保険者数①と調査客体数②を比較すると、次表のとおりである。

	被保険者数①	調査客体数②	抽出倍率（①／②）
協会（一般）	20,771,803	20,771,803	1.0
組合健保	15,746,118	156,899	100.4
法第3条第2項被保険者	12,240	12,240	1.0

（注）被保険者数については速報値である。

1. 加入者の年齢構成

健康保険の加入者の年齢構成について、わが国の総人口及び75歳未満総人口をそれぞれ100%とした場合の年齢構成と比較したものが表1及び図1である。

協会（一般）及び組合健保の加入者の年齢構成を総人口及び75歳未満総人口の年齢構成と比較すると55歳未満までの割合が高く、その中でも組合健保の年齢構成は協会（一般）よりも高くなっている。また、法第3条第2項被保険者の加入者の年齢構成は55～69歳の者の割合が高くなっている。

後期高齢者医療制度の導入に伴い、原則75歳未満の者のみ健康保険の加入者になりうることから、75歳未満総人口と比較してみると、協会（一般）及び組合健保については、20歳未満では、75歳未満総人口の20.0%に対し、協会（一般）は22.9%、組合健保は25.1%とともに高く、20～39歳でも75歳未満総人口の26.1%に比べ、協会（一般）31.1%、組合健保32.8%とともに高くなっている。また、40～64歳でも、75歳未満総人口の38.5%に対し、協会（一般）は39.9%、組合健保39.2%とともに高くなっているが、65～74歳では、75歳未満総人口の15.4%に対し、協会（一般）6.1%、組合健保2.9%と、ともに低くなっている。

法第3条第2項被保険者については、20歳未満が13.2%、20～39歳が23.2%と、ともに75歳未満総人口に比べ低くなっているが、40～64歳、65～74歳はそれぞれ44.8%、16.7%と75歳未満総人口よりも高くなっている。

また、年齢階級別の構成割合をみると、協会（一般）では60歳未満、組合健保では55歳未満で75歳未満総人口を上回っているが、それ以降の年齢階級では逆に75歳未満総人口が協会（一般）及び組合健保を上回っている。

法第3条第2項被保険者の年齢構成については、40歳未満及び70歳以上では75歳未満総

人口を下回っているが、40歳以上70歳未満では逆に75歳未満総人口を上回っている。

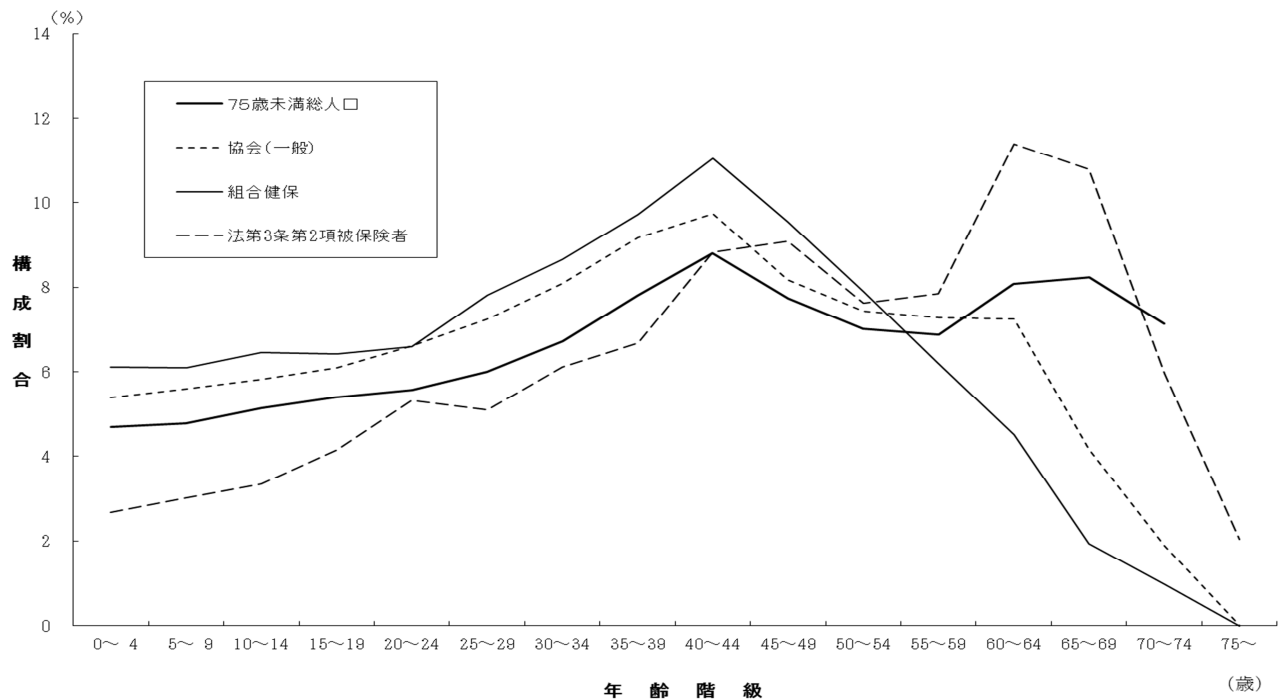
表1 総人口及び健康保険加入者の年齢構成（平成26年10月1日現在）

（単位：％）

年 齢 階 級	総人口	75歳未満 総人口	健 康 保 険		
			協会（一般）	組合健保	法第3条第2項 被保険者
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0～4歳	4.1	4.7	5.4	6.1	2.7
5～9	4.2	4.8	5.6	6.1	3.0
10～14	4.5	5.1	5.8	6.5	3.3
15～19	4.7	5.4	6.1	6.4	4.2
20～24	4.9	5.6	6.6	6.6	5.3
25～29	5.3	6.0	7.2	7.8	5.1
30～34	5.9	6.7	8.1	8.7	6.1
35～39	6.8	7.8	9.2	9.7	6.7
40～44	7.7	8.8	9.7	11.0	8.8
45～49	6.8	7.7	8.2	9.6	9.1
50～54	6.1	7.0	7.4	7.9	7.6
55～59	6.0	6.9	7.3	6.2	7.9
60～64	7.1	8.1	7.2	4.5	11.4
65～69	7.2	8.2	4.2	1.9	10.8
70～74	6.2	7.1	1.9	1.0	6.0
75歳以上	12.5	・	0.0	0.0	2.0
（再 掲）					
0～19	17.5	20.0	22.9	25.1	13.2
うち未就学児	5.8	6.6	7.1	7.9	3.5
20～39	22.8	26.1	31.1	32.8	23.2
40～64	33.7	38.5	39.9	39.2	44.8
65～74	13.4	15.4	6.1	2.9	16.7
平均年齢（歳）	—	40.9	36.7	34.4	45.4

（注） 「総人口」は、総務省統計局「平成26年10月1日現在推計人口」を用いている。

図1 加入者の年齢構成（平成26年10月1日現在）



2. 被保険者の年齢構成

被保険者の年齢階級別構成割合及び平均年齢について、平成21～26年までの調査結果を示したものが表2である。

20歳未満の構成割合は、協会（一般）は横ばいとなっており、組合健保は平成22年に減少に転じてその後横ばいとなっており、平成26年は、協会（一般）が0.8%、組合健保が0.6%となっている。また、法第3条第2項被保険者については、平成21年より横ばいとなっていたが、平成25年より増加に転じ、平成26年は0.8%となっている。

20～39歳の年齢構成は、協会（一般）、組合健保ともにゆるやかな減少傾向となっており、平成26年では協会（一般）は39.7%、組合健保は44.4%となっている。法第3条第2項被保険者については、増加傾向となっており、平成26年では22.4%となっている。

40～64歳の年齢構成は、協会（一般）、組合健保ともに緩やかな増加傾向となっており、平成26年には、協会（一般）53.1%、組合健保51.8%となっている。法第3条第2項被保険者については減少傾向となっており、平成26年には54.4%となっている。

65～74歳の年齢構成は、協会（一般）、組合健保ともに緩やかな増加傾向となっており、平成26年は協会（一般）6.4%、組合健保3.2%となっている。法第3条第2項被保険者については概ね増加傾向となっており平成26年は19.9%となっている。

また、平成26年の年齢構成を男女別にみると、協会（一般）の男性では40～44歳の割合が最も高く13.7%、次に35～39歳の12.9%となっており、協会（一般）の女性では40～44歳の割合が最も高く12.3%、次に45～49歳の11.7%となっている。一方、組合健保の男性では、40～44歳の割合が最も高く14.7%、次に45～49歳の13.2%となっており、また、組合健保の女性では25～29歳の割合が最も高く15.5%、次に高いのが30～34歳の14.6%となっている。また、法第3条第2項被保険者の男性では、60～64歳の割合が最も高く13.1%、次に65～69歳の割合が12.2%となっており、法第3条第2項被保険者の女性では、65～69歳の割合が最も高く18.7%、次に60～64歳の割合が18.5%となっている。

なお、平均年齢は、協会（一般）、組合健保については長期的に上昇傾向にあり、平成26年は協会（一般）44.3歳、組合健保42.2歳となっている。また、法第3条第2項被保険者は51.7歳となっている。男女別の平均年齢は、協会（一般）の男性が45.2歳、女性が42.9歳、組合健保の男性が43.4歳、女性が39.6歳、法第3条第2項被保険者の男性が50.6歳、女性が59.2歳となっている。組合健保の方が協会（一般）よりも男女間の年齢差が大きくなっており、法第3条第2項被保険者は男性よりも女性の平均年齢の方が高くなっている。

表2 被保険者の年齢構成（各年10月1日現在）

(1) 協会（一般）

(単位:%)

年齢階級	平成 21年	22年	23年	24年	25年	26年		
						総数	男性	女性
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
15～19歳	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.7	0.9
20～24	7.0	6.7	6.6	6.5	6.4	6.4	5.0	8.6
25～29	11.3	11.0	10.8	10.6	10.3	10.0	9.0	11.6
30～34	12.4	12.1	11.8	11.5	11.2	11.0	11.0	11.0
35～39	12.7	13.0	13.2	13.0	12.7	12.3	12.9	11.4
40～44	10.8	11.0	11.9	12.3	12.8	13.2	13.7	12.3
45～49	10.2	10.5	10.3	10.6	10.9	11.3	11.0	11.7
50～54	10.0	10.0	10.0	10.1	10.2	10.2	9.7	11.0
55～59	10.9	10.3	10.0	9.7	9.6	9.6	9.5	9.7
60～64	9.1	9.7	10.1	9.7	9.4	8.9	10.0	7.3
65～69	3.5	3.5	3.4	3.8	4.2	4.7	5.6	3.3
70～74	1.3	1.4	1.4	1.5	1.6	1.7	2.0	1.2
75歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(再 掲)								
20～39歳	43.4	42.9	42.3	41.6	40.6	39.7	37.8	42.6
40～64	51.1	51.5	52.2	52.4	52.8	53.1	53.9	51.9
65～74	4.9	4.9	4.8	5.3	5.8	6.4	7.6	4.5
平均年齢（歳）	43.6	43.8	43.8	44.0	44.1	44.3	45.2	42.9

(注) 平成25年以前の数値は、男女総数のものである。

(2) 組合健保

(単位:%)

年齢階級	平成 21年	22年	23年	24年	25年	26年		
						総数	男性	女性
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
15～19歳	0.9	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
20～24	7.8	7.1	6.8	6.4	6.4	6.4	5.2	9.0
25～29	12.9	12.9	12.5	13.1	12.3	12.1	10.6	15.5
30～34	13.6	13.4	12.9	12.5	12.7	12.6	11.8	14.6
35～39	14.9	15.0	14.8	14.6	14.0	13.3	12.9	14.1
40～44	13.0	13.5	14.2	14.3	14.6	14.6	14.7	14.2
45～49	10.8	11.3	11.3	11.7	12.2	12.8	13.2	11.9
50～54	8.9	9.2	9.4	9.5	10.1	10.5	11.2	8.9
55～59	8.9	8.3	8.4	8.4	8.0	8.1	9.1	6.0
60～64	5.7	6.2	6.7	6.1	6.1	5.8	6.8	3.7
65～69	1.8	1.7	1.6	1.9	2.1	2.2	2.6	1.2
70～74	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9	1.0	1.3	0.4
75歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(再 掲)								
20～39歳	49.1	48.4	47.1	46.6	45.4	44.4	40.4	53.1
40～64	47.4	48.4	49.9	50.0	51.0	51.8	55.1	44.7
65～74	2.7	2.6	2.5	2.8	3.0	3.2	3.9	1.6
平均年齢（歳）	41.3	41.5	41.8	41.9	42.1	42.2	43.4	39.6

(注) 平成25年以前の数値は、男女総数のものである。

(3) 法第3条第2項被保険者

(単位:%)

年齢階級	平成 21年	22年	23年	24年	25年	26年		
						総数	男性	女性
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
15～19歳	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.8	0.9	0.1
20～24	1.8	2.1	2.9	3.4	4.2	4.2	4.7	0.5
25～29	3.6	3.6	3.8	4.0	4.8	5.0	5.6	1.2
30～34	4.5	4.4	5.0	5.5	6.0	6.1	6.7	1.9
35～39	6.8	6.9	6.9	6.9	7.4	7.1	7.4	4.8
40～44	8.9	8.7	9.7	9.9	10.3	10.2	10.7	6.5
45～49	8.6	9.2	9.6	9.9	10.9	11.4	11.8	8.8
50～54	9.9	9.6	9.6	9.5	9.4	9.5	9.7	7.7
55～59	16.5	14.7	12.7	11.2	10.2	9.6	9.2	12.4
60～64	21.5	22.1	20.8	18.6	15.4	13.8	13.1	18.5
65～69	12.0	12.4	11.9	13.2	12.7	13.0	12.2	18.7
70～74	4.9	4.9	5.3	5.7	6.1	6.9	6.0	13.7
75歳以上	0.4	0.8	1.2	1.8	2.1	2.5	2.1	5.3
(再 掲)								
20～39歳	16.6	17.0	18.6	19.9	22.3	22.4	24.4	8.4
40～64	65.5	64.3	62.4	59.0	56.2	54.4	54.5	53.9
65～74	17.0	17.4	17.2	18.9	18.8	19.9	18.1	32.4
平均年齢 (歳)	53.5	53.5	52.9	52.7	51.7	51.7	50.6	59.2

(注) 平成25年以前の数値は、男女総数のものである。

3. 被扶養者の年齢構成

被扶養者の年齢構成について、平成21～26年までの調査結果を示したものが表3である。

被扶養者の20歳未満の割合は、協会（一般）、組合健保ともに概ね増加傾向となっており、平成26年は協会（一般）53.0%、組合健保53.9%となっている。また、法第3条第2項被保険者では37.1%となっている。

20～39歳の割合は、協会（一般）、組合健保ともに概ね減少傾向となっており、平成26年では、協会（一般）19.5%、組合健保19.1%となっている。また、法第3条第2項被保険者については24.9%となっており減少傾向となっている。

40～64歳の割合は、協会（一般）、組合健保ともに概ね横ばいとなっており、平成26年では協会（一般）21.8%、組合健保24.5%となっている。また、法第3条第2項被保険者については、26.3%となっている。

65～74歳の割合は、協会（一般）、組合健保ともに平成24年から増加傾向となっており、平成26年では協会（一般）5.6%、組合健保2.6%となっている。また、法第3条第2項被保険者は10.6%となっている。

表3 被扶養者の年齢構成（各年10月1日現在）

（1）協会（一般）

（単位：％）

年齢階級	平成 21年	22年	23年	24年	25年	26年
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0～4歳	12.6	12.7	12.8	12.8	12.8	12.7
5～9	13.1	13.0	12.9	12.9	13.1	13.2
10～14	13.3	13.3	13.4	13.6	13.7	13.8
15～19	12.7	12.8	12.9	13.0	13.2	13.3
20～24	7.0	7.1	7.2	7.1	7.0	6.9
25～29	3.9	3.9	3.9	3.8	3.7	3.5
30～34	4.9	4.7	4.6	4.4	4.3	4.2
35～39	5.5	5.5	5.5	5.3	5.1	4.9
40～44	4.4	4.4	4.7	4.8	5.0	5.1
45～49	3.7	3.8	3.7	3.8	3.9	4.0
50～54	3.9	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7
55～59	5.2	4.9	4.6	4.4	4.2	4.2
60～64	4.9	5.3	5.6	5.5	5.3	5.0
65～69	2.8	2.7	2.6	2.8	3.1	3.5
70～74	2.1	2.0	2.0	2.0	2.0	2.1
75歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
（再 掲）						
0～19歳	51.7	51.9	52.0	52.3	52.7	53.0
うち未就学児	16.5	16.5	16.6	16.7	16.7	16.7
20～39	21.3	21.2	21.1	20.6	20.1	19.5
40～64	22.0	22.2	22.3	22.1	22.0	21.8
65～74	4.9	4.8	4.6	4.9	5.2	5.6

(2) 組合健保

(単位: %)

年齢階級	平成 21年	22年	23年	24年	25年	26年
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0～4歳	12.8	13.1	13.3	13.3	13.2	13.3
5～9	13.9	13.4	13.3	13.2	13.5	13.3
10～14	13.2	13.5	13.5	13.7	14.1	14.0
15～19	12.1	12.6	12.3	12.6	12.9	13.3
20～24	6.8	6.8	7.1	6.9	6.6	6.8
25～29	3.0	2.9	3.0	2.8	2.8	2.7
30～34	4.8	4.8	4.5	4.4	4.0	4.0
35～39	6.9	6.6	6.5	6.1	6.0	5.5
40～44	6.1	6.1	6.6	6.8	6.9	6.9
45～49	5.3	5.4	5.3	5.5	5.6	5.7
50～54	4.7	4.7	4.5	4.6	4.8	4.9
55～59	4.8	4.3	4.3	4.0	3.9	3.9
60～64	3.0	3.2	3.5	3.6	3.1	3.0
65～69	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.6
70～74	1.0	1.1	1.0	1.1	1.0	1.0
75歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(再 掲)						
0～19歳	51.9	52.5	52.4	52.8	53.7	53.9
うち未就学児	17.0	17.0	17.2	17.3	17.3	17.2
20～39	21.5	21.1	21.1	20.2	19.3	19.1
40～64	24.0	23.7	24.1	24.5	24.4	24.5
65～74	2.6	2.6	2.4	2.5	2.5	2.6

(3) 法第3条第2項被保険者

(単位: %)

年齢階級	平成 21年	22年	23年	24年	25年	26年
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0～4歳	6.1	6.4	7.2	7.4	7.6	7.8
5～9	7.8	7.9	8.0	8.0	8.3	8.8
10～14	9.2	9.3	9.3	9.7	9.7	9.8
15～19	9.1	9.9	10.6	10.6	10.5	10.7
20～24	7.8	7.5	8.1	7.9	7.6	7.6
25～29	6.6	6.6	5.9	6.0	5.7	5.2
30～34	6.6	6.5	6.3	6.1	6.1	6.2
35～39	6.9	6.9	6.5	6.4	6.1	5.9
40～44	4.5	4.8	5.7	5.9	6.0	6.3
45～49	4.3	4.2	4.1	4.3	4.7	4.6
50～54	4.4	4.3	4.1	4.0	3.9	4.1
55～59	6.7	6.2	5.4	5.0	4.8	4.5
60～64	9.2	9.5	9.3	8.3	7.7	6.8
65～69	6.9	6.2	5.5	5.6	6.2	6.6
70～74	3.5	3.3	3.5	3.8	3.9	4.0
75歳以上	0.4	0.6	0.6	0.9	1.1	1.2
(再 掲)						
0～19歳	32.3	33.4	35.0	35.8	36.2	37.1
うち未就学児	8.3	8.7	9.4	9.7	10.0	10.1
20～39	27.9	27.6	26.8	26.4	25.5	24.9
40～64	29.1	28.9	28.5	27.6	27.1	26.3
65～74	10.4	9.6	9.0	9.3	10.1	10.6

次に、平成26年における被扶養者の続柄別の年齢構成を示したものが表4である。

被扶養者全体に占める子の割合は、協会（一般）62.1%、組合健保61.8%、法第3条第2項被保険者52.9%となっている。また、協会（一般）及び組合健保の子の大半は20歳未満となっており、20歳以上の子の割合は、協会（一般）9.4%、組合健保8.1%となっている。配偶者の割合は協会（一般）が33.1%、組合健保が36.3%、法第3条第2項被保険者が42.7%であり、協会（一般）、組合健保ともに40～44歳、法第3条第2項被保険者では60～64歳の階級が最も多くなっている。直系尊属は協会（一般）3.9%、組合健保1.6%、法第3条第2項被保険者2.2%であり、いずれも60歳以上が大半を占めており、年齢の上昇とともに割合も増加している。

また、その他の被扶養者（兄弟姉妹等）は、協会（一般）は1.0%、組合健保は0.4%、法第3条第2項被保険者は2.2%であり、いずれも各年齢階級に分布している。

表4 被扶養者の続柄別年齢構成（平成26年10月1日現在）

(1) 協会（一般）

(単位: %)

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	100.0	62.1	33.1	3.9	1.0
0～4歳	12.7	12.6	0.0	0.0	0.1
5～9	13.2	13.1	0.0	0.0	0.1
10～14	13.8	13.7	0.0	0.0	0.1
15～19	13.3	13.2	0.0	0.0	0.1
20～24	6.9	6.4	0.4	0.0	0.1
25～29	3.5	1.7	1.8	0.0	0.0
30～34	4.2	0.8	3.4	0.0	0.0
35～39	4.9	0.4	4.5	0.0	0.0
40～44	5.1	0.1	4.9	0.0	0.0
45～49	4.0	0.0	3.9	0.0	0.0
50～54	3.7	0.0	3.5	0.1	0.0
55～59	4.2	0.0	3.8	0.2	0.1
60～64	5.0	0.0	4.1	0.8	0.1
65～69	3.5	0.0	2.2	1.2	0.1
70～74	2.1	0.0	0.6	1.5	0.1
75歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(再掲) 未就学児	16.7	16.6	0.0	0.0	0.1

(2) 組合健保

(単位:%)

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	100.0	61.8	36.3	1.6	0.4
0～4歳	13.3	13.3	0.0	0.0	0.0
5～9	13.3	13.2	0.0	0.0	0.0
10～14	14.0	14.0	0.0	0.0	0.0
15～19	13.3	13.2	0.0	0.0	0.0
20～24	6.8	6.5	0.3	0.0	0.0
25～29	2.7	1.1	1.7	0.0	0.0
30～34	4.0	0.3	3.6	0.0	0.0
35～39	5.5	0.1	5.4	0.0	0.0
40～44	6.9	0.0	6.8	0.0	0.0
45～49	5.7	0.0	5.7	0.0	0.0
50～54	4.9	0.0	4.8	0.0	0.0
55～59	3.9	0.0	3.8	0.1	0.0
60～64	3.0	0.0	2.7	0.3	0.0
65～69	1.6	0.0	1.2	0.5	0.0
70～74	1.0	0.0	0.3	0.7	0.0
75歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(再掲) 未就学児	17.2	17.2	0.0	0.0	0.0

(3) 法第3条第2項被保険者

(単位:%)

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	100.0	52.9	42.7	2.2	2.2
0～4歳	7.8	7.6	0.0	0.0	0.2
5～9	8.8	8.5	0.0	0.0	0.3
10～14	9.8	9.6	0.0	0.0	0.1
15～19	10.7	10.4	0.1	0.0	0.1
20～24	7.6	6.3	1.1	0.0	0.1
25～29	5.2	3.5	1.6	0.0	0.2
30～34	6.2	2.9	3.1	0.0	0.2
35～39	5.9	2.2	3.6	0.0	0.1
40～44	6.3	1.4	4.8	0.0	0.1
45～49	4.6	0.2	4.3	0.0	0.0
50～54	4.1	0.2	3.8	0.0	0.0
55～59	4.5	0.0	4.3	0.1	0.1
60～64	6.8	0.0	6.3	0.3	0.2
65～69	6.6	0.0	6.0	0.5	0.1
70～74	4.0	0.0	2.9	1.0	0.1
75歳以上	1.2	0.0	0.7	0.3	0.1
(再掲) 未就学児	10.1	9.8	0.0	0.0	0.3

4. 年齢階級別扶養率

被保険者の年齢階級別にみた被保険者1人当たり被扶養者数（扶養率）について、平成21～26年まで示したものが表5であり、平成26年の総数をグラフにしたのが図2である。

年齢計でみた扶養率は減少傾向にあり、平成26年の協会（一般）については0.735、組合健保については0.851となっている。また、法第3条第2項被保険者は0.520となっている。

年齢階級別に扶養率の最近6年間の動きを見ると、ピークとなる年齢階級は協会（一般）は40～44歳、組合健保は45～49歳で毎年同じである。法第3条第2項被保険者は40～44歳となっている。

平成26年の年齢階級別扶養率を男女別にみると、男性については年齢の上昇とともに概ね増加し、ピーク時の扶養率は、協会（一般）が40～44歳の1.543、組合健保が45～49歳の1.711、法第3条第2項被保険者が40～44歳の0.749でピークとなる。それ以降は年齢の上昇とともに減少に転じており、平均扶養率は協会（一般）1.065、組合健保1.181、法第3条第2項被保険者0.553となっている。女性の扶養率は、概ね全年齢階級で男性より低く、平均扶養率は、協会（一般）0.219、組合健保0.138、法第3条第2項被保険者0.291となっている。また、協会（一般）、法第3条第2項被保険者は40～44歳でピークとなり、組合健保は45～49歳でピークとなる。その扶養率は協会（一般）0.423、組合健保0.266、法第3条第2項被保険者0.752である。

表5 被保険者の年齢階級別扶養率（各年10月1日現在）

（1）協会（一般）

年齢階級	平成 21年	22年	23年	24年	25年	26年		
						総数	男性	女性
総 数	0.772	0.770	0.769	0.758	0.748	0.735	1.065	0.219
15～19歳	0.029	0.027	0.026	0.025	0.025	0.026	0.039	0.010
20～24	0.105	0.103	0.098	0.092	0.087	0.084	0.151	0.024
25～29	0.333	0.331	0.330	0.320	0.309	0.294	0.473	0.078
30～34	0.746	0.736	0.728	0.718	0.710	0.699	1.014	0.205
35～39	1.095	1.078	1.067	1.051	1.039	1.024	1.407	0.346
40～44	1.241	1.215	1.197	1.174	1.155	1.135	1.543	0.423
45～49	1.165	1.147	1.122	1.092	1.068	1.042	1.501	0.364
50～54	0.913	0.906	0.899	0.872	0.849	0.826	1.255	0.232
55～59	0.643	0.651	0.661	0.651	0.641	0.626	0.936	0.148
60～64	0.594	0.595	0.598	0.591	0.584	0.574	0.790	0.111
65～69	0.576	0.581	0.583	0.582	0.581	0.575	0.760	0.081
70～74	0.488	0.491	0.493	0.494	0.494	0.493	0.668	0.049
75歳以上	0.314	0.331	0.294	0.311	0.327	0.323	0.485	0.018

（注）平成25年以前の数値は、男女総数の扶養率である。

(2) 組合健保

年齢階級	平成 21年	22年	23年	24年	25年	26年		
						総数	男性	女性
総 数	0.879	0.891	0.890	0.869	0.868	0.851	1.181	0.138
15～19歳	0.038	0.026	0.022	0.025	0.008	0.008	0.012	0.000
20～24	0.054	0.071	0.075	0.070	0.060	0.057	0.092	0.012
25～29	0.237	0.246	0.262	0.241	0.234	0.222	0.347	0.038
30～34	0.674	0.677	0.673	0.648	0.632	0.638	0.945	0.101
35～39	1.088	1.063	1.070	1.052	1.046	1.020	1.443	0.181
40～44	1.380	1.327	1.288	1.269	1.263	1.241	1.685	0.240
45～49	1.440	1.445	1.412	1.371	1.344	1.287	1.711	0.266
50～54	1.268	1.303	1.258	1.211	1.220	1.189	1.555	0.188
55～59	0.893	0.922	0.926	0.912	0.903	0.890	1.132	0.097
60～64	0.753	0.767	0.763	0.733	0.734	0.713	0.879	0.063
65～69	0.766	0.742	0.762	0.760	0.694	0.669	0.803	0.035
70～74	0.738	0.754	0.722	0.627	0.629	0.612	0.692	0.022
75歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—

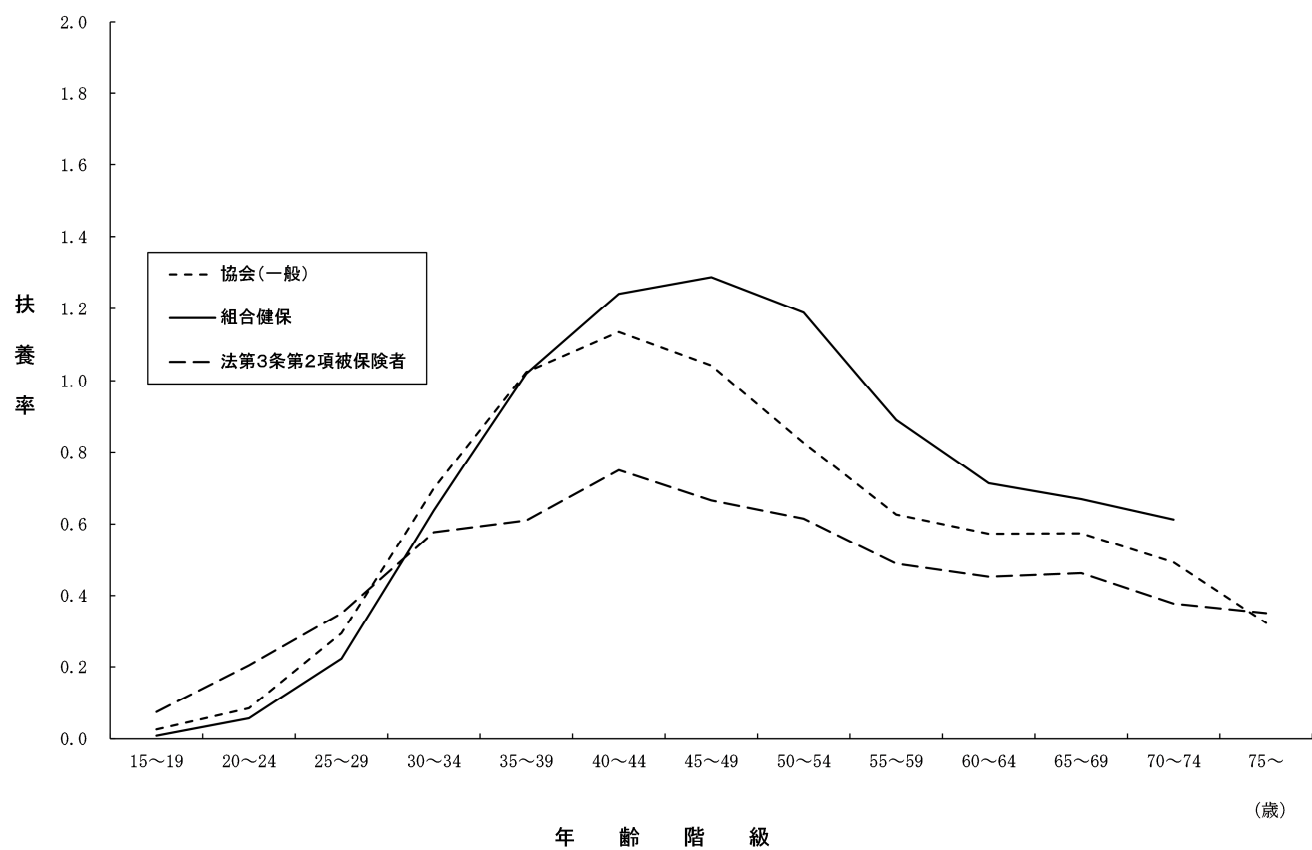
(注) 平成25年以前の数値は、男女総数の扶養率である。

(3) 法第3条第2項被保険者

年齢階級	平成 21年	22年	23年	24年	25年	26年		
						総数	男性	女性
総 数	0.525	0.516	0.502	0.499	0.523	0.520	0.553	0.291
15～19歳	0.019	0.068	0.032	0.018	0.028	0.074	0.074	0.000
20～24	0.185	0.191	0.263	0.238	0.206	0.204	0.200	0.500
25～29	0.424	0.407	0.388	0.366	0.357	0.351	0.358	0.105
30～34	0.547	0.530	0.536	0.539	0.554	0.578	0.592	0.233
35～39	0.766	0.749	0.719	0.723	0.642	0.610	0.631	0.392
40～44	0.758	0.732	0.731	0.708	0.726	0.749	0.749	0.752
45～49	0.749	0.714	0.687	0.694	0.680	0.666	0.679	0.547
50～54	0.564	0.596	0.578	0.589	0.627	0.615	0.643	0.370
55～59	0.459	0.463	0.439	0.431	0.479	0.489	0.549	0.187
60～64	0.433	0.431	0.415	0.412	0.466	0.453	0.489	0.275
65～69	0.406	0.396	0.376	0.372	0.453	0.463	0.525	0.186
70～74	0.450	0.393	0.366	0.389	0.401	0.378	0.447	0.169
75歳以上	0.396	0.421	0.348	0.318	0.317	0.351	0.435	0.122

(注) 平成25年以前の数値は、男女総数の扶養率である。

図2 被保険者の年齢階級別扶養率（平成26年10月1日現在）



次に、平成26年における被保険者の年齢階級別扶養率を続柄別に示したものが表6である。

年齢階級総数における続柄別の扶養率をみると、子は協会（一般）0.456、組合健保0.526、法第3条第2項被保険者は0.275、配偶者は協会（一般）0.243、組合健保0.309、法第3条第2項被保険者は0.222、直系尊属は協会（一般）0.028、組合健保0.014、法第3条第2項被保険者は0.012、その他は協会（一般）0.007、組合健保0.003、法第3条第2項被保険者は0.011と、概ね組合健保が一番高く、法第3条第2項被保険者が一番低くなっているが、直系尊属の扶養率は協会（一般）が一番高くなっている。

被保険者の年齢階級別にみた子の扶養率は山型をなしており、ピークは協会（一般）が40～44歳の0.800、組合健保が45～49歳の0.882、法第3条第2項被保険者が40～44歳の0.495である。配偶者の扶養率は、協会（一般）、組合健保及び法第3条第2項被保険者いずれも65～69歳が最も高くなっており、協会（一般）は0.464、組合健保は0.585、法第3条第2項被保険者が0.293となっている。直系尊属の扶養率は山型をなしており、協会（一般）、組合健保、法第3条第2項被保険者いずれも40～44歳がピークであり、協会（一般）が0.063、組合健保が0.028、法第3条第2項被保険者が0.037となっている。

表6 被保険者の年齢階級別、続柄別扶養率（平成26年10月1日現在）

（1）協会（一般）

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	0.735	0.456	0.243	0.028	0.007
15～19歳	0.026	0.008	0.008	0.007	0.003
20～24	0.084	0.043	0.028	0.010	0.004
25～29	0.294	0.180	0.092	0.019	0.004
30～34	0.699	0.470	0.189	0.035	0.005
35～39	1.024	0.715	0.249	0.054	0.006
40～44	1.135	0.800	0.265	0.063	0.008
45～49	1.042	0.736	0.248	0.049	0.009
50～54	0.826	0.553	0.250	0.014	0.009
55～59	0.626	0.322	0.294	0.001	0.009
60～64	0.574	0.163	0.401	0.000	0.009
65～69	0.575	0.101	0.464	0.000	0.010
70～74	0.493	0.067	0.417	0.000	0.010
75歳以上	0.323	0.048	0.267	0.000	0.008

(2) 組合健保

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	0.851	0.526	0.309	0.014	0.003
15～19歳	0.008	0.004	0.002	0.001	0.001
20～24	0.057	0.029	0.022	0.004	0.001
25～29	0.222	0.129	0.085	0.008	0.002
30～34	0.638	0.417	0.204	0.014	0.003
35～39	1.020	0.696	0.299	0.023	0.002
40～44	1.241	0.852	0.357	0.028	0.004
45～49	1.287	0.882	0.380	0.021	0.004
50～54	1.189	0.760	0.417	0.006	0.006
55～59	0.890	0.423	0.463	0.001	0.003
60～64	0.713	0.172	0.538	0.000	0.003
65～69	0.669	0.082	0.585	0.000	0.002
70～74	0.612	0.065	0.542	0.000	0.005
75歳以上	—	—	—	—	—

(注) 組合健保は100分の1の抽出調査なので調査対象が少数となる箇所がある。

(3) 法第3条第2項被保険者

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	0.520	0.275	0.222	0.012	0.011
15～19歳	0.074	0.032	0.032	0.011	0.000
20～24	0.204	0.112	0.088	0.002	0.002
25～29	0.351	0.208	0.133	0.008	0.002
30～34	0.578	0.349	0.186	0.027	0.016
35～39	0.610	0.397	0.193	0.014	0.007
40～44	0.749	0.495	0.215	0.037	0.002
45～49	0.666	0.423	0.210	0.026	0.006
50～54	0.615	0.384	0.209	0.009	0.012
55～59	0.489	0.261	0.209	0.005	0.014
60～64	0.453	0.163	0.266	0.001	0.023
65～69	0.463	0.155	0.293	0.001	0.013
70～74	0.378	0.080	0.285	0.000	0.013
75歳以上	0.351	0.072	0.262	0.000	0.016

5. 標準報酬月額別扶養率

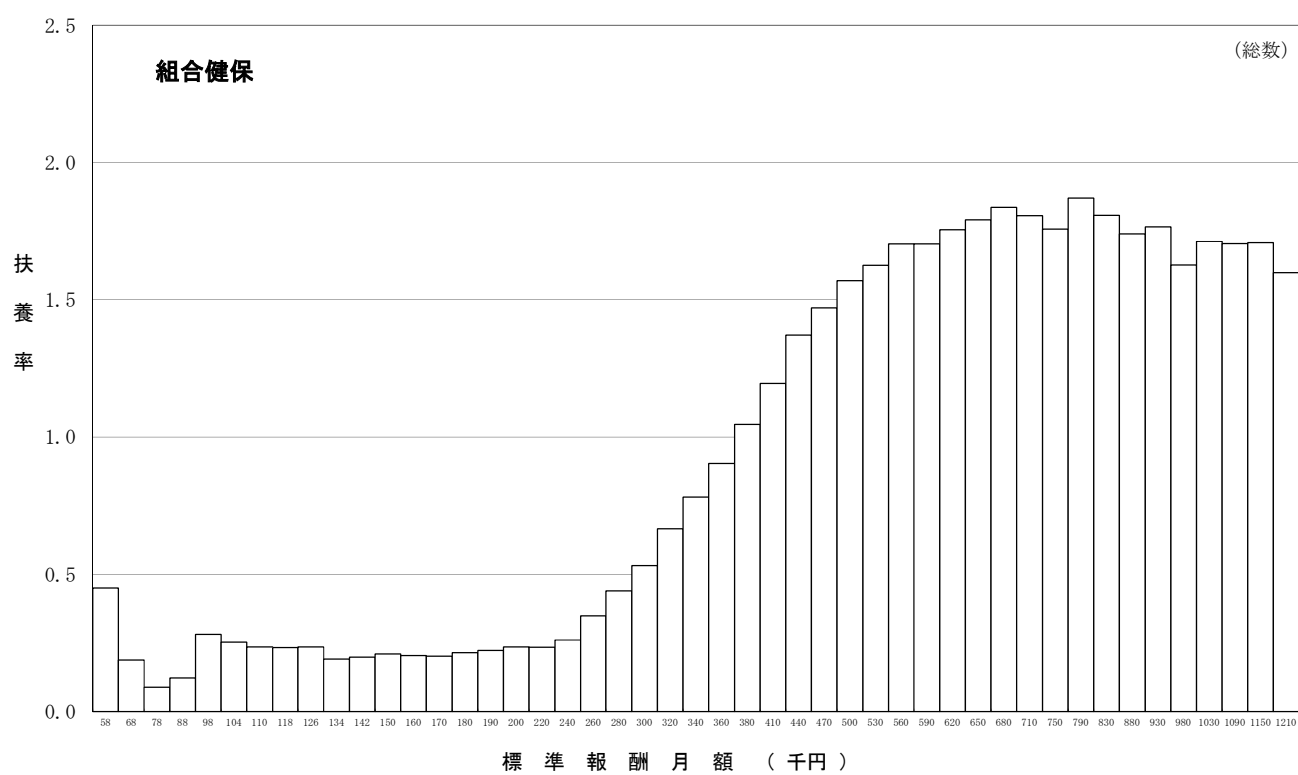
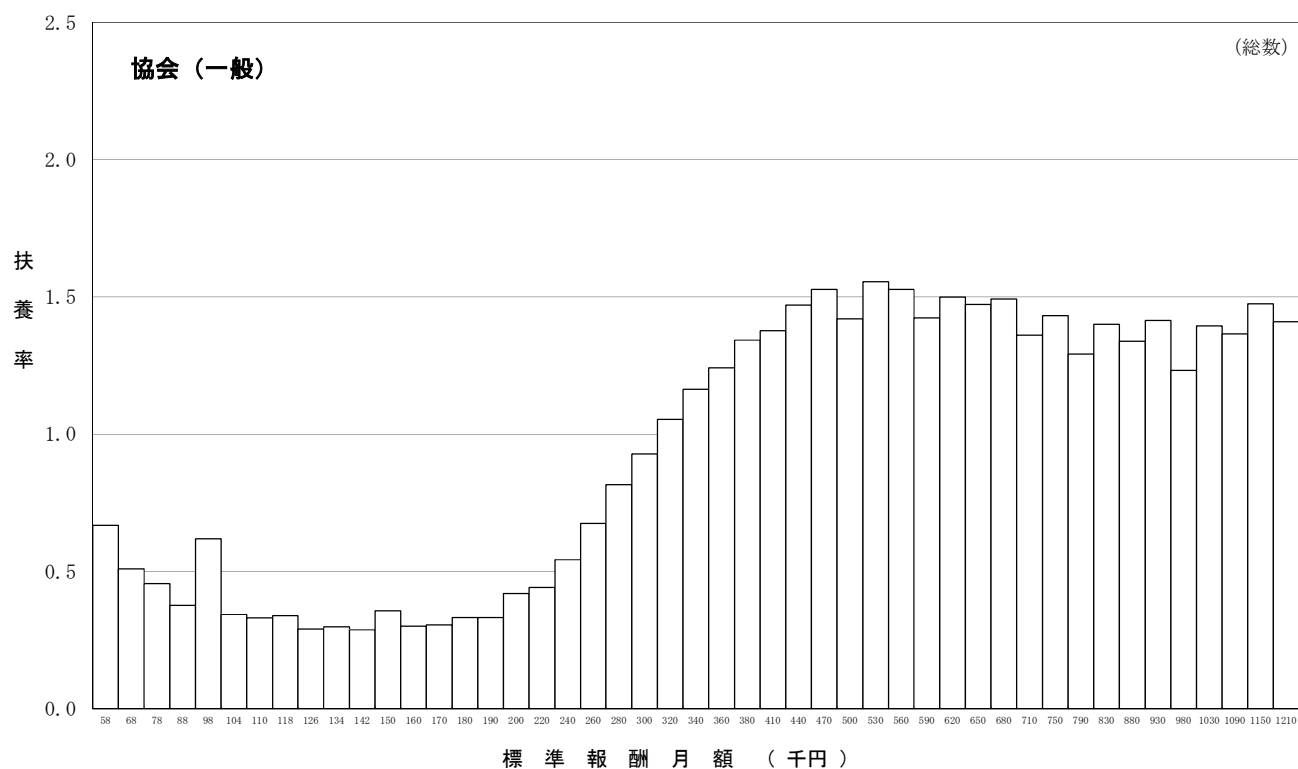
標準報酬月額別にみた扶養率を示したものが表7及び図3である。男性についてみると、協会（一般）は概ね標準報酬月額が19万円程度から47万円程度の間で、組合健保は概ね標準報酬月額が22万円程度から68万円程度の間で、標準報酬月額の上昇とともに扶養率も増加する傾向にある。

表7 標準報酬月額別扶養率（平成26年10月1日現在）

標準報酬月額	協会（一般）			組合健保		
	総 数	男 性	女 性	総 数	男 性	女 性
総 数	0.735	1.065	0.219	0.851	1.181	0.138
58,000 円	0.668	0.936	0.173	0.450	0.563	0.000
68,000	0.509	0.766	0.181	0.188	0.167	0.200
78,000	0.456	0.775	0.168	0.089	0.091	0.088
88,000	0.377	0.633	0.201	0.123	0.200	0.095
98,000	0.618	0.927	0.195	0.281	0.597	0.090
104,000	0.344	0.582	0.238	0.253	0.171	0.273
110,000	0.331	0.580	0.233	0.235	0.341	0.197
118,000	0.339	0.619	0.218	0.233	0.405	0.183
126,000	0.290	0.510	0.215	0.235	0.422	0.183
134,000	0.299	0.527	0.211	0.192	0.360	0.149
142,000	0.287	0.494	0.206	0.198	0.367	0.147
150,000	0.357	0.633	0.200	0.210	0.343	0.169
160,000	0.300	0.499	0.200	0.204	0.352	0.149
170,000	0.306	0.498	0.196	0.202	0.325	0.150
180,000	0.333	0.529	0.196	0.215	0.360	0.145
190,000	0.332	0.520	0.195	0.223	0.378	0.134
200,000	0.420	0.646	0.195	0.236	0.429	0.108
220,000	0.442	0.644	0.207	0.235	0.397	0.103
240,000	0.543	0.754	0.220	0.261	0.425	0.098
260,000	0.675	0.894	0.230	0.349	0.519	0.112
280,000	0.816	1.030	0.245	0.440	0.617	0.105
300,000	0.928	1.154	0.249	0.531	0.730	0.134
320,000	1.053	1.264	0.277	0.666	0.868	0.145
340,000	1.164	1.369	0.294	0.782	0.982	0.163
360,000	1.241	1.446	0.293	0.903	1.114	0.152
380,000	1.342	1.536	0.315	1.046	1.252	0.175
410,000	1.377	1.580	0.296	1.195	1.362	0.184
440,000	1.470	1.648	0.324	1.371	1.530	0.191
470,000	1.527	1.690	0.337	1.470	1.622	0.177
500,000	1.420	1.633	0.259	1.569	1.700	0.267
530,000	1.556	1.703	0.311	1.625	1.762	0.238
560,000	1.528	1.685	0.281	1.704	1.820	0.141
590,000	1.424	1.624	0.224	1.703	1.823	0.178
620,000	1.499	1.652	0.270	1.755	1.862	0.231
650,000	1.472	1.640	0.227	1.791	1.905	0.206
680,000	1.492	1.636	0.274	1.836	1.924	0.225
710,000	1.360	1.572	0.215	1.807	1.897	0.176
750,000	1.432	1.599	0.241	1.757	1.880	0.229
790,000	1.292	1.512	0.194	1.870	1.966	0.268
830,000	1.400	1.563	0.254	1.807	1.909	0.245
880,000	1.338	1.525	0.216	1.739	1.822	0.278
930,000	1.415	1.573	0.262	1.765	1.885	0.297
980,000	1.232	1.457	0.207	1.626	1.786	0.108
1,030,000	1.394	1.549	0.277	1.712	1.830	0.269
1,090,000	1.365	1.537	0.262	1.704	1.822	0.280
1,150,000	1.475	1.632	0.340	1.709	1.803	0.143
1,210,000	1.410	1.568	0.269	1.599	1.681	0.308

（注）組合健保は100分の1の抽出調査なので調査対象が少数となる箇所がある。

図3 標準報酬月額別扶養率（平成26年10月1日現在）



6. 総報酬額階級別扶養率

被保険者の標準報酬月額12ヶ月分に標準賞与額を加算したものを総報酬額とし、その総報酬額階級別に扶養率を示したものが表8である。男性についてみると、協会（一般）は概ね総報酬が150万円程度から850万円程度の間で、組合健保は概ね総報酬が100万円程度から1,050万円程度の間で、総報酬額の上昇に伴い扶養率も増加する傾向にある。また、800万円未満の階級においては、扶養率は協会（一般）の方が組合健保よりも概ね高くなっている。

表8 総報酬額階級別扶養率（平成26年10月1日現在）

総報酬額階級	協会（一般）			組合健保		
	総 数	男性	女性	総 数	男性	女性
総 数	0.735	1.065	0.219	0.851	1.181	0.138
～ 999,000 円	0.584	0.876	0.172	0.224	0.355	0.111
1,000,000 ～ 1,499,000	0.447	0.771	0.217	0.216	0.338	0.175
1,500,000 ～ 1,999,000	0.320	0.551	0.205	0.209	0.344	0.166
2,000,000 ～ 2,499,000	0.366	0.579	0.196	0.217	0.374	0.134
2,500,000 ～ 2,999,000	0.437	0.651	0.202	0.247	0.428	0.111
3,000,000 ～ 3,499,000	0.599	0.836	0.213	0.334	0.509	0.108
3,500,000 ～ 3,999,000	0.753	0.996	0.231	0.397	0.590	0.105
4,000,000 ～ 4,499,000	0.940	1.184	0.254	0.524	0.726	0.121
4,500,000 ～ 4,999,000	1.122	1.366	0.274	0.697	0.915	0.144
5,000,000 ～ 5,499,000	1.267	1.509	0.305	0.842	1.056	0.152
5,500,000 ～ 5,999,000	1.375	1.607	0.327	1.038	1.250	0.183
6,000,000 ～ 6,499,000	1.398	1.625	0.302	1.201	1.399	0.179
6,500,000 ～ 6,999,000	1.499	1.697	0.345	1.359	1.532	0.178
7,000,000 ～ 7,499,000	1.483	1.681	0.292	1.431	1.589	0.192
7,500,000 ～ 7,999,000	1.568	1.737	0.302	1.559	1.707	0.202
8,000,000 ～ 8,499,000	1.597	1.745	0.314	1.622	1.746	0.215
8,500,000 ～ 8,999,000	1.490	1.675	0.242	1.687	1.808	0.177
9,000,000 ～ 9,499,000	1.432	1.620	0.220	1.700	1.817	0.208
9,500,000 ～ 9,999,000	1.517	1.666	0.239	1.737	1.846	0.176
10,000,000 ～ 10,499,000	1.589	1.721	0.260	1.835	1.928	0.304
10,500,000 ～ 10,999,000	1.412	1.588	0.215	1.782	1.881	0.198
11,000,000 ～ 11,499,000	1.470	1.625	0.244	1.845	1.955	0.211
11,500,000 ～ 11,999,000	1.264	1.483	0.210	1.783	1.874	0.234
12,000,000 ～ 12,499,000	1.419	1.576	0.265	1.833	1.933	0.193
12,500,000 ～ 12,999,000	1.482	1.640	0.261	1.870	1.964	0.282
13,000,000 ～ 13,499,000	1.354	1.529	0.260	1.867	1.944	0.161
13,500,000 ～ 13,999,000	1.429	1.591	0.301	1.919	2.009	0.241
14,000,000 ～ 14,499,000	1.501	1.646	0.309	1.937	2.018	0.167
14,500,000 ～ 14,999,000	1.367	1.533	0.266	1.661	1.754	0.253
15,000,000 ～ 15,499,000	1.553	1.688	0.314	1.955	2.026	0.167
15,500,000 ～ 15,999,000	1.558	1.686	0.299	1.955	2.016	0.000
16,000,000 ～ 16,499,000	1.573	1.706	0.354	1.836	1.867	0.000
16,500,000 ～ 16,999,000	1.659	1.788	0.309	1.942	1.964	1.200
17,000,000 ～ 17,499,000	1.807	1.936	0.276	1.818	1.894	0.375
17,500,000 ～ 17,999,000	1.688	1.812	0.324	1.899	2.039	0.273
18,000,000 ～ 18,499,000	1.672	1.772	0.344	1.756	1.831	0.600
18,500,000 ～ 18,999,000	1.573	1.679	0.267	1.738	1.873	0.500
19,000,000 ～ 19,499,000	1.600	1.686	0.284	1.950	2.053	0.000
19,500,000 ～ 19,999,000	1.453	1.543	0.213	1.542	1.573	0.571
20,000,000 ～	1.556	1.655	0.282	1.231	1.333	0.000

（注1）組合健保は100分の1の抽出調査なので調査対象が少数となる箇所がある。

（注2）総報酬額は、標準報酬月額12ヶ月分に標準賞与額（平成25年10月1日から平成26年9月30日までの1年間に支払われたもの）を加えたものとしている。

7. 年齢階級別平均標準報酬月額

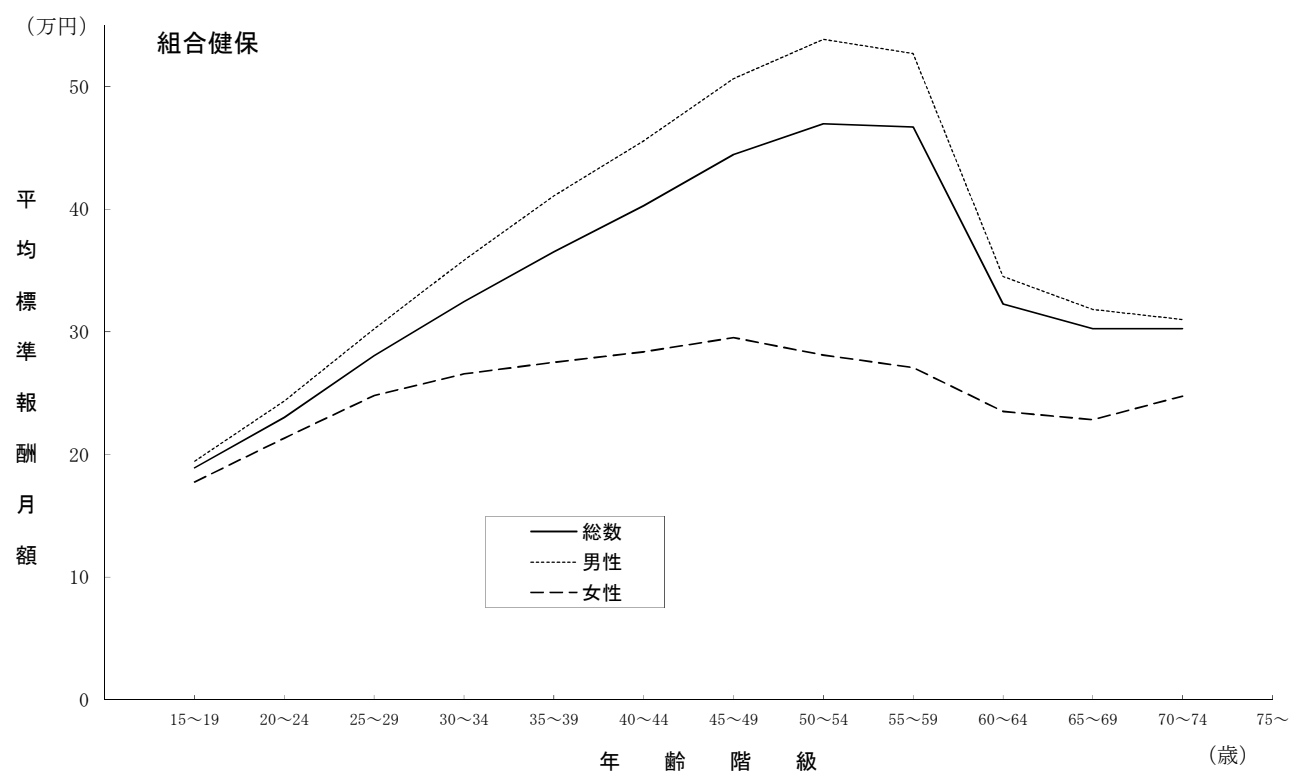
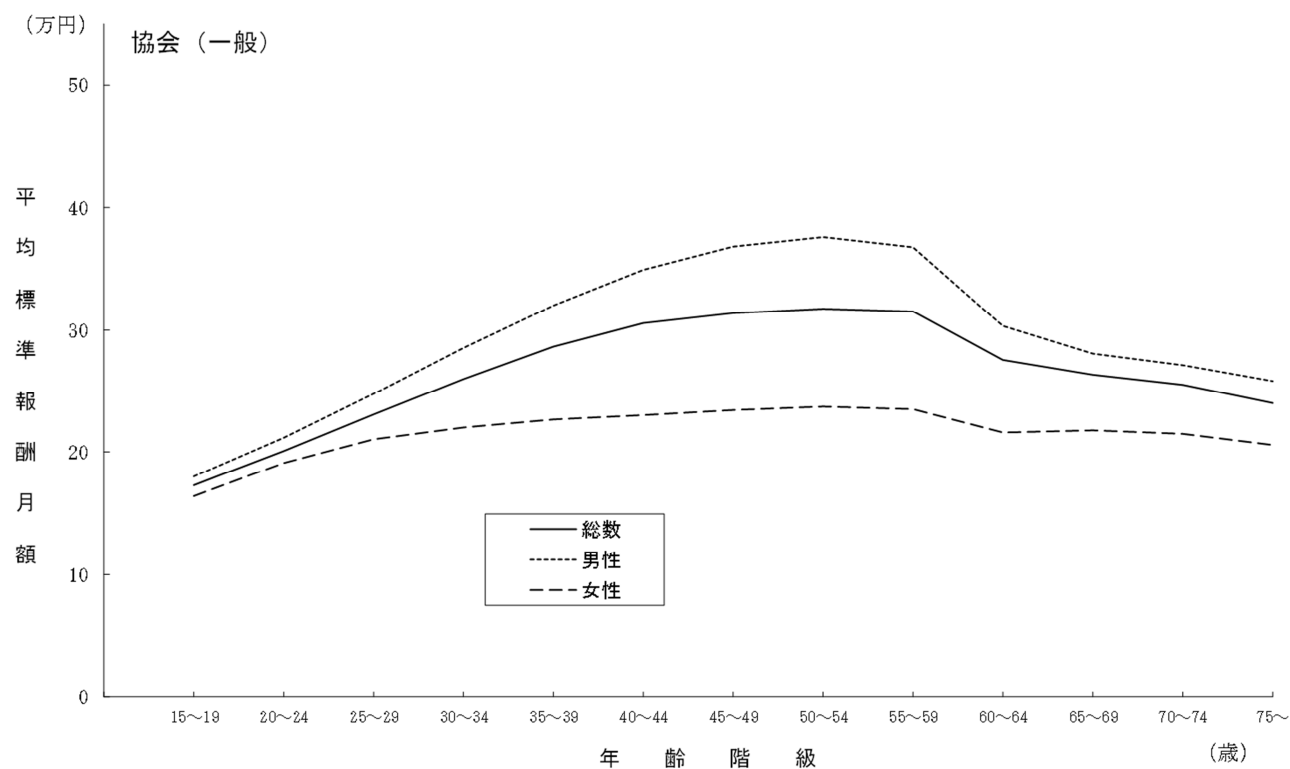
被保険者の年齢階級別にみた平均標準報酬月額を示したものが表9－1及び図4である。男性は年齢階級別にみると山型をなしており、ピークは協会（一般）、組合健保ともに50～54歳で、協会（一般）が375,228円、組合健保が538,474円となっており、これを20歳未満の平均標準報酬月額と比較すると、協会（一般）は約2.09倍、組合健保は約2.77倍となっている。協会（一般）は40歳ごろ、組合健保は50歳ごろまでの平均標準報酬月額は年齢階級の上昇とともに2～4万円程度増加するが、その後はそれより小幅な増加となり、55歳を過ぎると平均標準報酬月額は年齢とともに概ね減少する傾向となっている。一方、女性の平均標準報酬月額は、協会（一般）は16万円～23万円台、組合健保は17万円～29万円台で推移している。

平均標準報酬月額について、組合健保の協会（一般）に対する比率でみると、男性は55～59歳、女性は45～49歳の階級が最も大きく、男性で約1.44倍、女性で約1.26倍となっており、また、平均では男性で約1.32倍、女性で約1.19倍となっている。

表9－1 年齢階級別平均標準報酬月額（平成26年10月1日現在）

年齢階級	① 協会（一般）			② 組合健保			比率（②／①）		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
	円	円	円	円	円	円			
総 数	280,444	317,506	222,396	370,565	419,236	265,177	1.321	1.320	1.192
15～19歳	172,660	179,844	163,940	189,072	194,485	177,512	1.095	1.081	1.083
20～24	200,714	211,548	190,958	230,264	243,693	213,436	1.147	1.152	1.118
25～29	230,733	247,631	210,294	280,452	302,340	248,029	1.215	1.221	1.179
30～34	259,829	285,294	219,976	324,743	358,472	265,782	1.250	1.256	1.208
35～39	286,301	320,038	226,551	365,316	410,842	275,160	1.276	1.284	1.215
40～44	305,584	348,858	230,236	402,858	455,757	283,633	1.318	1.306	1.232
45～49	313,748	367,601	234,209	444,531	506,548	295,319	1.417	1.378	1.261
50～54	317,347	375,228	237,119	469,540	538,474	281,082	1.480	1.435	1.185
55～59	315,214	367,081	235,052	467,150	526,951	270,945	1.482	1.436	1.153
60～64	275,402	303,228	215,934	322,752	345,125	235,070	1.172	1.138	1.089
65～69	263,379	280,601	217,580	302,592	318,306	228,366	1.149	1.134	1.050
70～74	255,158	271,126	214,729	302,623	310,071	247,582	1.186	1.144	1.153
75歳以上	240,002	258,148	205,773	-	-	-	-	-	-
（再掲） 介護（2号）	306,241	352,224	231,468	427,743	482,960	280,462	1.397	1.371	1.212

図4 年齢階級別平均標準報酬月額（平成26年10月1日現在）



次に平成26年の平均標準報酬月額の伸び率を示したものが表9－2である。

平均標準報酬月額は、協会（一般）の総数は0.85％増、男性は0.88％増、女性は0.85％増、組合健保の総数は0.78％増、男性は1.01％増、女性は1.00％増となっている。この伸び率を報酬額変化分の要因と年齢構成の変化による分の要因に分解すると、報酬額変化分の影響で、協会（一般）の男性は0.79％増、女性は0.78％増、組合健保の男性は0.72％増、女性は0.83％増、年齢構成の変化による分の影響では、協会（一般）の男性は0.09％増、女性は0.06％増、組合健保の男性は0.29％増、女性は0.17％増となっている。また、組合健保について、男性が1.01％増、女性が1.00％増となっている中、総数では0.78％増となっているのは、比較的賃金水準の低い女性の割合が増加したことが要因である。

なお、報酬額変化分とは、年齢階級別の被保険者数を平成25年の調査客体数で固定し、年齢階級別の平均標準報酬月額のみを変動させてその伸び率を算出したものである。

表9－2 平均標準報酬月額伸び率の要因分解

(1) 協会（一般）

	平成25年平均 標準報酬月額 (円)	平成26年平均 標準報酬月額 (円)	伸び率 (%)	要因分解(%)	
				報酬額変化分	年齢構成の 変化による分
総数	278,077	280,444	0.85	0.75	0.10
男性	314,748	317,506	0.88	0.79	0.09
女性	220,529	222,396	0.85	0.78	0.06

(注) 総数の伸び率0.85%のうち男女比率の変化分による影響は▲0.02%である。

(2) 組合健保

	平成25年平均 標準報酬月額 (円)	平成26年平均 標準報酬月額 (円)	伸び率 (%)	要因分解(%)	
				報酬額変化分	年齢構成の 変化による分
総数	367,703	370,565	0.78	0.46	0.32
男性	415,054	419,236	1.01	0.72	0.29
女性	262,549	265,177	1.00	0.83	0.17

(注) 総数の伸び率0.78%のうち男女比率の変化分による影響は▲0.23%である。

8. 年齢階級別平均標準賞与額

平成25年10月1日から平成26年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額の平均を年齢階級別に示したものが表10及び図5である。

年齢階級別の分布をみると、男性は協会（一般）、組合健保とも標準報酬月額と同様の山型をなしており、協会（一般）は40～44歳の538,860円、組合健保は50～54歳の1,836,750円でピークとなっている。これを20歳未満の平均標準賞与額と比較すると、協会（一般）は約5.07倍、組合健保は約8.54倍となり、いずれも平均標準報酬月額の場合よりも比率が大きく、組合健保の場合は特に大きくなっている。

女性の平均標準賞与額も男性とほぼ同様の傾向にあるが、男性と比べるとなだらかである。また、年齢の上昇に伴い男性との差は大きくなる傾向にあり、その中でも40～50歳代では男性よりもかなり低い金額になっている。

平均標準賞与額について、組合健保の協会（一般）に対する比率は平均で男性が約2.90倍、女性が約1.73倍となっており、協会（一般）と組合健保との比率は平均標準報酬月額の場合よりも大きくなっている。

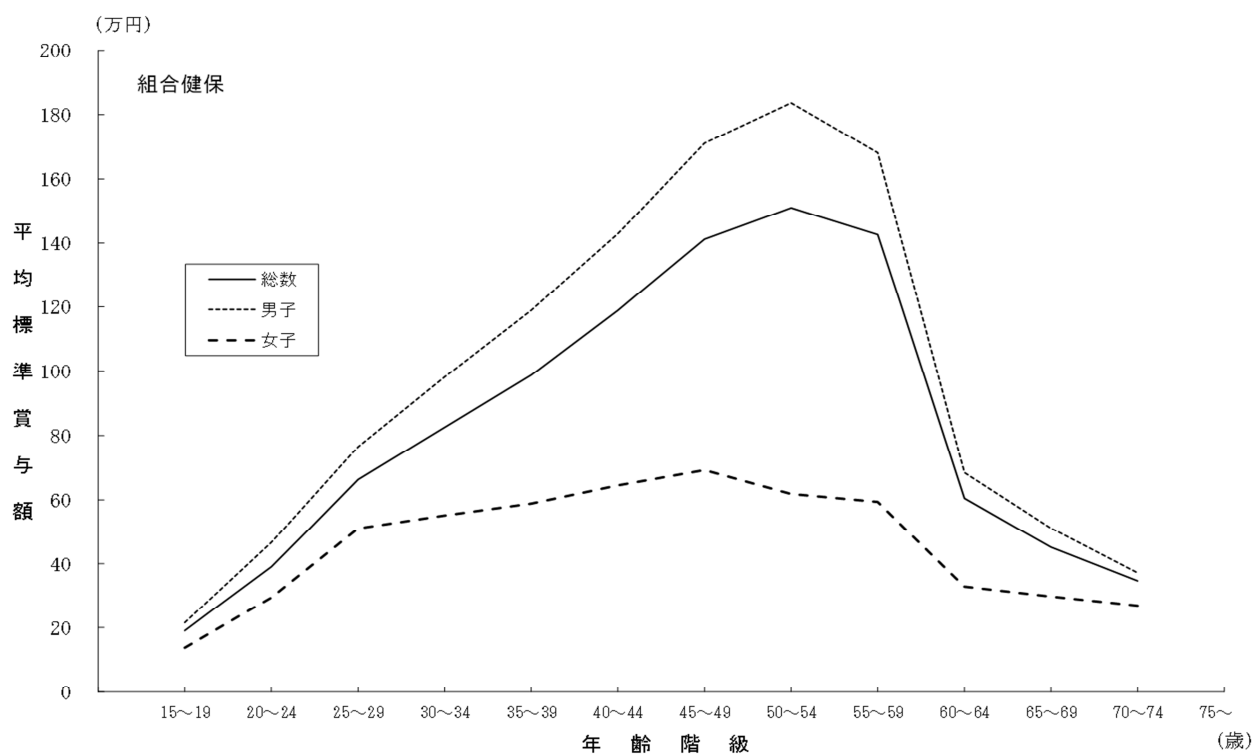
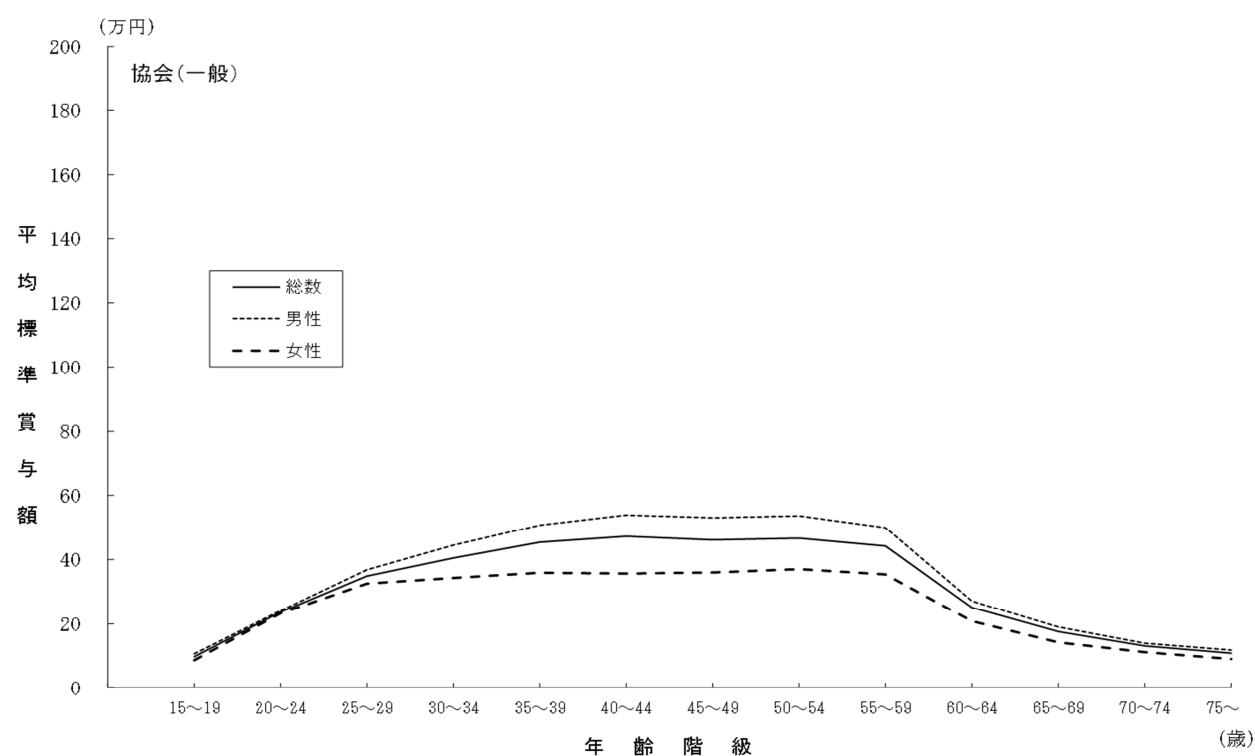
表10 年齢階級別平均標準賞与額（平成26年10月1日現在）

年齢階級	① 協会（一般）			② 組合健保			比率（②／①）		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
総 数	円 390,255	円 435,561	円 320,158	円 1,034,039	円 1,263,026	円 552,818	2.650	2.900	1.727
15～19 歳	97,137	106,365	85,937	190,518	215,184	137,675	1.961	2.023	1.602
20～24	237,352	241,531	233,587	390,254	467,325	293,488	1.644	1.935	1.256
25～29	349,467	369,050	325,770	662,864	764,719	511,479	1.897	2.072	1.570
30～34	405,606	445,435	343,311	825,532	981,828	551,425	2.035	2.204	1.606
35～39	454,573	507,982	360,092	987,766	1,188,881	588,137	2.173	2.340	1.633
40～44	472,405	538,860	356,884	1,188,298	1,428,851	645,084	2.515	2.652	1.808
45～49	461,740	530,583	360,292	1,412,067	1,711,108	692,207	3.058	3.225	1.921
50～54	466,744	536,152	370,812	1,510,528	1,836,750	618,528	3.236	3.426	1.668
55～59	442,387	499,613	354,276	1,426,208	1,681,415	593,732	3.224	3.365	1.676
60～64	251,551	272,086	208,736	604,744	684,291	328,153	2.404	2.515	1.572
65～69	176,125	190,202	142,394	452,334	511,590	297,255	2.568	2.690	2.088
70～74	131,309	139,683	111,732	346,224	371,611	268,525	2.637	2.660	2.403
75歳以上	108,069	117,851	89,765	-	-	-	-	-	-

（注1）平均標準賞与額は、平成26年10月1日現在の被保険者について、平成25年10月1日から平成26年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額の平均を任意継続被保険者及び特例退職被保険者を除いて算出している。

（注2）年齢階級については、平成26年10月1日現在の年齢階級である。

図5 年齢階級別平均標準賞与額（平成26年10月1日現在）



また、平均標準報酬月額と平均標準賞与額の比較を示したものが表11及び図6である。

総数における平均標準賞与額の平均標準報酬月額に対する比率をみると、協会（一般）は約1.39ヶ月分、組合健保は約2.79ヶ月分となっている。

この比率を年齢階級別にみると、協会（一般）、組合健保ともに山型をなしており、ピークは協会（一般）が35～39歳の約1.59ヶ月分、組合健保が50～54歳の約3.22ヶ月分となっている。その後は年齢の上昇とともに減少している。

次に男女別でみると、協会（一般）は男性、女性ともに35～39歳でピークとなっており、男性が約1.59ヶ月分、女性が約1.59ヶ月分となっている。組合健保は男性が50～54歳の約3.41ヶ月分、女性が45～49歳の約2.34ヶ月分でピークとなっている。

また図6をみると、平均標準賞与額の平均標準報酬月額に対する比率は、協会（一般）において男性と女性の間に大きな差は見られないが、組合健保においては男性の方が高くなっている。

表11 年齢階級別平均標準報酬月額と平均標準賞与額の比較（平成26年10月1日現在）

（１）協会（一般）

年齢階級	① 平均標準報酬月額			② 平均標準賞与額			比率（②/①）		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
	円	円	円	円	円	円			
総 数	280,444	317,506	222,396	390,255	435,561	320,158	1.392	1.372	1.440
15～19歳	172,660	179,844	163,940	97,137	106,365	85,937	0.563	0.591	0.524
20～24	200,714	211,548	190,958	237,352	241,531	233,587	1.183	1.142	1.223
25～29	230,733	247,631	210,294	349,467	369,050	325,770	1.515	1.490	1.549
30～34	259,829	285,294	219,976	405,606	445,435	343,311	1.561	1.561	1.561
35～39	286,301	320,038	226,551	454,573	507,982	360,092	1.588	1.587	1.589
40～44	305,584	348,858	230,236	472,405	538,860	356,884	1.546	1.545	1.550
45～49	313,748	367,601	234,209	461,740	530,583	360,292	1.472	1.443	1.538
50～54	317,347	375,228	237,119	466,744	536,152	370,812	1.471	1.429	1.564
55～59	315,214	367,081	235,052	442,387	499,613	354,276	1.403	1.361	1.507
60～64	275,402	303,228	215,934	251,551	272,086	208,736	0.913	0.897	0.967
65～69	263,379	280,601	217,580	176,125	190,202	142,394	0.669	0.678	0.654
70～74	255,158	271,126	214,729	131,309	139,683	111,732	0.515	0.515	0.520
75歳以上	240,002	258,148	205,773	108,069	117,851	89,765	0.450	0.457	0.436

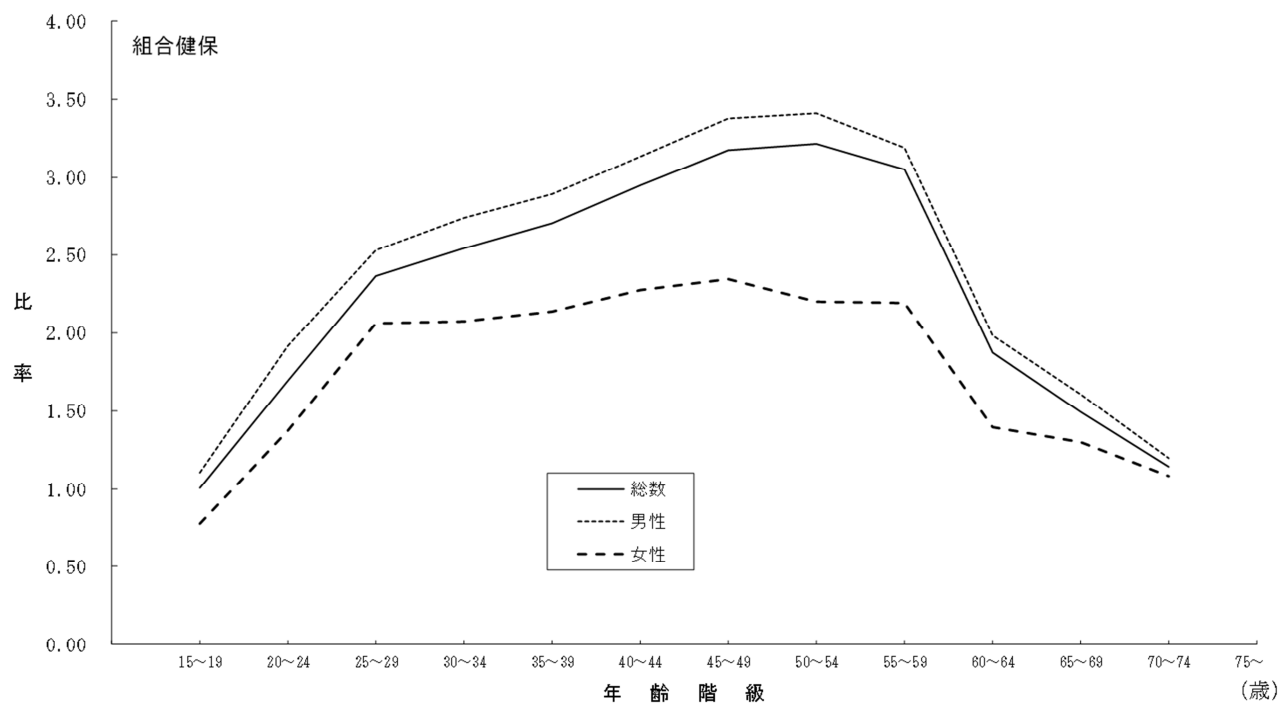
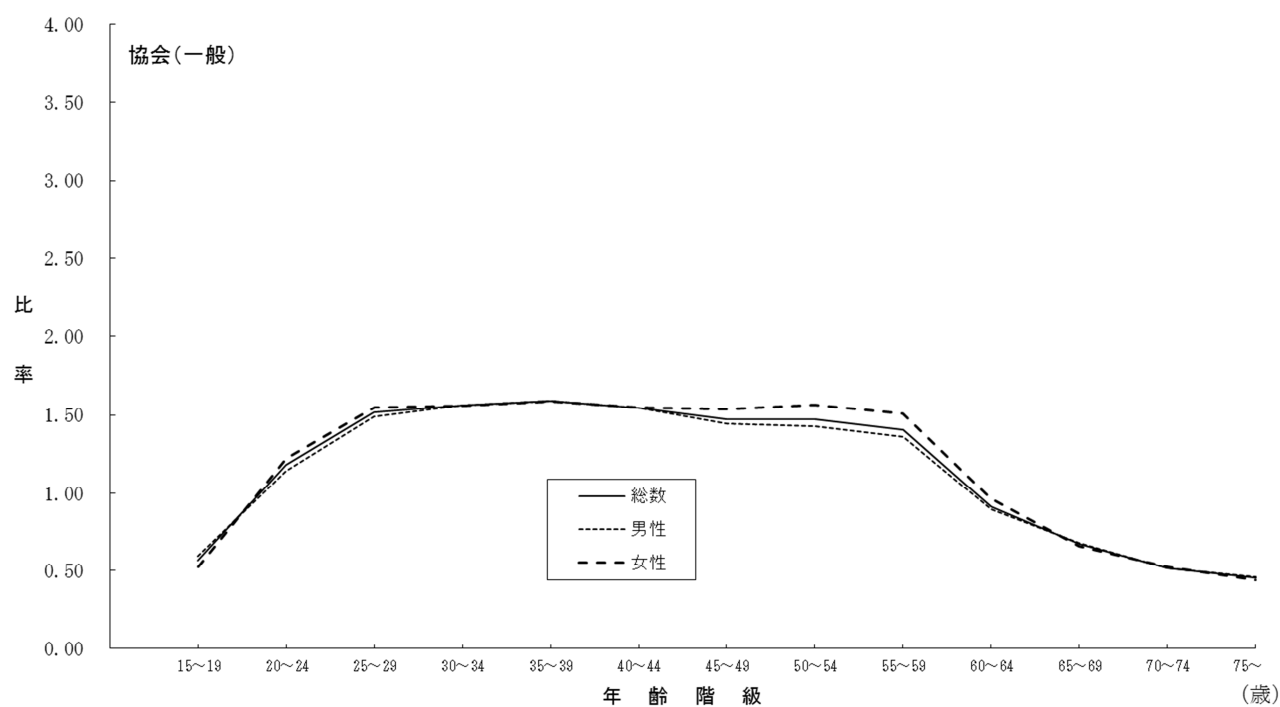
（２）組合健保

年齢階級	① 平均標準報酬月額			② 平均標準賞与額			比率（②/①）		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
	円	円	円	円	円	円			
総 数	370,565	419,236	265,177	1,034,039	1,263,026	552,818	2.790	3.013	2.085
15～19歳	189,072	194,485	177,512	190,518	215,184	137,675	1.008	1.106	0.776
20～24	230,264	243,693	213,436	390,254	467,325	293,488	1.695	1.918	1.375
25～29	280,452	302,340	248,029	662,864	764,719	511,479	2.364	2.529	2.062
30～34	324,743	358,472	265,782	825,532	981,828	551,425	2.542	2.739	2.075
35～39	365,316	410,842	275,160	987,766	1,188,881	588,137	2.704	2.894	2.137
40～44	402,858	455,757	283,633	1,188,298	1,428,851	645,084	2.950	3.135	2.274
45～49	444,531	506,548	295,319	1,412,067	1,711,108	692,207	3.177	3.378	2.344
50～54	469,540	538,474	281,082	1,510,528	1,836,750	618,528	3.217	3.411	2.201
55～59	467,150	526,951	270,945	1,426,208	1,681,415	593,732	3.053	3.191	2.191
60～64	322,752	345,125	235,070	604,744	684,291	328,153	1.874	1.983	1.396
65～69	302,592	318,306	228,366	452,334	511,590	297,255	1.495	1.607	1.302
70～74	302,623	310,071	247,582	346,224	371,611	268,525	1.144	1.198	1.085
75歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（注１）平均標準賞与額は、平成26年10月1日現在の被保険者について、平成25年10月1日から平成26年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額の平均を任意継続被保険者及び特例退職被保険者を除いて算出している。

（注２）年齢階級については、平成26年10月1日現在の年齢階級である。

図6 平均標準報酬月額と平均標準賞与額の比較（平成26年10月1日現在）



9. 年齢階級別平均総報酬額

被保険者の平均総報酬額を年齢階級別に示したものが表12－1及び図7である。

年齢階級別の分布をみると、男性は協会（一般）、組合健保ともに標準報酬月額と同様の山型をなしており、ピークとなる年齢階級は、協会（一般）、組合健保ともに50～54歳で、協会（一般）が5,035,390円、組合健保が8,286,231円となっている。女性の平均総報酬額についても男性とほぼ同様の傾向にあり、協会（一般）は50～54歳、組合健保は45～49歳でピークとなっているが、男性と比べるとなだらかなであり、年齢階級による格差があまりみられない。

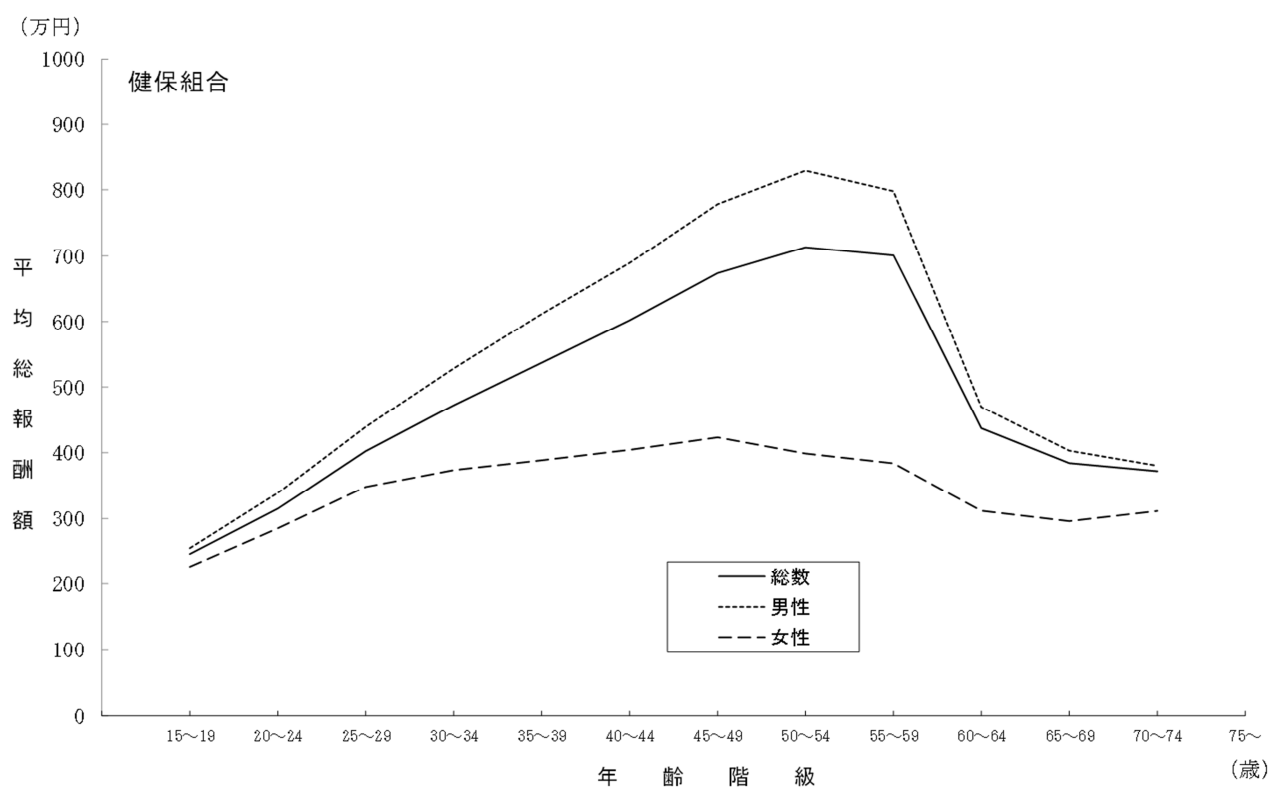
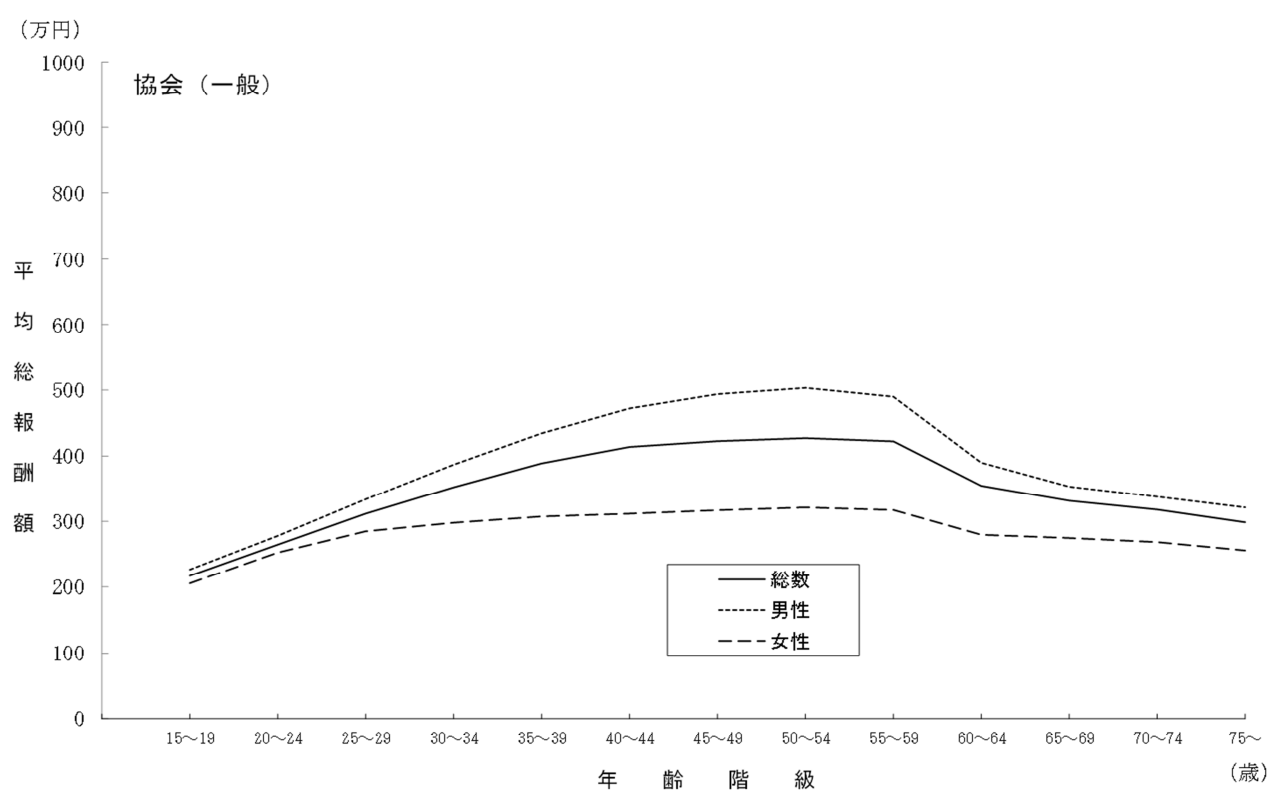
組合健保の協会（一般）に対する比率をみると、男性は50～54歳の約1.65倍、女性は45～49歳の約1.34倍で最も差が大きくなっており、また、平均では男性が約1.47倍、女性が約1.25倍となっている。

表12－1 年齢階級別平均総報酬額（平成26年10月1日現在）

年齢階級	① 協会（一般）			② 組合健保			比率（②／①）		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
	円	円	円	円	円	円			
総 数	3,750,028	4,237,388	2,986,716	5,445,816	6,239,507	3,727,216	1.452	1.472	1.248
15～19歳	2,169,013	2,264,435	2,053,181	2,459,177	2,549,008	2,267,360	1.134	1.126	1.104
20～24	2,645,465	2,779,674	2,524,610	3,152,523	3,390,971	2,853,724	1.192	1.220	1.130
25～29	3,116,994	3,339,367	2,848,035	4,025,462	4,390,581	3,484,621	1.291	1.315	1.224
30～34	3,521,639	3,866,754	2,981,525	4,719,451	5,281,075	3,737,679	1.340	1.366	1.254
35～39	3,887,982	4,345,774	3,077,221	5,367,441	6,115,389	3,886,279	1.381	1.407	1.263
40～44	4,137,082	4,722,184	3,118,325	6,017,916	6,893,146	4,045,285	1.455	1.460	1.297
45～49	4,224,449	4,938,704	3,169,514	6,740,242	7,782,436	4,232,750	1.596	1.576	1.335
50～54	4,272,420	5,035,390	3,214,879	7,134,900	8,286,231	3,987,301	1.670	1.646	1.240
55～59	4,221,643	4,900,106	3,173,052	7,010,426	7,977,134	3,838,690	1.661	1.628	1.210
60～64	3,546,553	3,898,125	2,795,183	4,371,197	4,690,999	3,117,853	1.233	1.203	1.115
65～69	3,316,898	3,531,137	2,747,160	3,842,286	4,029,062	2,959,995	1.158	1.141	1.077
70～74	3,182,394	3,378,751	2,685,241	3,722,629	3,804,572	3,117,055	1.170	1.126	1.161
75歳以上	2,986,222	3,213,258	2,557,950	—	—	—	—	—	—

（注）総報酬額は、標準報酬月額の12ヶ月分に標準賞与額（平成25年10月1日から平成26年9月30日までの1年間に支払われたもの）を加えたものとしている。

図7 年齢階級別平均総報酬額（平成26年10月1日現在）



次に平成26年の平均総報酬額の伸び率を示したものが表12－2である。

これによると、平均総報酬額は、協会（一般）の総数は1.11％増、男性は1.21％増、女性は0.94％増、組合健保の総数は1.43％増、男性は1.72％増、女性は1.55％増となっている。この伸び率を報酬額変化分の要因と年齢構成の変化による分の要因に分解すると、報酬額変化分の影響で、協会（一般）の男性は1.14％増、女性は0.89％増、組合健保の男性は1.39％増、女性は1.35％増、年齢構成の変化による分の影響で、協会（一般）の男性は0.07％増、女性は0.05％増、組合健保の男性は0.32％増、女性は0.20％増となっている。また、組合健保について男性が1.72％増、女性が1.55％増となっている中、総数では1.43％増となっているのは、比較的賃金水準の低い女性の割合が増加したことが要因である。

なお、報酬額変化分とは、年齢階級別の被保険者数を平成25年の調査客体数で固定し、年齢階級別の平均総報酬額のみを変動させてその伸び率を算出したものである。

表12－2 平均総報酬額の伸び率の要因分解

（1）協会（一般）

	平成25年 平均総報酬額 (円)	平成26年 平均総報酬額 (円)	伸び率 (%)	要因分解(%)	
				報酬額変化分	年齢構成の 変化による分
総数	3,708,998	3,750,028	1.11	1.02	0.08
男性	4,186,912	4,237,388	1.21	1.14	0.07
女性	2,959,008	2,986,716	0.94	0.89	0.05

（注）総数の伸び率1.11%のうち男女比率の変化分による影響は▲0.02%である。

（2）組合健保

	平成25年 平均総報酬額 (円)	平成26年 平均総報酬額 (円)	伸び率 (%)	要因分解(%)	
				報酬額変化分	年齢構成の 変化による分
総数	5,369,039	5,445,816	1.43	1.06	0.36
男性	6,134,040	6,239,507	1.72	1.39	0.32
女性	3,670,164	3,727,216	1.55	1.35	0.20

（注）総数の伸び率1.43%のうち男女比率の変化分による影響は▲0.25%である。

10. 年齢階級別標準賞与額0円の被保険者の割合

標準賞与額について、支給額が0円の被保険者の割合を年齢階級別に示したものが表13である。総数でみると、協会（一般）は0.372、組合健保は0.186となっており、協会（一般）の方が組合健保よりも割合が高くなっている。

次に男女別、年齢階級別にみると、男性については協会（一般）、組合健保ともに年齢の上昇に伴い、いったん割合は減少したのち、再び上昇する傾向にある。最も割合の低い年齢階級は、協会（一般）が30～34歳で0.303、組合健保が40～44歳で0.098となっており、逆に最も割合の高い年齢階級は、協会（一般）は75歳以上で0.840、組合健保は70～74歳で0.650となっている。女性についても男性と同様の傾向であり、最も割合の低い年齢階級は、協会（一般）が25～29歳で0.329、組合健保が55～59歳で0.221となっており、逆に最も割合の高い年齢階級は、協会（一般）が75歳以上で0.824、組合健保が70～74歳で0.535となっている。

表13 年齢階級別標準賞与額0円の被保険者の割合（平成26年10月1日現在）

年齢階級	協会（一般）			組合健保		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性
総 数	0.372	0.375	0.366	0.186	0.136	0.290
15～19歳	0.395	0.368	0.429	0.244	0.179	0.384
20～24	0.349	0.348	0.350	0.240	0.179	0.318
25～29	0.318	0.310	0.329	0.204	0.149	0.286
30～34	0.314	0.303	0.332	0.198	0.140	0.301
35～39	0.315	0.304	0.335	0.174	0.113	0.296
40～44	0.336	0.326	0.352	0.157	0.098	0.290
45～49	0.356	0.359	0.352	0.151	0.099	0.276
50～54	0.362	0.374	0.347	0.147	0.102	0.268
55～59	0.379	0.393	0.358	0.148	0.125	0.221
60～64	0.486	0.499	0.458	0.306	0.299	0.331
65～69	0.625	0.634	0.606	0.451	0.472	0.394
70～74	0.755	0.760	0.744	0.622	0.650	0.535
75歳以上	0.834	0.840	0.824	—	—	—

（注1）平均標準賞与額0円の割合は、平成26年10月1日現在の被保険者について、平成25年10月1日から平成26年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額の平均を任意継続被保険者及び特例退職被保険者を除いて算出している。

（注2）年齢階級については、平成26年10月1日現在の年齢階級である。

1 1. 年齢階級別、被保険者期間別構成等

被保険者期間（資格取得後平成26年10月1日までの期間）が1年未満か、1年以上かにより、年齢階級別に被保険者の総数に対する割合を示したものが表14である。

被保険者期間1年未満の割合は、年齢階級総数で協会（一般）15.1%、組合健保13.3%となっており、年齢の上昇に伴い概ね減少する傾向にあるが、学卒者の新規加入の影響により、25歳未満で1年未満の被保険者が多くなっている。また、定年後の再就職による加入の影響により、60～64歳の1年未満の被保険者の割合は、前後の年齢階級と比べて多くなっている。

表14 年齢階級別、被保険者期間別被保険者構成（平成26年10月1日現在）

（単位：％）

年齢階級	協会（一般）			組合健保		
	総数	1年未満	1年以上	総数	1年未満	1年以上
総 数	100.0	15.1	84.9	100.0	13.3	86.7
15～19歳	100.0	72.5	27.5	100.0	70.5	29.5
20～24	100.0	36.8	63.2	100.0	39.0	61.0
25～29	100.0	20.5	79.5	100.0	17.8	82.2
30～34	100.0	15.4	84.6	100.0	13.2	86.8
35～39	100.0	12.9	87.1	100.0	11.1	88.9
40～44	100.0	12.1	87.9	100.0	9.6	90.4
45～49	100.0	11.5	88.5	100.0	8.8	91.2
50～54	100.0	10.3	89.7	100.0	7.6	92.4
55～59	100.0	9.2	90.8	100.0	6.8	93.2
60～64	100.0	14.3	85.7	100.0	18.1	81.9
65～69	100.0	12.5	87.5	100.0	6.6	93.4
70～74	100.0	8.4	91.6	100.0	1.8	98.2
75歳以上	100.0	3.1	96.9	-	-	-

次に、被保険者期間別に年齢階級別平均標準報酬月額について比較したものが表15である。

平均標準報酬月額の被保険者期間による比率は、年齢階級総数をみると組合健保の方がやや大きい。また、年齢階級別にみると、協会（一般）は20～24歳、組合健保は70～74歳で最も小さくなっており、協会（一般）は50～54歳で、組合健保は40～44歳の階級で最も大きくなっている。

表15 年齢階級別、被保険者期間別平均標準報酬月額（平成26年10月1日現在）

年齢階級	協会（一般）			組合健保		
	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①	1年未満 ③	1年以上 ④	比率 ④／③
	円	円		円	円	
総 数	224,213	290,432	1.295	276,736	384,962	1.391
15～19歳	167,499	186,278	1.112	179,215	212,657	1.187
20～24	191,431	206,110	1.077	210,418	242,926	1.154
25～29	211,248	235,757	1.116	239,450	289,348	1.208
30～34	229,083	265,426	1.159	273,055	332,605	1.218
35～39	239,307	293,275	1.226	297,925	373,753	1.255
40～44	243,498	314,143	1.290	307,213	412,994	1.344
45～49	245,130	322,652	1.316	338,438	454,768	1.344
50～54	246,570	325,462	1.320	364,966	478,128	1.310
55～59	247,063	322,083	1.304	392,053	472,587	1.205
60～64	230,969	282,842	1.225	291,769	329,601	1.130
65～69	217,470	269,922	1.241	276,974	304,411	1.099
70～74	213,172	258,989	1.215	292,786	302,807	1.034
75歳以上	202,407	241,204	1.192	-	-	-

また、被保険者期間別に年齢階級別平均標準賞与額について比較したものが表16である。

平均標準賞与額の被保険者期間による比率は、年齢階級総数をみると協会（一般）の方が大きい。また、年齢階級別にみると、協会（一般）、組合健保ともに60～64歳で最も小さくなっており、協会（一般）は40～44歳で、組合健保は15～19歳の階級で最も大きくなっている。

表16 年齢階級別、被保険者期間別平均標準賞与額（平成26年10月1日現在）

年齢階級	協会（一般）			組合健保		
	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①
	円	円		円	円	
総 数	47,004	448,707	9.546	231,494	1,160,466	5.013
15～19歳	30,464	272,975	8.960	60,450	501,289	8.293
20～24	37,313	353,208	9.466	71,813	593,774	8.268
25～29	42,226	427,701	10.129	109,952	783,159	7.123
30～34	44,497	470,055	10.564	167,532	925,600	5.525
35～39	47,083	513,667	10.910	220,775	1,083,874	4.909
40～44	47,627	529,533	11.118	302,095	1,282,483	4.245
45～49	48,525	514,037	10.593	427,889	1,506,781	3.521
50～54	52,816	512,756	9.708	475,733	1,595,316	3.353
55～59	54,381	479,620	8.820	476,410	1,494,978	3.138
60～64	80,974	276,465	3.414	459,930	641,903	1.396
65～69	35,701	189,270	5.301	127,890	493,801	3.861
70～74	23,889	137,601	5.760	131,550	357,463	2.717
75歳以上	12,609	110,474	8.762	-	-	-

（注1）平均標準賞与額は、平成26年10月1日現在の被保険者について、平成25年10月1日から平成26年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額の平均を任意継続被保険者及び特例退職被保険者を除いて算出している。

（注2）年齢階級については、平成26年10月1日現在の年齢階級である。

12. 業態別被保険者構成割合、扶養率等

業態別にみた被保険者の構成割合、扶養率、平均標準報酬月額及び平均標準賞与額を示したのが表17である。

業態の大分類による被保険者総数に占める割合を高い順にみると、協会（一般）は製造業の18.5%、医療・福祉の17.2%、卸売・小売業の14.3%、組合健保は製造業の32.6%、卸売・小売業の15.4%、サービス業の9.6%となっている。

扶養率の高い業態は、協会（一般）では建設業の1.062、組合健保では電気・ガス・熱供給・水道業の1.405、であり、逆に低い業態は、協会（一般）では公務の0.333、組合健保では医療・福祉の0.469となっている。

平均標準報酬月額の最も高い業態は、協会（一般）は情報通信業の329,559円、組合健保は電気・ガス・熱供給・水道業の514,909円、であり逆に最も低い業態は、協会（一般）では公務の188,045円、組合健保では宿泊業・飲食サービス業の278,019円となっている。また、最高額と最低額との比率は、協会（一般）は約1.75倍、組合健保は約1.85倍となっている。

また、平均標準賞与額の最も高い業態は、協会（一般）は電気・ガス・熱供給・水道業の633,321円、組合健保は鉱業、採石業、砂利採取業の1,893,269円である。逆に最も低い業態は、協会（一般）では公務の160,309円、組合健保では宿泊業、飲食サービス業の382,580円となり、また、最高額と最低額との比率は、協会（一般）が約3.95倍、組合健保が約4.95倍となっている。

表17 業態別被保険者構成割合、扶養率、平均標準報酬月額及び平均標準賞与額（平成26年10月1日現在）

業 態 別	協会（一般）				組合健保			
	構成割合	扶養率	平均標準 報酬月額	平均標準 賞与額	構成割合	扶養率	平均標準 報酬月額	平均標準 賞与額
	%		円	円	%		円	円
総 数	100.0	0.735	280,444	390,255	100.0	0.851	370,565	1,034,039
農 林 水 産 業	0.9	0.817	255,649	347,421	0.3	0.861	318,349	1,042,066
鉱業、採石業、砂利採取業	0.2	1.034	314,105	450,796	0.0	1.096	395,000	1,893,269
建 設 業	9.5	1.062	317,409	345,095	3.2	1.115	410,624	1,280,777
製 造 業	18.5	0.822	288,940	471,285	32.6	1.030	394,512	1,336,271
食 料 品	3.7	0.631	246,997	337,967	2.1	0.796	340,758	1,001,611
繊維工業・繊維製品	1.0	0.551	231,421	258,195	0.6	0.542	289,628	575,251
木 材 ・ 木 製 品	0.7	0.884	270,262	328,391	0.2	1.024	327,103	793,861
化 学 工 業	1.9	0.877	302,999	580,791	6.3	1.006	403,157	1,474,779
金 属 工 業	2.3	0.947	314,521	505,659	2.2	1.065	376,748	1,154,140
機 械 器 具	6.0	0.895	307,543	570,603	17.0	1.097	411,003	1,448,880
そ の 他	2.9	0.852	297,863	442,433	4.1	0.958	368,761	1,064,212
電気・ガス・熱供給・水道業	0.5	1.020	319,566	633,321	1.3	1.405	514,909	1,267,249
情 報 通 信 業	1.9	0.736	329,559	372,665	9.6	0.763	411,055	854,796
運 輸 業 ・ 郵 便 業	7.7	0.915	280,032	243,264	7.0	0.999	363,642	853,010
卸 売 業 ・ 小 売 業	14.3	0.777	289,304	399,609	15.4	0.714	320,486	764,918
金 融 業 ・ 保 険 業	0.7	0.849	323,921	557,482	7.6	0.780	408,306	1,333,700
不動産業、物品賃貸業	2.2	0.802	300,867	349,904	1.5	0.855	388,129	1,061,734
学術研究、専門・技術サービス業	3.7	0.747	320,485	450,420	1.5	0.856	425,431	1,053,586
宿泊業、飲食サービス業	3.2	0.617	254,033	190,999	1.1	0.585	278,019	382,580
生活関連サービス業、娯楽業	3.1	0.609	267,717	244,449	1.0	0.549	301,514	622,431
教 育 ・ 学 習 支 援 業	1.6	0.447	262,248	372,096	0.3	0.667	441,308	1,458,601
医 療 ・ 福 祉	17.2	0.467	266,597	507,952	3.5	0.469	360,819	715,216
複 合 サ ー ビ ス 業	1.1	0.712	248,225	572,970	0.8	0.702	311,995	897,227
サ ー ビ ス 業	9.7	0.680	260,984	298,477	9.6	0.614	318,783	623,691
公 務	2.6	0.333	188,045	160,309	0.2	0.664	323,984	820,406
任 意 継 続 分	1.4	0.901	212,386	-	1.7	0.763	290,629	-
特 例 退 職 分	-	-	-	-	1.7	0.630	265,929	-

（注）平均標準賞与額は、平成26年10月1日現在の被保険者について、平成25年10月1日から平成26年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額の平均を任意継続被保険者及び特例退職被保険者を除いて算出している。

13. 規模別被保険者構成割合、扶養率等

事業所の従業員数（規模）別にみた被保険者の構成割合、扶養率、平均標準報酬月額及び平均標準賞与額を示したものが表18である。

被保険者構成割合が高い規模は、協会（一般）では規模100～299人の17.4%であり、また、規模100人未満の割合は約60.7%となっている。一方、組合健保では規模1,000人以上が50.5%と最も高く、また、規模100人以上の割合は約85.2%と、協会（一般）とは逆の傾向にある。

規模別の扶養率は、協会（一般）は規模が大きくなるにつれ扶養率は概ね減少の傾向にあり、規模5人未満の0.871が最も高くなっている。一方、組合健保は規模の違いによるはっきりとした傾向はみられないが、その中でも規模1,000人以上が0.899と最も高くなっている。

規模と平均標準報酬月額との関係を見ると、協会（一般）は規模5～9人でピークを迎えたのち規模が大きくなるにつれ概ね減少傾向となるが、組合健保は規模5～9人でピークを迎えたのち規模300人以上で再び上昇している。

また、規模と平均標準賞与額との関係を見ると、協会（一般）、組合健保とも規模が大きくなるに伴い高くなる傾向にある。協会（一般）では規模500～999人の535,062円、組合健保では規模1,000人以上の1,227,758円が最も高くなっている。

表18 事業所の規模別被保険者構成割合、扶養率、平均標準報酬月額及び平均標準賞与額（平成26年10月1日現在）

規 模 別	協会（一般）				組合健保			
	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額
	%		円	円	%		円	円
総 数	100.0	0.735	280,444	390,255	100.0	0.851	370,565	1,034,039
1～4人	8.6	0.871	272,627	131,624	0.4	0.723	352,454	281,537
5～9	10.0	0.802	300,418	246,801	0.7	0.810	380,768	405,992
10～19	12.2	0.792	299,448	319,903	1.3	0.783	377,987	503,405
20～29	7.7	0.765	290,744	372,453	1.3	0.806	362,516	611,259
30～49	9.5	0.761	285,485	397,176	2.4	0.794	360,025	619,522
50～99	12.8	0.724	275,942	437,307	5.4	0.794	351,521	706,773
100～299	17.4	0.684	273,467	489,320	13.9	0.812	348,768	811,198
300～499	6.3	0.656	275,022	528,362	8.6	0.811	350,704	893,556
500～999	6.4	0.639	275,543	535,062	12.1	0.825	361,078	971,626
1,000人以上	7.8	0.595	261,258	452,501	50.5	0.899	390,982	1,227,758
任意継続分	1.4	0.901	212,386	-	1.7	0.763	290,629	-
特例退職分	・	・	・	・	1.7	0.630	265,929	-

（注1）平均標準賞与額は、平成26年10月1日現在の被保険者について、平成25年10月1日から平成26年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額の平均を任意継続被保険者及び特例退職被保険者を除いて算出している。

（注2）年齢階級については、平成26年10月1日現在の年齢階級である。

1 4. 被保険者数の推移について

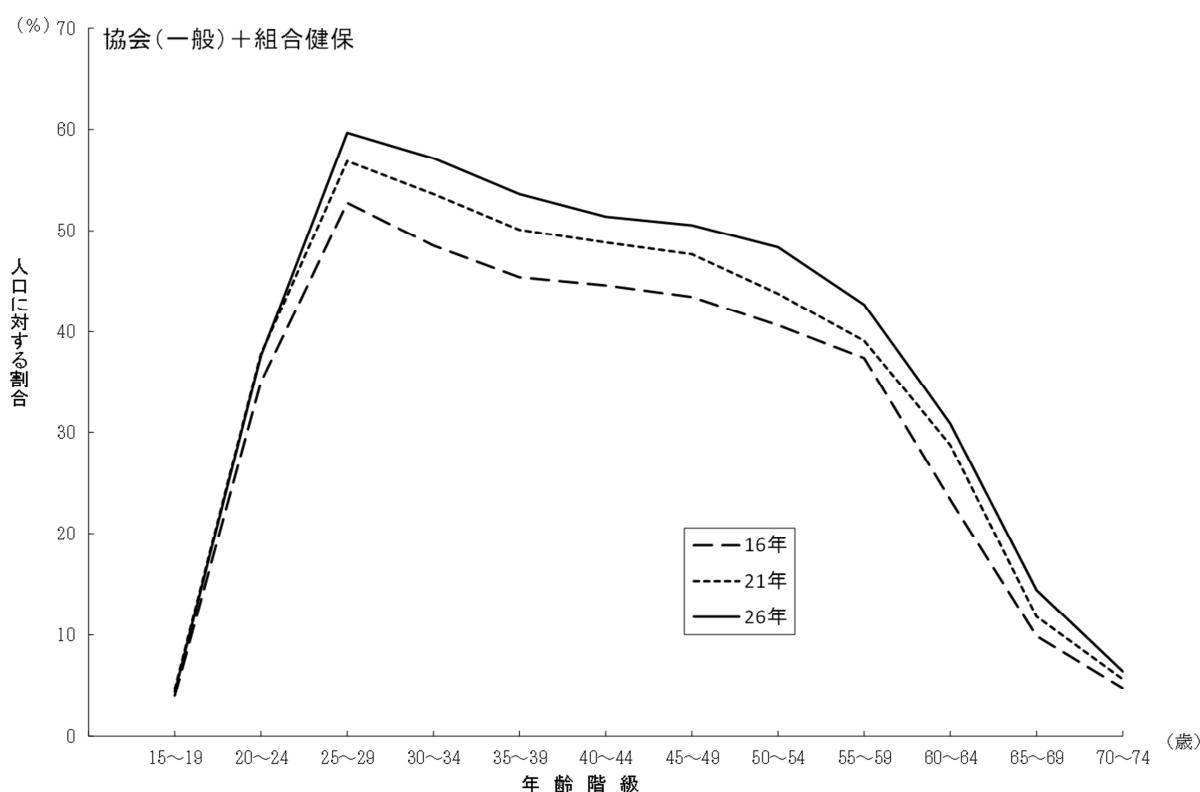
1) 被保険者数の総人口に対する割合について

総人口に対する被保険者数の割合（以下、「被保険者割合」という。）の推移を男女計について年齢階級別に示したものが図8－1、8－2である。

被保険者割合を協会（一般）と組合健保の計でみると、平成16年から21年にかけてはいずれの年齢階級においても概ね増加しており、平成21年から26年にかけては20歳代後半以降概ね増加している。

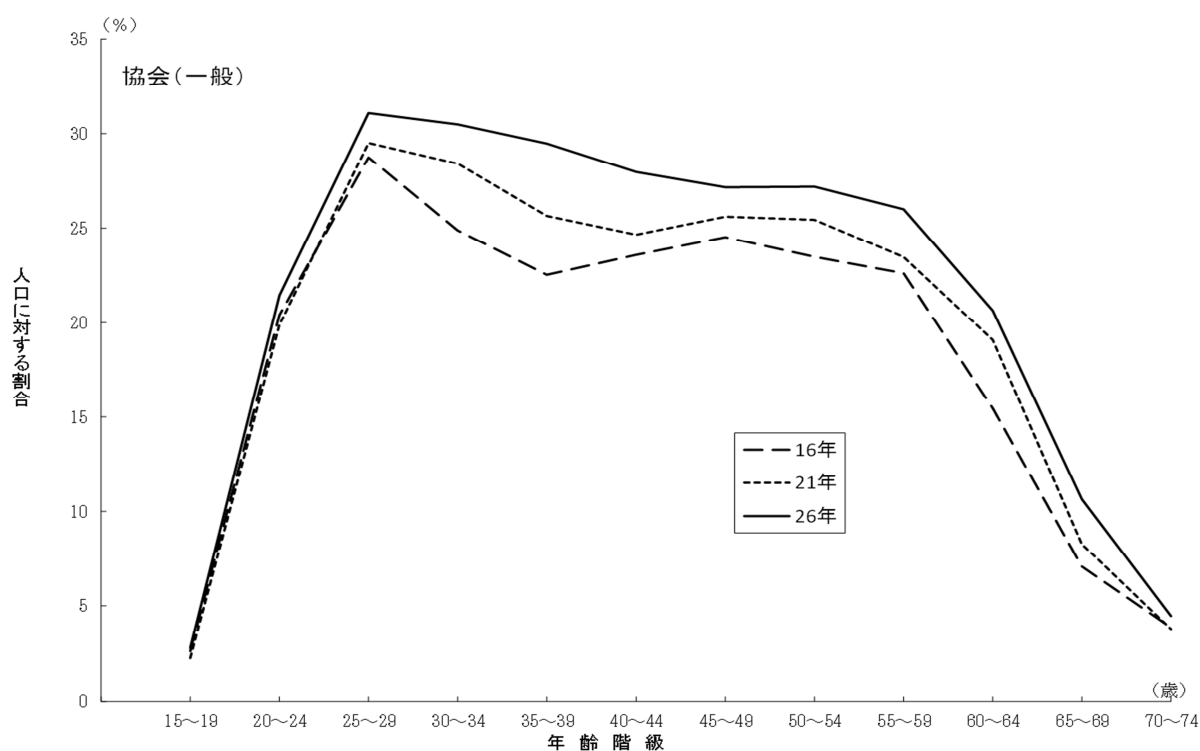
また、被保険者割合を協会（一般）と組合健保のそれぞれについてみると、協会（一般）は平成16年から21年にかけては20歳代後半から60歳後半にかけて増加しており、平成21年から26年にかけては20歳代後半以降概ね増加している。一方、組合健保は平成16年から21年にかけてはいずれの年齢階級においても概ね増加しており、平成21年から26年にかけては20歳代後半から30歳代前半、及び40歳代以降概ね増加している。

図8－1 年齢階級別にみた被保険者数（男女計）の総人口に対する割合の推移
（各年10月1日現在）

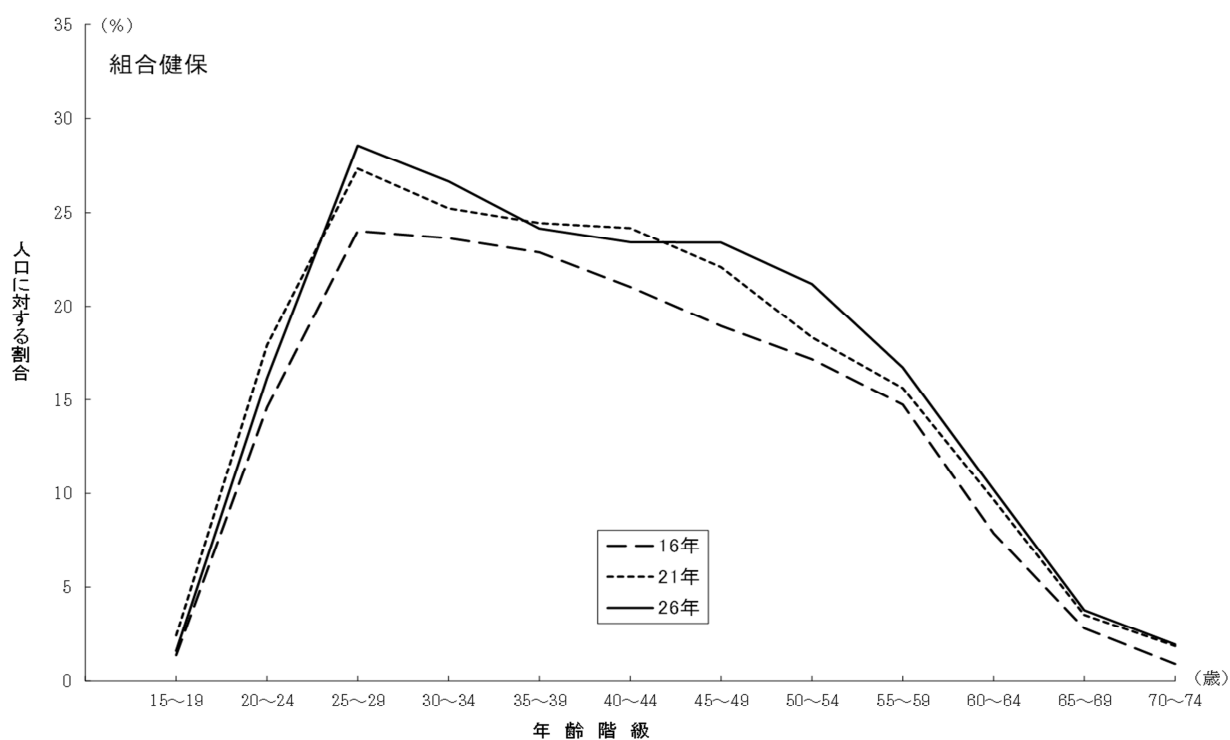


（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

図 8 - 2 年齢階級別にみた被保険者数（男女計）の総人口に対する割合の推移
（各年10月 1 日現在）



（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。



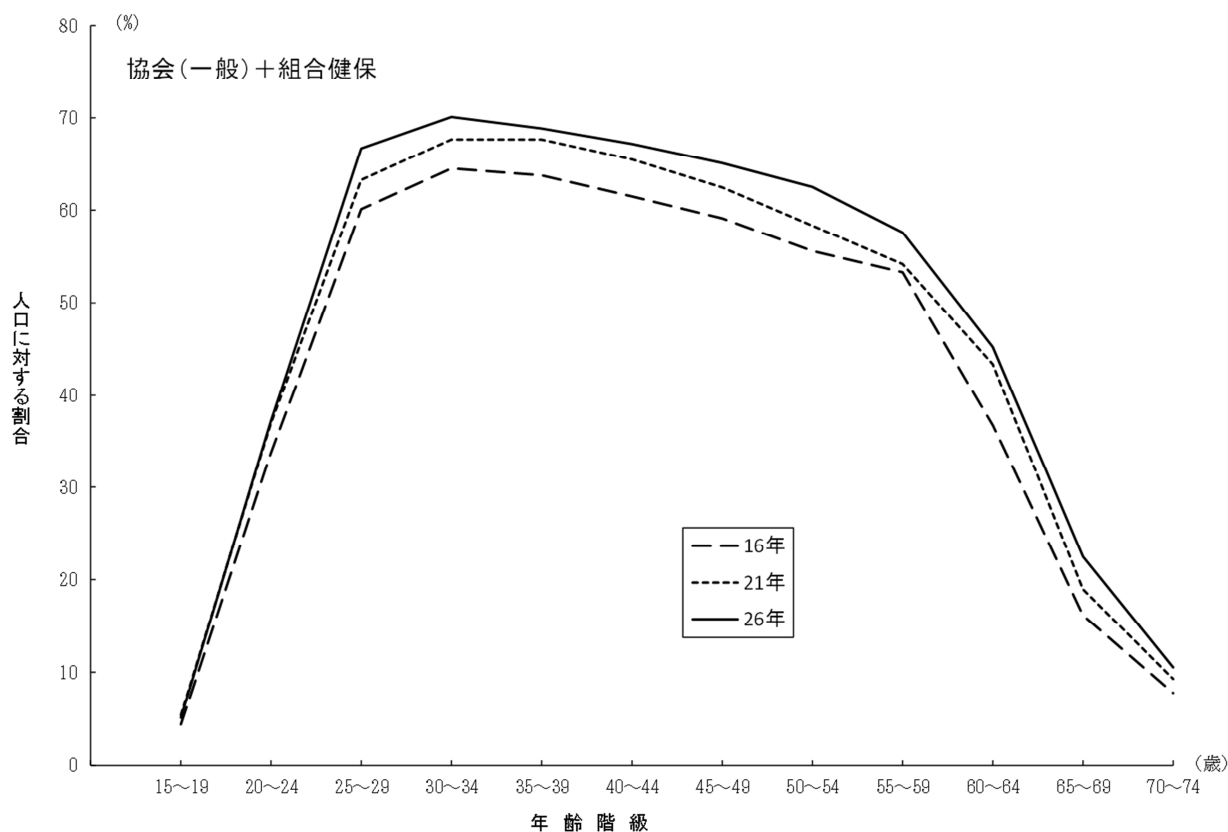
（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

男性人口に対する男性被保険者数の割合の推移を年齢階級別に示したものが図9-1、9-2である。

男性について被保険者割合を協会（一般）と組合健保との計でみると、平成16年から21年にかけてはいずれの年齢階級においても概ね増加しており、平成21年から平成26年にかけては20歳代以降概ね増加している。

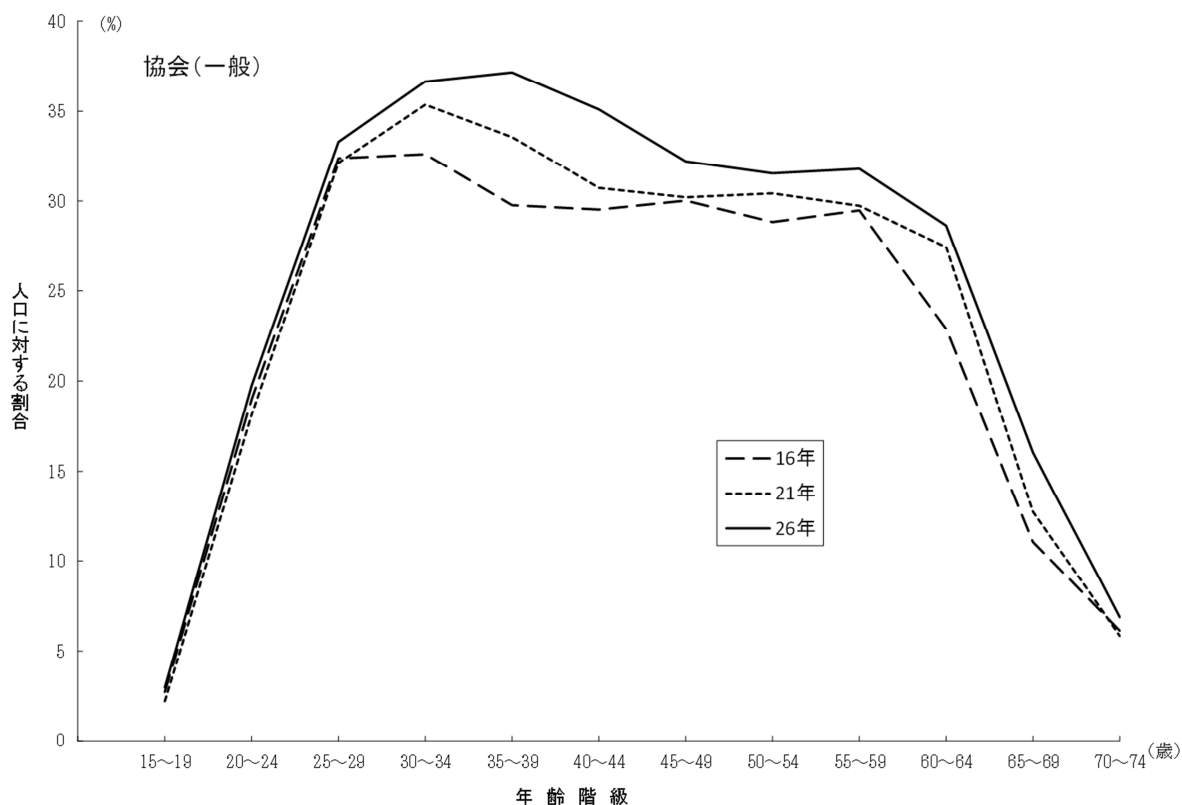
また、男性人口に対する被保険者割合を協会（一般）と組合健保のそれぞれについてみると、協会（一般）は平成16年から21年にかけては20歳代後半から60歳後半にかけて増加しており、平成21年から平成26年にかけてはいずれの年齢階級においても概ね増加している。組合健保は平成16年から21年にかけてはいずれの年齢階級においても概ね増加しており、平成21年から平成26年にかけては20歳代、及び40歳代後半以降にかけて増加している。

図9-1 年齢階級別にみた男性被保険者数の男性人口に対する割合の推移
(各年10月1日現在)

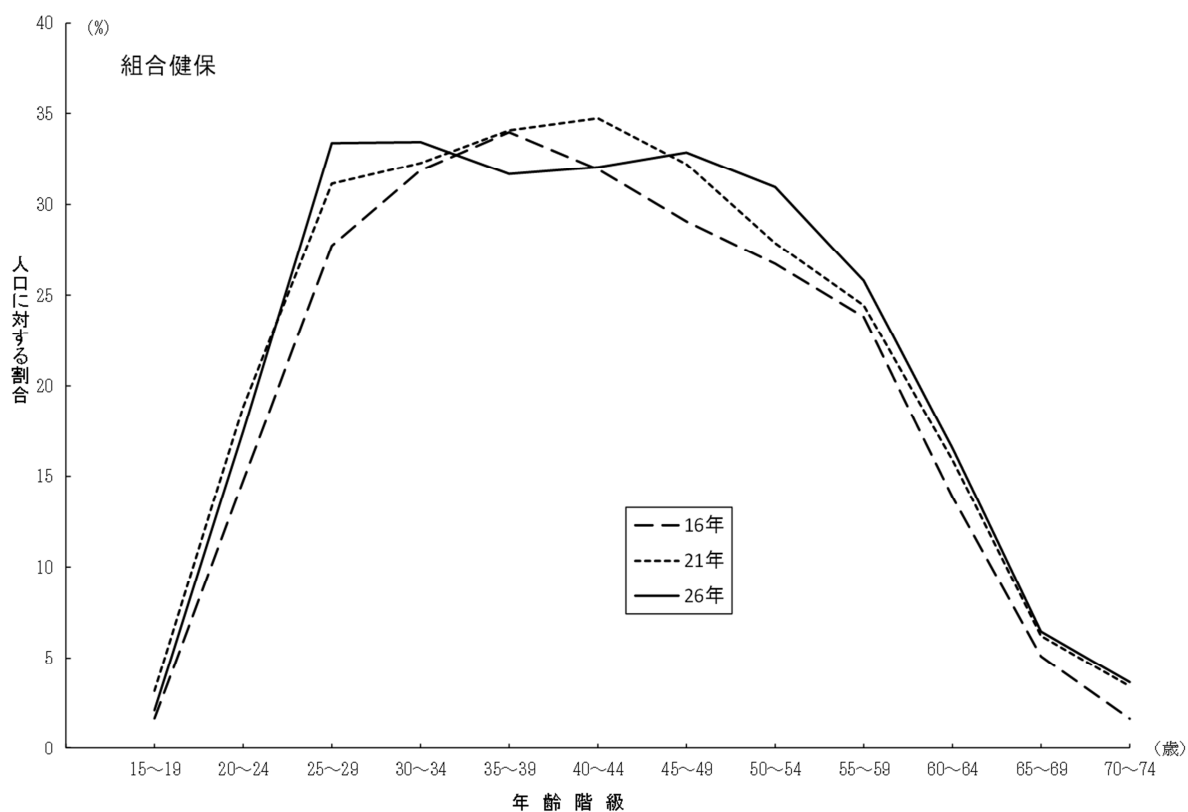


(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

図 9 - 2 年齢階級別にみた男性被保険者数の男性人口に対する割合の推移
(各年10月 1 日現在)



(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。



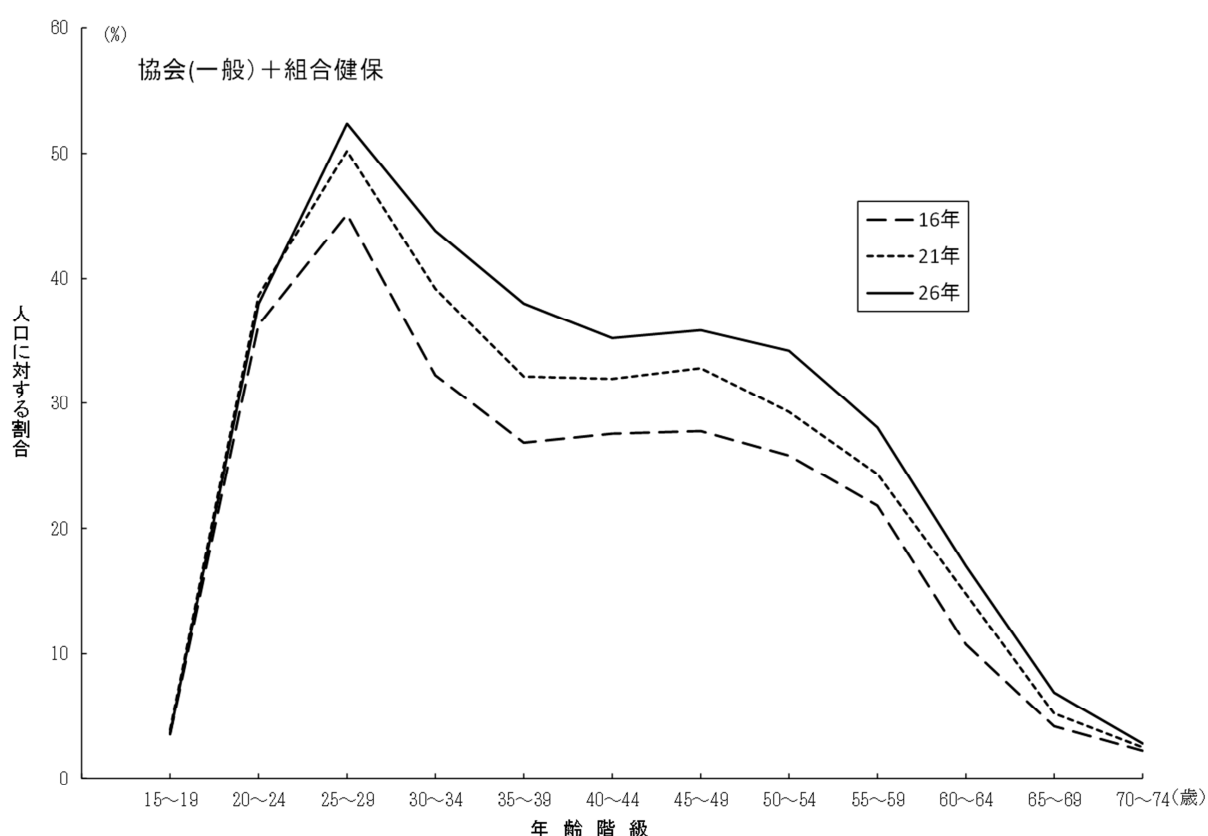
(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

女性人口に対する女性被保険者数の割合の推移を年齢階級別に示したものが図10－1、10－2である。

女性について被保険者割合を協会（一般）と組合健保との計でみると、平成16年から平成21年にかけてはいずれの年齢階級においても概ね増加している。平成21年から平成26年にかけては20歳代後半以降概ね増加しており、30歳代から60歳代前半にかけては増加の幅が男性よりも大きくなっている。これらはそれぞれの期間の雇用環境の変化が男性と同様にあるとともに、被用者として就労する女性が増加したことが大きく影響しているものと考えられる。

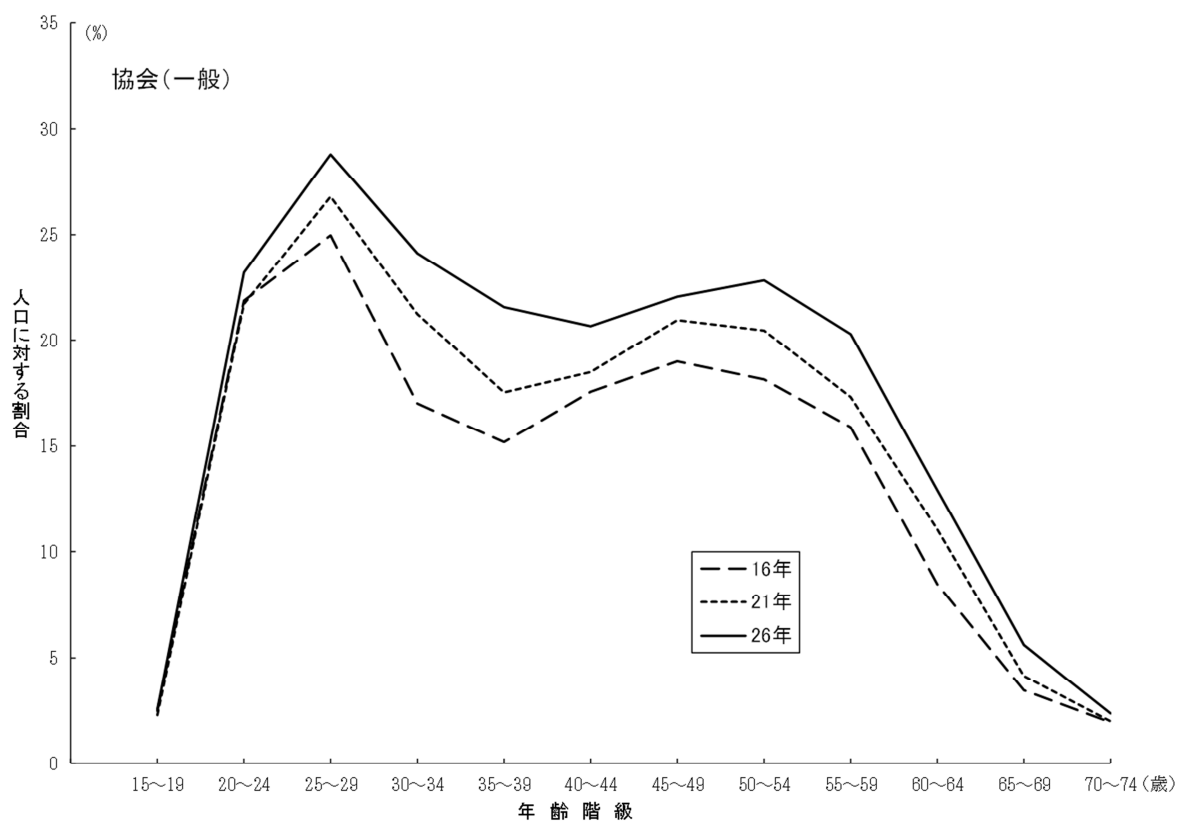
また、女性人口に対する被保険者割合を協会（一般）と組合健保に分け、それぞれを平成26年についてみると、協会（一般）、組合健保ともに25歳以上30歳未満でピークを迎えるが、組合健保はその後減少し続けるのに対し、協会（一般）は40歳代後半で再び増加に転じ、50歳以上55歳未満で再びピークを迎えた後に減少に転じている。

図10－1 年齢階級別にみた女性被保険者数の女性人口に対する割合の推移
(各年10月1日現在)

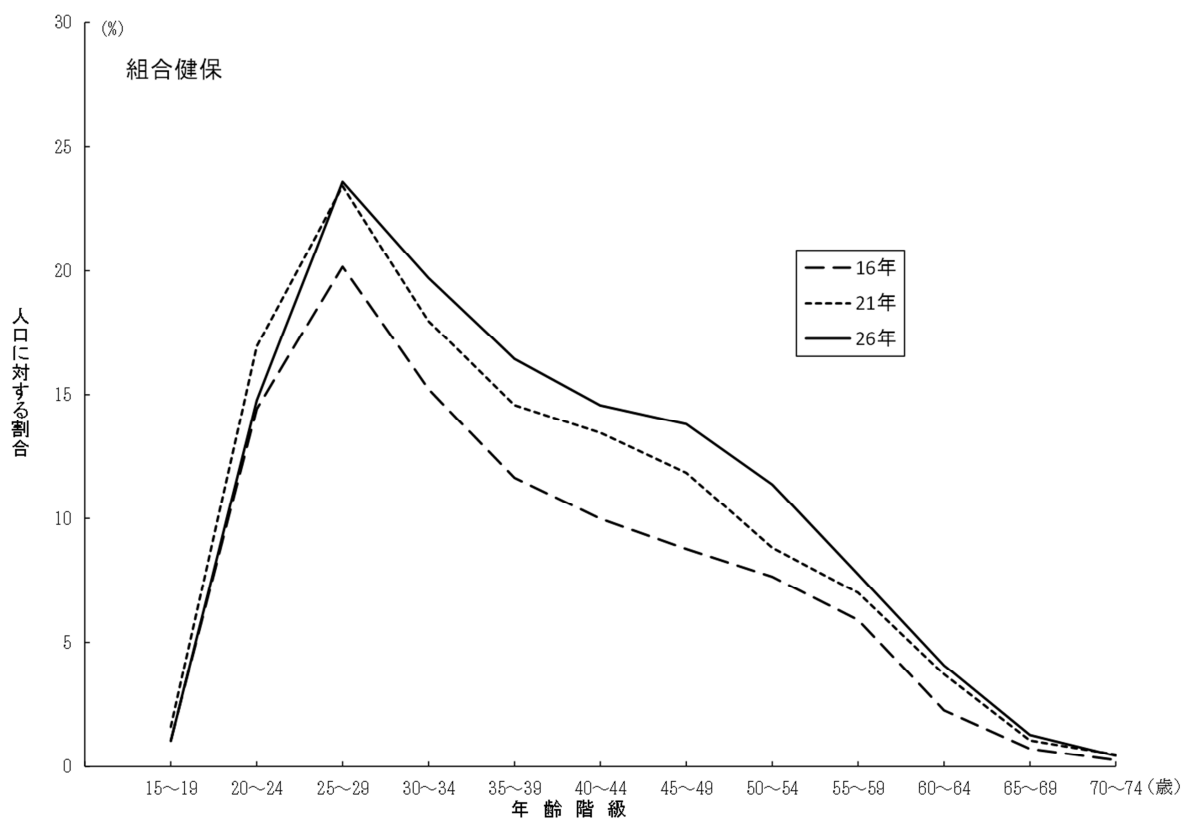


(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

図10－2 年齢階級別にみた女性被保険者数の女性人口に対する割合の推移
(各年10月1日現在)



(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。



(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

2) コーホートでみた被保険者数の総人口に対する割合について

総人口に対する被保険者数の割合をコーホート別の推移で示したものが、表19である。

協会（一般）と組合健保計の被保険者割合をコーホートでみると、学卒者の新規加入の影響により20歳代で大きく増加し、定年退職の影響で60歳代で大きく減少している。被保険者割合について、平成16年から平成21年にかけては20～54歳のコーホートで増加し、平成21年から平成26年にかけても20～54歳のコーホートで増加している。

また、コーホートでみた増減の差を協会（一般）と組合健保の計でみると、30～49歳で減少している。

表19 コーホートでみた被保険者数の総人口に対する割合（各年10月1日現在）

(1) 協会（一般）・組合健保計（男女計）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成16年	21年	26年	16→21年①	21年→26年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	4.0	4.7	4.4	-	-	-
20～24	35.0	37.8	37.6	33.8	33.0	-0.9
25～29	52.8	56.9	59.7	21.9	21.9	0.0
30～34	48.5	53.6	57.2	0.9	0.3	-0.6
35～39	45.4	50.1	53.6	1.6	0.0	-1.6
40～44	44.6	48.8	51.4	3.4	1.3	-2.1
45～49	43.5	47.7	50.6	3.1	1.7	-1.4
50～54	40.6	43.8	48.4	0.3	0.7	0.4
55～59	37.4	39.1	42.7	-1.5	-1.1	0.5
60～64	23.3	28.7	30.8	-8.6	-8.3	0.4
65～69	9.9	11.8	14.4	-11.6	-14.3	-2.8
70～74	4.7	5.6	6.4	-4.2	-5.4	-1.1

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(2) 協会（一般）（男女計）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成16年	21年	26年	16→21年①	21年→26年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	2.6	2.2	2.8	-	-	-
20～24	20.4	19.9	21.4	17.3	19.2	1.9
25～29	28.7	29.5	31.1	9.1	11.2	2.1
30～34	24.9	28.4	30.5	-0.3	1.0	1.3
35～39	22.5	25.6	29.5	0.8	1.1	0.3
40～44	23.6	24.7	28.0	2.1	2.3	0.2
45～49	24.5	25.6	27.2	2.0	2.5	0.5
50～54	23.5	25.4	27.2	0.9	1.6	0.7
55～59	22.6	23.5	26.0	0.0	0.6	0.6
60～64	15.5	19.1	20.6	-3.5	-2.8	0.7
65～69	7.1	8.3	10.6	-7.2	-8.4	-1.2
70～74	3.9	3.8	4.5	-3.3	-3.8	-0.5

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(3) 組合健保（男女計）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成16年	21年	26年	16→21年①	21年→26年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	1.4	2.4	1.6	-	-	-
20～24	14.6	17.9	16.2	16.6	13.8	-2.8
25～29	24.0	27.4	28.6	12.8	10.7	-2.1
30～34	23.6	25.2	26.7	1.2	-0.7	-1.9
35～39	22.9	24.5	24.2	0.8	-1.1	-1.9
40～44	21.0	24.2	23.4	1.3	-1.0	-2.3
45～49	19.0	22.1	23.4	1.1	-0.8	-1.8
50～54	17.2	18.3	21.2	-0.6	-0.9	-0.3
55～59	14.7	15.6	16.7	-1.5	-1.6	-0.1
60～64	7.9	9.7	10.2	-5.1	-5.4	-0.3
65～69	2.8	3.5	3.8	-4.4	-5.9	-1.5
70～74	0.9	1.9	1.9	-0.9	-1.6	-0.6

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

男性人口に対する男性被保険者数の割合をコーホート別の推移で示したものが、表20である。

被保険者割合をコーホートでみると、男女総数と同様に、学卒者の新規加入の影響により20歳代で大きく増加し、定年退職の影響で60歳代で大きく減少している。協会（一般）と組合健保の計で被保険者割合が増加したのは、平成16年から平成21年は50歳未満、平成21年から平成26年は40歳未満のコーホートであった。

コーホートでみた増減の差を協会（一般）と組合健保の計でみると、30～49歳で減少している。

また、被保険者割合を協会（一般）と組合健保に分け、それぞれコーホートでみた増減をみると、協会（一般）は65～69歳で大きく減少するのに対し、組合健保については60歳から大きく減少し始め、退職の時期が協会（一般）と組合健保とで異なっているものと考えられる。

表20 コーホートでみた男性被保険者数の男性人口に対する割合（各年10月1日現在）

（１）協会（一般）・組合健保計（男性）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成16年	21年	26年	16→21年①	21年→26年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	4.4	5.4	5.1	-	-	-
20～24	33.7	37.0	37.2	32.6	31.9	-0.8
25～29	60.1	63.3	66.7	29.5	29.7	0.2
30～34	64.5	67.6	70.1	7.5	6.9	-0.7
35～39	63.7	67.6	68.9	3.2	1.2	-1.9
40～44	61.5	65.5	67.2	1.7	-0.5	-2.2
45～49	59.1	62.4	65.1	1.0	-0.4	-1.4
50～54	55.6	58.3	62.5	-0.8	0.1	0.8
55～59	53.3	54.2	57.6	-1.4	-0.7	0.7
60～64	36.7	43.3	45.2	-9.9	-9.0	1.0
65～69	16.2	19.0	22.5	-17.8	-20.9	-3.1
70～74	7.8	9.3	10.5	-6.9	-8.4	-1.6

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(2) 協会（一般）（男性）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成16年	21年	26年	16→21年①	21年→26年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	2.7	2.2	3.0	-	-	-
20～24	19.0	18.1	19.7	15.4	17.5	2.1
25～29	32.4	32.1	33.3	13.1	15.2	2.0
30～34	32.6	35.4	36.7	3.0	4.5	1.6
35～39	29.8	33.6	37.2	1.0	1.8	0.8
40～44	29.5	30.7	35.1	1.0	1.5	0.6
45～49	30.0	30.2	32.2	0.7	1.5	0.8
50～54	28.8	30.4	31.5	0.4	1.3	0.9
55～59	29.5	29.7	31.8	0.9	1.4	0.4
60～64	22.9	27.5	28.6	-2.0	-1.1	0.9
65～69	11.1	12.8	16.0	-10.1	-11.4	-1.3
70～74	6.1	5.8	6.9	-5.2	-5.9	-0.7

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(3) 組合健保（男性）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成16年	21年	26年	16→21年①	21年→26年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	1.6	3.2	2.1	-	-	-
20～24	14.8	18.8	17.5	17.2	14.3	-2.9
25～29	27.7	31.1	33.4	16.4	14.5	-1.9
30～34	31.9	32.3	33.4	4.5	2.3	-2.2
35～39	34.0	34.1	31.7	2.2	-0.6	-2.8
40～44	31.9	34.7	32.1	0.8	-2.0	-2.8
45～49	29.1	32.2	32.9	0.3	-1.9	-2.2
50～54	26.7	27.9	31.0	-1.2	-1.3	-0.1
55～59	23.8	24.4	25.8	-2.3	-2.1	0.2
60～64	13.8	15.9	16.6	-7.9	-7.9	0.0
65～69	5.1	6.2	6.5	-7.6	-9.4	-1.8
70～74	1.6	3.4	3.7	-1.7	-2.6	-0.9

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

女性人口に対する女性被保険者数の割合をコーホート別の推移で示したものが、表21である。

被保険者割合をコーホートでみると、学卒者の新規加入の影響により20歳代前半で大きく増加した後、結婚、出産の影響により一度減少するが、その後、再就職により増加した後、定年退職の影響で大きく減少している。

コーホートでみた増減の差を協会（一般）と組合健保の計でみると、いずれの年齢階級においても概ね減少している。

表21 コーホートでみた女性被保険者数の女性人口に対する割合（各年10月1日現在）

（１）協会（一般）・組合健保計（女性）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成16年	21年	26年	16→21年①	21年→26年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	3.5	3.9	3.6	-	-	-
20～24	36.3	38.7	38.0	35.1	34.1	-1.0
25～29	45.1	50.2	52.4	13.9	13.7	-0.2
30～34	32.2	39.2	43.8	-5.9	-6.4	-0.4
35～39	26.8	32.1	38.0	-0.1	-1.2	-1.1
40～44	27.5	31.9	35.2	5.1	3.1	-2.0
45～49	27.8	32.8	35.9	5.2	3.9	-1.3
50～54	25.8	29.3	34.2	1.5	1.4	-0.1
55～59	21.8	24.3	28.0	-1.5	-1.2	0.2
60～64	10.7	14.8	17.0	-7.1	-7.3	-0.3
65～69	4.2	5.2	6.9	-5.5	-7.9	-2.3
70～74	2.2	2.5	2.8	-1.7	-2.4	-0.7

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(2) 協会（一般）（女性）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成16年	21年	26年	16→21年①	21年→26年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	2.5	2.3	2.6	-	-	-
20～24	21.9	21.7	23.2	19.2	20.9	1.7
25～29	25.0	26.8	28.8	4.9	7.1	2.2
30～34	17.0	21.2	24.1	-3.7	-2.7	1.1
35～39	15.2	17.5	21.6	0.5	0.3	-0.2
40～44	17.6	18.5	20.7	3.3	3.1	-0.2
45～49	19.0	20.9	22.1	3.4	3.6	0.2
50～54	18.1	20.5	22.8	1.5	1.9	0.4
55～59	15.9	17.3	20.3	-0.8	-0.2	0.7
60～64	8.5	11.1	12.9	-4.8	-4.4	0.4
65～69	3.5	4.2	5.6	-4.3	-5.4	-1.1
70～74	1.9	2.0	2.4	-1.5	-1.8	-0.3

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(3) 組合健保（女性）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成16年	21年	26年	16→21年①	21年→26年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	1.1	1.6	1.0	-	-	-
20～24	14.4	16.9	14.8	15.9	13.2	-2.7
25～29	20.2	23.4	23.6	9.0	6.6	-2.3
30～34	15.2	18.0	19.7	-2.2	-3.7	-1.5
35～39	11.6	14.6	16.4	-0.6	-1.5	-0.9
40～44	10.0	13.5	14.6	1.8	0.0	-1.8
45～49	8.8	11.8	13.8	1.9	0.4	-1.5
50～54	7.7	8.8	11.4	0.1	-0.5	-0.5
55～59	5.9	7.0	7.8	-0.7	-1.1	-0.4
60～64	2.3	3.7	4.1	-2.2	-2.9	-0.7
65～69	0.7	1.1	1.3	-1.2	-2.4	-1.2
70～74	0.3	0.5	0.4	-0.2	-0.6	-0.4

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

15. コーホートによる続柄別扶養率の分析について

1) 子の場合

各年度の男性被保険者における子の扶養率、コーホートでみた場合の扶養率の増減及びその差を示したものが表22である。

未婚率の増加や出生率の減少に伴い、同じ年齢階級でみると子の扶養率は年々減少しているが、その特徴を①20歳～30歳代、②40歳代以降の年齢階級別にコーホートでみると次のようになる。

① 20歳代～30歳代

この年代は、結婚に伴う子の誕生によって扶養率が増加している。平成21年～平成26年における扶養率の増減をみると、協会（一般）、組合健保ともに30～34歳が最も大きく、次いで35～39歳となっている。また、平成16年～平成21年と平成21年～平成26年の差をみると、協会（一般）、組合健保ともに増加傾向にあるが協会（一般）は30歳代前半まで減少し、組合健保は20歳代まで減少している。

② 40歳代以降

40歳代以降は、子の成長により扶養率は減少している。平成26年における扶養率のピークは、協会（一般）は40～44歳、組合健保は45～49歳となっているが、ピーク時の扶養率は、年々減少している。

また、平成21年～平成26年における扶養率の増減をみると、協会（一般）、組合健保ともに45歳以降は減少している。

表22 男性被保険者における子の扶養率（各年10月1日現在）

（１）協会（一般）

年齢階級	扶養率			コーホートでみた扶養率の増減		
	平成16年 (75歳以上を除く)	21年 (75歳以上を除く)	26年	16～21①	21～26②	差②－①
総数	0.703	0.655	0.633	-	-	-
15～19歳	0.016	0.014	0.012	-	-	-
20～24	0.108	0.097	0.075	0.081	0.061	-0.020
25～29	0.316	0.310	0.281	0.202	0.183	-0.019
30～34	0.689	0.670	0.661	0.354	0.351	-0.003
35～39	1.097	0.963	0.952	0.274	0.282	0.008
40～44	1.362	1.157	1.047	0.060	0.084	0.023
45～49	1.363	1.179	1.018	-0.183	-0.140	0.044
50～54	0.906	0.894	0.809	-0.470	-0.370	0.100
55～59	0.430	0.433	0.466	-0.473	-0.427	0.045
60～64	0.174	0.192	0.215	-0.238	-0.219	0.019
65～69	0.093	0.103	0.125	-0.071	-0.067	0.004
70～74	0.062	0.071	0.081	-0.022	-0.022	0.000

（２）組合健保

年齢階級	扶養率			コーホートでみた扶養率の増減		
	平成16年 (75歳以上を除く)	21年 (75歳以上を除く)	26年	16～21①	21～26②	差②－①
総数	0.776	0.712	0.715	-	-	-
15～19歳	0.026	0.030	0.006	-	-	-
20～24	0.049	0.043	0.046	0.016	0.015	-0.001
25～29	0.226	0.215	0.196	0.166	0.153	-0.012
30～34	0.609	0.605	0.608	0.378	0.393	0.015
35～39	1.044	0.951	0.970	0.342	0.365	0.023
40～44	1.394	1.192	1.137	0.148	0.186	0.038
45～49	1.448	1.268	1.149	-0.125	-0.043	0.082
50～54	1.008	1.000	0.977	-0.448	-0.291	0.157
55～59	0.490	0.466	0.531	-0.542	-0.469	0.074
60～64	0.186	0.193	0.207	-0.298	-0.258	0.039
65～69	0.085	0.084	0.095	-0.101	-0.097	0.004
70～74	0.062	0.077	0.071	-0.007	-0.013	-0.005

2) 配偶者の場合

各年度の男性被保険者における配偶者の扶養率、コーホートでみた場合の扶養率の増減を示したものが表23である。後期高齢者医療制度の導入による影響を除くため、平成16年及び平成21年については、75歳以上の者を除いた扶養率を作成し比較している。

配偶者の扶養率を同じ年齢階級でみると、被用者として就労する女性の増加、非婚男性の増加などの影響により減少傾向にあるが、コーホートでみると次のようになる。

概ね40歳代頃までは、配偶者の扶養率は増加するが、その後一度減少した後再び増加し、60～64歳で最も高くなる。

この変化の要因は、それぞれ40歳代以降の減少は配偶者が働き始めるため、55歳前後からの増加は働いていた配偶者が退職するため、70歳以降の減少は75歳以上の配偶者が後期高齢者医療制度に適用され被扶養者でなくなるためと考えられる。

表23 男性被保険者における配偶者の扶養率（各年10月1日現在）

（１）協会（一般）

年齢階級	扶養率			コーホートでみた扶養率の増減		
	平成16年 (75歳以上を除く)	21年 (75歳以上を除く)	26年	16～21①	21～26②	差②－①
総数	0.443	0.420	0.388	-	-	-
15～19歳	0.020	0.018	0.015	-	-	-
20～24	0.094	0.082	0.059	0.062	0.040	-0.021
25～29	0.223	0.200	0.165	0.107	0.083	-0.024
30～34	0.386	0.346	0.306	0.123	0.105	-0.018
35～39	0.486	0.429	0.383	0.044	0.037	-0.007
40～44	0.504	0.454	0.410	-0.032	-0.020	0.013
45～49	0.491	0.449	0.407	-0.056	-0.047	0.009
50～54	0.496	0.455	0.414	-0.037	-0.034	0.002
55～59	0.547	0.507	0.457	0.011	0.002	-0.010
60～64	0.641	0.604	0.564	0.057	0.057	0.000
65～69	0.667	0.646	0.625	0.005	0.020	0.015
70～74	0.614	0.584	0.576	-0.083	-0.070	0.013

（２）組合健保

年齢階級	扶養率			コーホートでみた扶養率の増減		
	平成16年 (75歳以上を除く)	21年 (75歳以上を除く)	26年	16～21①	21～26②	差②－①
総数	0.522	0.478	0.448	-	-	-
15～19歳	0.026	0.020	0.003	-	-	-
20～24	0.050	0.038	0.040	0.012	0.020	0.008
25～29	0.197	0.158	0.141	0.108	0.103	-0.005
30～34	0.403	0.358	0.318	0.162	0.160	-0.002
35～39	0.560	0.478	0.446	0.075	0.088	0.012
40～44	0.630	0.564	0.512	0.004	0.034	0.031
45～49	0.643	0.578	0.534	-0.052	-0.030	0.023
50～54	0.647	0.600	0.564	-0.043	-0.014	0.029
55～59	0.697	0.657	0.597	0.009	-0.003	-0.012
60～64	0.769	0.737	0.668	0.039	0.011	-0.028
65～69	0.819	0.807	0.706	0.038	-0.031	-0.069
70～74	0.845	0.759	0.615	-0.060	-0.192	-0.132

(参考) 事業所の業態別・規模別事業所数、被保険者数の構成割合

厚生年金保険業態別規模別適用状況調を用いて、協会（一般）の任意継続被保険者以外の者について、事業所の業態分類別、規模別に事業所数及び被保険者数の構成割合を示したものが表24である。

事業所数については、事業所規模 5 人未満の事業所が全体の約 6 割、50人未満の事業所が全体の約96%を占めている。これを業態別にみると、いずれの業態も事業所規模 5 人未満の事業所の割合が最も高くなっており、特に不動産業・物品賃貸業については、事業所規模 5 人未満の事業所が 8 割強、50人未満で約99%を占めている。

また、被保険者数については、事業所規模10～49人が最も高くなっており、約 3 割を占めている。これを業態別にみると、多くの業態で10～49人が最も高い割合を占めているが、複合サービス業については、事業所規模 1,000人以上、医療・福祉及び公務については100～299人の割合の方が高くなっている。

表24 事業所の業態分類別・規模別構成割合（協会（一般）、平成25年 9 月 1 日現在）

(1) 事業所数

	計	1～4人	5～9	10～49	50～99	100～299	300～499	500～999	1000人以上
総 数	100.0%	59.7%	18.5%	17.9%	2.2%	1.3%	0.2%	0.1%	0.0%
農 林 水 産 業	100.0%	56.9%	24.1%	17.3%	1.2%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
鉱業・採石業・砂利採取業	100.0%	41.8%	21.8%	33.3%	2.3%	0.6%	0.2%	0.0%	0.0%
建 設 業	100.0%	62.0%	21.4%	15.6%	0.8%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
製 造 業	100.0%	46.2%	20.5%	26.8%	3.9%	2.1%	0.3%	0.1%	0.0%
食 料 品	100.0%	43.2%	19.4%	27.9%	5.1%	3.4%	0.6%	0.3%	0.1%
繊維工業・繊維製品	100.0%	55.3%	18.7%	21.7%	3.0%	1.2%	0.1%	0.1%	0.0%
木 材 ・ 木 製 品	100.0%	56.1%	20.7%	20.4%	1.7%	1.0%	0.1%	0.0%	0.0%
化 学 工 業	100.0%	41.3%	20.0%	30.7%	4.7%	2.6%	0.4%	0.2%	0.0%
金 属 工 業	100.0%	43.1%	23.1%	28.5%	3.5%	1.6%	0.2%	0.1%	0.0%
機 械 器 具	100.0%	41.7%	20.8%	29.4%	4.8%	2.8%	0.4%	0.2%	0.1%
そ の 他	100.0%	51.9%	19.8%	23.7%	3.0%	1.4%	0.1%	0.1%	0.0%
電気・ガス・熱供給・水道	100.0%	63.5%	18.3%	15.4%	1.6%	0.9%	0.1%	0.1%	0.1%
情 報 通 信 業	100.0%	66.9%	16.0%	14.8%	1.5%	0.7%	0.1%	0.0%	0.0%
運 輸 業 ・ 郵 便 業	100.0%	36.2%	19.4%	34.6%	5.8%	3.3%	0.4%	0.3%	0.1%
卸 売 業 ・ 小 売 業	100.0%	63.4%	18.7%	15.2%	1.6%	0.8%	0.1%	0.1%	0.0%
金 融 業 ・ 保 険 業	100.0%	73.9%	15.4%	8.4%	1.1%	1.0%	0.1%	0.1%	0.0%
不動産業・物品賃貸業	100.0%	84.0%	9.0%	5.9%	0.6%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
学術研究、専門・技術サービス	100.0%	71.9%	16.0%	10.7%	0.9%	0.4%	0.1%	0.0%	0.0%
宿泊業・飲食サービス業	100.0%	64.6%	16.8%	15.5%	1.8%	1.0%	0.1%	0.1%	0.1%
生活関連サービス業・娯楽	100.0%	59.4%	17.9%	18.7%	2.5%	1.2%	0.2%	0.1%	0.0%
教 育 ・ 学 習 支 援 業	100.0%	57.0%	16.4%	22.9%	2.1%	1.1%	0.2%	0.2%	0.1%
医 療 ・ 福 祉	100.0%	46.0%	19.5%	24.6%	5.2%	3.7%	0.6%	0.3%	0.1%
複 合 サ ー ビ ス 業	100.0%	73.0%	11.9%	9.5%	1.9%	1.8%	0.9%	0.7%	0.3%
サ ー ビ ス 業	100.0%	61.0%	18.7%	16.4%	2.1%	1.3%	0.2%	0.1%	0.1%
公 務	100.0%	48.7%	14.8%	20.8%	5.5%	6.5%	1.8%	1.3%	0.5%

(2) 被保険者数

	計	1～4人	5～9	10～49	50～99	100～299	300～499	500～999	1000人以上
総数	100.0%	8.7%	10.2%	29.7%	13.0%	17.6%	6.4%	6.4%	7.9%
農林水産業	100.0%	13.7%	19.0%	37.8%	9.8%	7.7%	1.5%	2.3%	8.2%
鉱業・採石業・砂利採取業	100.0%	6.6%	12.6%	54.5%	13.4%	8.2%	4.7%	0.0%	0.0%
建設業	100.0%	16.7%	22.1%	43.7%	8.1%	5.7%	1.5%	1.4%	0.8%
製造業	100.0%	5.4%	8.2%	33.1%	16.3%	20.4%	6.4%	5.5%	4.9%
食料品	100.0%	3.6%	5.5%	25.1%	15.1%	23.2%	9.6%	9.0%	8.9%
繊維工業・繊維製品	100.0%	8.8%	11.3%	38.3%	18.6%	16.4%	2.7%	2.9%	1.0%
木材・木製品	100.0%	11.0%	14.2%	41.3%	12.1%	15.4%	4.0%	0.0%	2.0%
化学工業	100.0%	4.3%	7.0%	33.9%	17.1%	21.9%	7.6%	5.5%	2.6%
金属工業	100.0%	6.2%	10.7%	40.3%	16.5%	17.8%	4.2%	3.1%	1.2%
機械器具	100.0%	4.3%	7.0%	31.1%	16.7%	22.3%	6.7%	6.3%	5.6%
その他	100.0%	7.7%	10.1%	37.1%	16.2%	16.5%	4.3%	3.5%	4.6%
電気・ガス・熱供給・水道	100.0%	10.7%	12.8%	32.0%	11.7%	14.8%	4.0%	4.3%	9.7%
情報通信業	100.0%	13.3%	13.0%	35.8%	12.4%	14.2%	4.2%	2.7%	4.4%
運輸業・郵便業	100.0%	2.5%	5.2%	29.6%	15.7%	21.0%	6.2%	6.9%	12.9%
卸売業・小売業	100.0%	12.0%	12.6%	30.2%	11.2%	13.8%	5.1%	5.4%	9.6%
金融業・保険業	100.0%	16.0%	11.7%	18.9%	9.1%	19.8%	6.5%	9.4%	8.6%
不動産業・物品賃貸業	100.0%	28.3%	12.7%	25.2%	8.9%	10.9%	3.8%	4.2%	6.0%
学術研究・専門・技術サービス	100.0%	20.3%	17.0%	32.5%	9.8%	10.3%	3.2%	4.3%	2.6%
宿泊業・飲食サービス業	100.0%	9.9%	10.0%	27.5%	11.4%	13.9%	5.1%	6.2%	16.0%
生活関連サービス業・娯楽	100.0%	8.7%	9.9%	32.2%	14.1%	16.7%	5.3%	7.1%	6.1%
教育・学習支援業	100.0%	7.2%	7.9%	33.9%	9.9%	12.6%	5.9%	11.1%	11.5%
医療・福祉	100.0%	3.2%	5.7%	23.4%	16.3%	27.0%	10.1%	8.2%	6.1%
複合サービス業	100.0%	5.2%	3.4%	9.0%	6.1%	15.3%	15.3%	20.7%	24.9%
サービス業	100.0%	8.5%	9.5%	25.2%	11.5%	17.1%	6.8%	7.7%	13.9%
公務	100.0%	1.8%	2.2%	10.2%	8.7%	25.2%	15.0%	19.9%	17.2%

資料出所：厚生年金保険 業態別規模別適用状況調(平成26年9月) (厚生労働省年金局)

第3章 調査結果の概要（船員保険被保険者実態調査）

本調査では、船員保険の全ての被保険者（59,269人）及び異動者（43,081人）について集計を行った。

1. 加入者の年齢構成

船員保険の加入者の年齢構成について、わが国の総人口の年齢構成と比較したものが表1、図1－1及び図1－2である。

船員保険の加入者の年齢構成を総人口の年齢構成と比較すると、20歳未満では総人口の17.5%に対し23.8%、20～39歳では総人口の22.8%に対し24.5%、40～64歳では総人口の33.7%に対し43.2%と高くなっているが、65～74歳では、総人口の13.4%に比べ8.2%と低くなっている。

また、年齢階級別の構成割合をみると、30歳未満及び45～64歳までは総人口を上回っているが、それ以降の年齢階級では逆に総人口を下回っている。

さらに、船員保険の強制適用の加入者の年齢構成について、適用区分別に比較してみると、どの区分も概ね同じような構成割合となっているが、汽船等については15～19歳、漁船（い）については30～34歳、漁船（ろ）については20～24歳で一つのピークを迎えている。

表1 総人口及び船員保険加入者の年齢構成（平成26年10月1日現在）

年 齢 階 級	総人口	船員保険	(再掲) 汽船等	(再掲) 漁船（い）	(再掲) 漁船（ろ）
総 数	100.0	100.0 (100.0)	100.0 (67.1)	100.0 (2.3)	100.0 (27.1)
0～4歳	4.1	5.4	5.4	5.6	6.1
5～9	4.2	5.1	5.2	4.5	5.4
10～14	4.5	5.9	6.3	4.2	5.8
15～19	4.7	7.4	7.7	5.9	7.4
20～24	4.9	7.3	7.3	7.2	7.7
25～29	5.3	5.6	5.8	7.6	5.3
30～34	5.9	5.6	5.4	7.9	6.3
35～39	6.8	6.0	6.4	7.5	5.5
40～44	7.7	6.5	6.9	7.4	6.0
45～49	6.8	7.1	7.6	6.9	6.7
50～54	6.1	8.4	8.7	8.9	8.1
55～59	6.0	10.8	10.6	11.3	10.8
60～64	7.1	10.4	9.3	9.3	10.3
65～69	7.2	5.8	5.0	3.9	5.8
70～74	6.2	2.4	2.2	1.7	2.5
75歳以上	12.5	0.3	0.2	0.2	0.3
(再 掲)					
0～19	17.5	23.8	24.5	20.2	24.6
うち未就学児	5.8	7.0	7.0	7.5	7.8
20～39	22.8	24.5	25.0	30.2	24.8
40～64	33.7	43.2	43.1	43.8	41.9
65～74	13.4	8.2	7.2	5.6	8.3
平均年齢（歳）	-	38.9	38.2	38.5	38.5

（注1） 「総人口」は、総務省統計局「平成26年10月1日現在推計人口」を用いている。

（注2） カッコ内は総数に対する割合である。

図 1－1 船員保険加入者の年齢構成（平成26年10月 1 日現在）

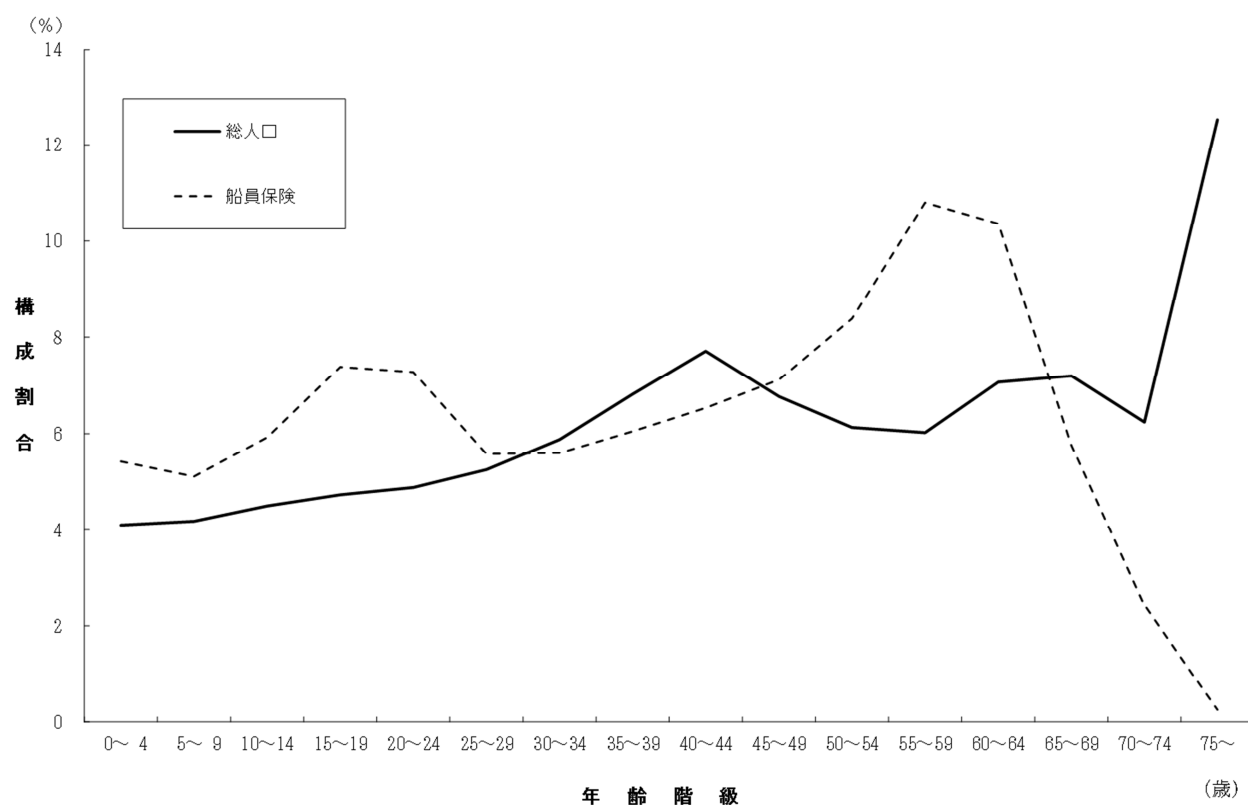
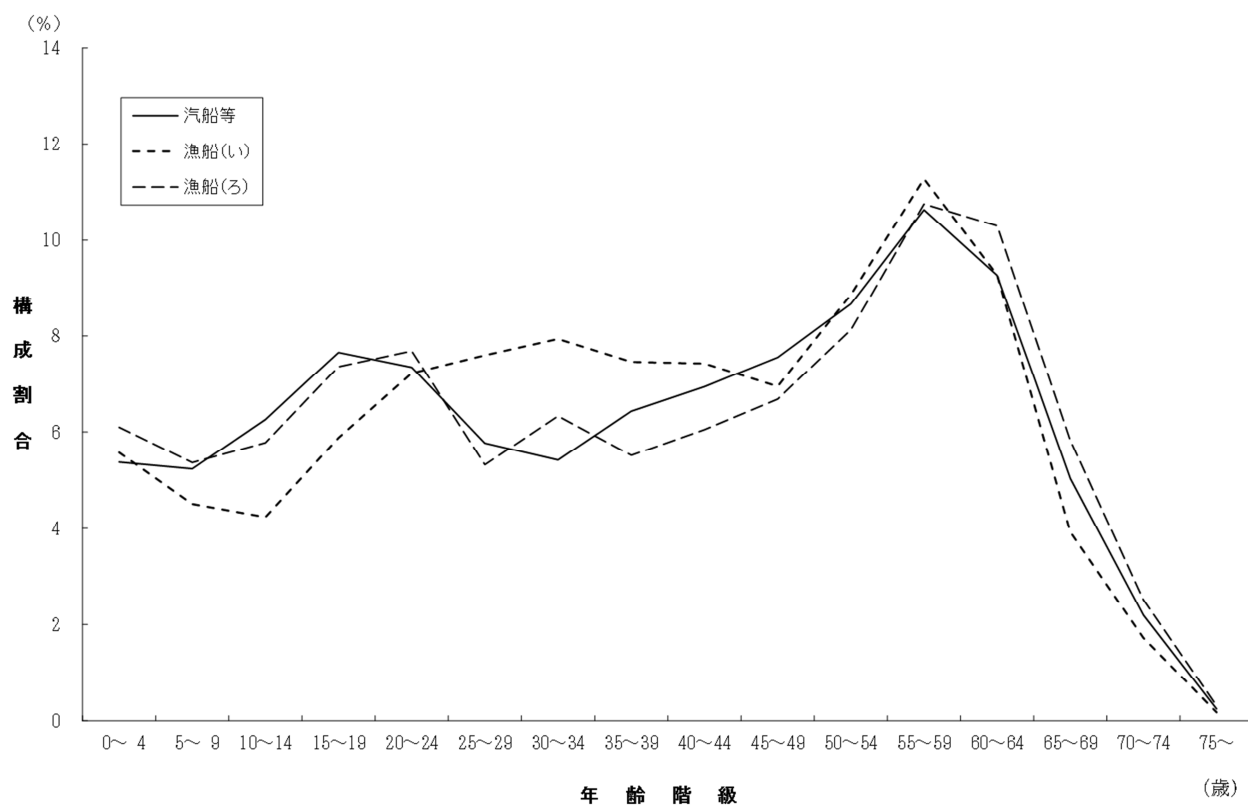


図 1－2 船員保険強制適用加入者の年齢構成（平成26年10月 1 日現在）



2. 被保険者の年齢構成

被保険者の年齢階級別構成割合及び平均年齢について、平成22～26年までの調査結果を示したものが表2である。

20歳未満の構成割合は増加傾向にあり、平成26年は、1.3%となっている。20～39歳の年齢構成は増加傾向にあり、平成26年では30.7%となっている。40～64歳の年齢構成は減少傾向となっており、平成26年では57.9%となっている。65～74歳の年齢構成は増加傾向となっており、平成26年は9.5%となっている。

また、平成26年の年齢構成を男女別にみると、男性では55～59歳の割合が最も高く14.9%、次に60～64歳の14.3%、50～54歳の11.1%となっており、50～64歳で半数弱を占めている。女性では20～24歳の割合が最も高く23.8%、次に25～29歳の22.1%となっており、20歳代で半数弱を占めている。

次に、船舶種別にみると、全ての区分で55～59歳が最も高くなっており、汽船等は15.0%、漁船（い）は13.8%、漁船（ろ）は14.9%となっている。

なお、平均年齢は概ね低下傾向であり、平成26年は47.6歳となっている。男女別の平均年齢は、男性が47.8歳、女性が34.7歳、また、強制適用の種別別にみると、汽船等が47.3歳、漁船（い）が44.2歳、漁船（ろ）が46.9歳となっている。

表2 被保険者の年齢構成（各年10月1日現在）

（単位：％）

年齢階級	平成 22年	23年	24年	25年	26年					
					総数	男性	女性	(再掲) 汽船等	(再掲) 漁船(い)	(再掲) 漁船(ろ)
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0 (100.0)	100.0 (98.5)	100.0 (1.5)	100.0 (65.5)	100.0 (2.8)	100.0 (27.9)
15～19歳	0.9	1.0	1.0	1.2	1.3	1.3	5.7	0.8	2.0	2.7
20～24	6.3	6.9	7.2	7.4	7.7	7.4	23.8	7.3	8.3	9.3
25～29	6.8	6.9	7.1	7.3	7.6	7.4	22.1	8.2	10.6	6.5
30～34	7.2	7.1	7.2	7.3	7.4	7.3	11.2	7.2	10.1	8.3
35～39	7.9	8.0	8.2	8.1	8.1	8.1	8.1	8.8	10.3	7.2
40～44	8.5	8.7	8.6	8.6	8.6	8.6	7.5	9.3	9.8	7.9
45～49	10.0	9.5	9.5	9.6	9.4	9.5	6.4	10.1	8.7	8.8
50～54	13.5	12.6	11.9	11.5	11.0	11.1	4.1	11.5	11.1	10.8
55～59	19.3	18.3	17.0	15.7	14.7	14.9	2.9	15.0	13.8	14.9
60～64	13.4	14.5	14.7	14.6	14.1	14.3	3.2	12.8	10.4	13.7
65～69	4.4	4.4	5.2	6.2	7.2	7.3	2.5	6.4	4.2	7.2
70～74	1.5	1.6	1.9	2.0	2.3	2.3	1.8	2.0	0.6	2.1
75歳以上	0.3	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.8	0.5	0.3	0.6
(再 掲)										
20～39歳	28.1	29.0	29.7	30.1	30.7	30.2	65.2	31.6	39.2	31.3
40～64	64.7	63.6	61.8	60.1	57.9	58.4	24.0	58.7	53.7	56.1
65～74	5.9	6.0	7.1	8.2	9.5	9.6	4.3	8.3	4.8	9.3
平均年齢（歳）	48.0	47.8	47.8	47.7	47.6	47.8	34.7	47.3	44.2	46.9

（注1）平成25年以前の数値は、男女総数のものである。

（注2）カッコ内は総数に対する割合である。

3. 被扶養者の年齢構成

被扶養者の年齢構成について、平成22～26年までの調査結果を示したものが表3である。

被扶養者の19歳以下の割合は概ね増加傾向であり平成26年は43.4%となっている。20～39歳の割合は概ね減少傾向であり平成26年は19.1%となっている。40～64歳の割合は平成24年より減少傾向となり平成26年は30.5%となっている。65～74歳の割合は増加傾向にあり平成26年では7.0%となっている。

また、被扶養者の年齢構成を船舶種別にみると、どの適用区分においても概ね総数とほぼ同じ傾向にある。

表3 被扶養者の年齢構成（各年10月1日現在）

（単位：%）

年齢階級	平成 22年	23年	24年	25年	26年			
					総数	(再掲) 汽船等	(再掲) 漁船(い)	(再掲) 漁船(ろ)
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0 (100.0)	100.0 (68.5)	100.0 (1.8)	100.0 (26.4)
0～4歳	8.3	8.7	9.3	9.7	10.1	9.8	12.9	11.7
5～9	9.1	9.0	9.1	9.3	9.5	9.6	10.5	10.3
10～14	11.6	11.4	11.4	11.2	11.1	11.4	9.8	11.1
15～19	13.7	13.6	13.2	13.0	12.6	13.3	11.0	11.6
20～24	7.5	7.5	7.3	7.1	6.9	7.3	5.8	6.2
25～29	3.8	4.0	4.0	3.9	3.8	3.7	3.7	4.2
30～34	3.7	3.8	3.8	3.9	4.1	3.9	5.1	4.5
35～39	4.3	4.3	4.3	4.4	4.2	4.5	3.7	4.0
40～44	4.6	4.7	4.8	4.7	4.7	5.0	4.3	4.3
45～49	5.5	5.3	5.2	5.1	5.1	5.4	4.6	4.8
50～54	7.3	7.0	6.7	6.4	6.1	6.3	5.9	5.7
55～59	8.4	8.1	7.8	7.6	7.4	7.0	8.0	7.0
60～64	6.4	7.2	7.4	7.3	7.1	6.3	7.8	7.2
65～69	3.1	2.9	3.3	3.9	4.5	3.9	3.6	4.6
70～74	2.7	2.6	2.5	2.5	2.6	2.4	3.2	2.9
75歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(再 掲)								
0～19歳	42.7	42.6	42.9	43.1	43.4	44.2	44.2	44.6
うち未就学児	10.8	11.2	11.9	12.4	13.1	12.8	17.4	14.9
20～39	19.3	19.6	19.4	19.3	19.1	19.4	18.3	18.9
40～64	32.3	32.3	31.8	31.1	30.5	30.1	30.7	29.0
65～74	5.8	5.5	5.9	6.4	7.0	6.3	6.8	7.5

（注）カッコ内は総数に対する割合である。

次に、平成26年における被扶養者の続柄別の年齢構成を示したものが表4である。

被扶養者全体に占める子の割合は52.4%となっている。また、子の大半は20歳未満となっており、20歳以上の子の割合は9.5%となっている。配偶者の割合は42.1%であり、55～59歳の階級が最も多くなっている。直系尊属は4.1%であり、60歳以上が大半を占めており、年齢の上昇とともに割合も増加している。

また、その他の被扶養者（兄弟姉妹等）は1.4%であり、各年齢階級に分布している。

表4 被扶養者の続柄別年齢構成（平成26年10月1日現在）

(単位：%)

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	100.0	52.4	42.1	4.1	1.4
0～4歳	10.1	10.0	0.0	0.0	0.1
5～9	9.5	9.5	0.0	0.0	0.1
10～14	11.1	11.0	0.0	0.0	0.1
15～19	12.6	12.5	0.0	0.0	0.1
20～24	6.9	6.2	0.6	0.0	0.1
25～29	3.8	1.8	1.9	0.0	0.1
30～34	4.1	0.9	3.1	0.0	0.0
35～39	4.2	0.4	3.8	0.0	0.1
40～44	4.7	0.1	4.5	0.0	0.1
45～49	5.1	0.0	5.0	0.1	0.1
50～54	6.1	0.0	5.9	0.1	0.1
55～59	7.4	0.0	7.0	0.3	0.1
60～64	7.1	0.0	6.2	0.8	0.1
65～69	4.5	0.0	3.2	1.1	0.1
70～74	2.6	0.0	0.7	1.7	0.1
75歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(再掲) 未就学児	13.1	12.9	0.0	0.0	0.2

4. 年齢階級別扶養率

被保険者の年齢階級別にみた被保険者 1 人当たり被扶養者数（扶養率）の平成22年～26年の調査結果を示したものが表 5 であり、平成26年の総数及び船舶種別の状況をグラフにしたのが図 2 である。

年齢計でみた扶養率は長期的に減少傾向にあり、平成26年は1.153となっている。年齢階級別に扶養率の最近の動きを見ると、ピークとなる年齢階級は40～44歳で毎年同じである。

平成26年の年齢階級別扶養率を男女別にみると、男性については年齢の上昇とともに概ね増加し、40～44歳でピークとなり、1.837である。それ以降は年齢の上昇とともに減少に転じており、平均扶養率は1.170となっている。女性の扶養率は、全年齢階級で男性より低く、平均扶養率は、0.077となっている。

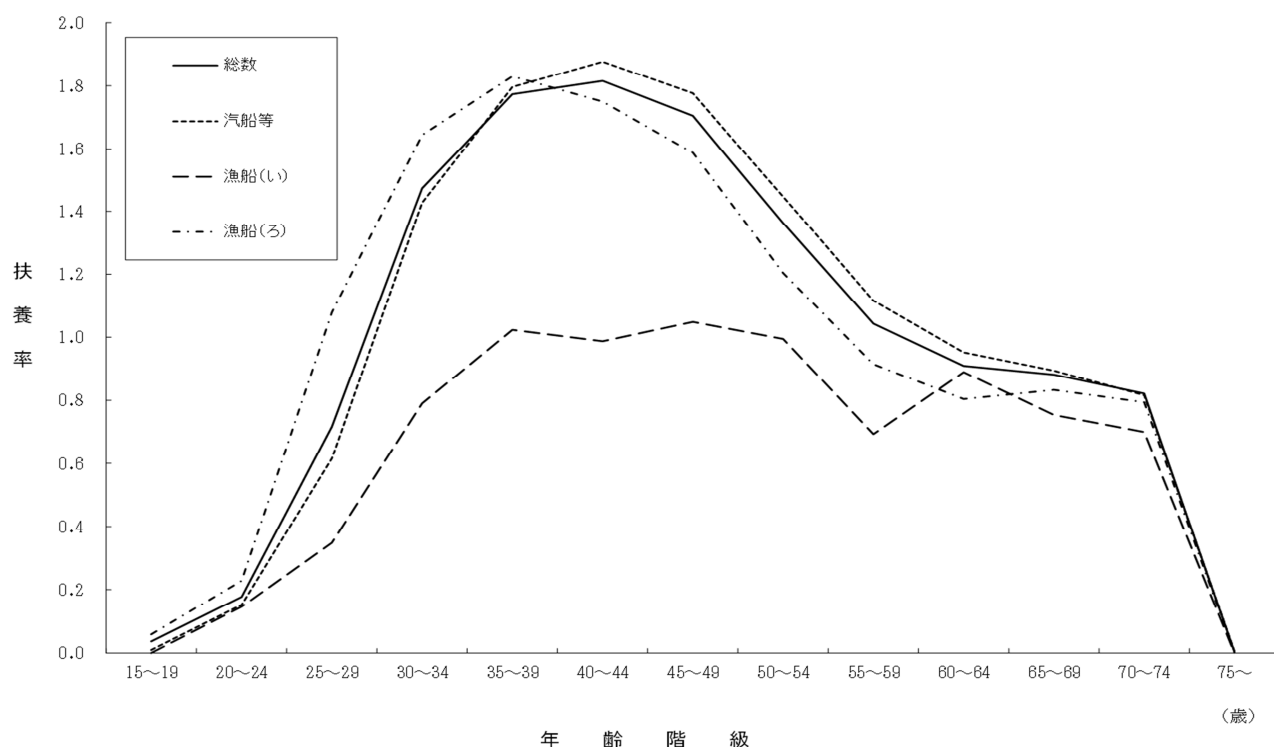
また、強制適用の区分別にみると、平均扶養率は汽船等が1.206、漁船（い）が0.756、漁船（ろ）が1.092となっている。年齢階級別にみると、年齢の上昇とともに概ね増加し、汽船等は40～44歳、漁船（い）は45～49歳、漁船（ろ）は35～39歳でピークを迎え、その後減少に転じている。

表 5 被保険者の年齢階級別扶養率（各年10月 1 日現在）

年齢階級	平成 22年	23年	24年	25年	平成26年					
					総数	男性	女性	(再掲) 汽船等	(再掲) 漁船(い)	(再掲) 漁船(ろ)
総 数	1.268	1.241	1.206	1.182	1.153	1.170	0.077	1.206	0.756	1.092
15～19歳	0.046	0.053	0.047	0.052	0.036	0.039	0.000	0.009	0.000	0.059
20～24	0.219	0.206	0.191	0.198	0.178	0.186	0.019	0.152	0.146	0.228
25～29	0.770	0.766	0.787	0.749	0.717	0.749	0.040	0.616	0.349	1.079
30～34	1.456	1.432	1.422	1.425	1.474	1.505	0.176	1.428	0.790	1.645
35～39	1.819	1.801	1.791	1.780	1.774	1.799	0.108	1.796	1.023	1.830
40～44	1.971	1.919	1.881	1.859	1.816	1.837	0.235	1.877	0.988	1.750
45～49	1.907	1.853	1.793	1.737	1.705	1.721	0.172	1.777	1.049	1.588
50～54	1.498	1.490	1.431	1.406	1.362	1.369	0.054	1.447	0.995	1.203
55～59	1.119	1.127	1.088	1.070	1.043	1.046	0.038	1.116	0.693	0.915
60～64	0.938	0.937	0.932	0.923	0.910	0.913	0.069	0.952	0.890	0.804
65～69	0.886	0.909	0.893	0.903	0.882	0.887	0.000	0.895	0.754	0.833
70～74	0.831	0.813	0.780	0.815	0.822	0.831	0.063	0.816	0.700	0.794
75歳以上	0.010	0.000	0.004	0.004	0.003	0.003	0.000	0.005	0.000	0.000

(注) 平成25年以前の数値は、男女総数の扶養率である。

図2 被保険者の年齢階級別扶養率（平成25年10月1日現在）



次に、平成26年における被保険者の年齢階級別扶養率を続柄別に示したものが表6である。年齢階級総数における続柄別の扶養率をみると、子は0.604、配偶者は0.485、直系尊属は0.047、その他は0.017となっている。

被保険者の年齢階級別にみた子の扶養率は山型をなしており、ピークは40～44歳の1.180、である。配偶者の扶養率は年齢の上昇とともに上昇する傾向にあり、65～69歳で0.737と最も高くなっている。直系尊属の扶養率は年齢階級別にみると山型をなしており、40～44歳で0.131とピークを迎えている。

表6 被保険者の年齢階級別、続柄別扶養率（平成26年10月1日現在）

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	1.153	0.604	0.485	0.047	0.017
15～19歳	0.036	0.009	0.011	0.011	0.005
20～24	0.178	0.080	0.065	0.023	0.009
25～29	0.717	0.418	0.240	0.048	0.011
30～34	1.474	0.936	0.442	0.081	0.015
35～39	1.774	1.156	0.480	0.121	0.016
40～44	1.816	1.180	0.487	0.131	0.018
45～49	1.705	1.088	0.488	0.110	0.020
50～54	1.362	0.799	0.507	0.034	0.022
55～59	1.043	0.451	0.571	0.002	0.019
60～64	0.910	0.236	0.657	0.000	0.017
65～69	0.882	0.127	0.737	0.000	0.018
70～74	0.822	0.088	0.718	0.000	0.016
75歳以上	0.003	0.000	0.003	0.000	0.000

5. 標準報酬月額別扶養率

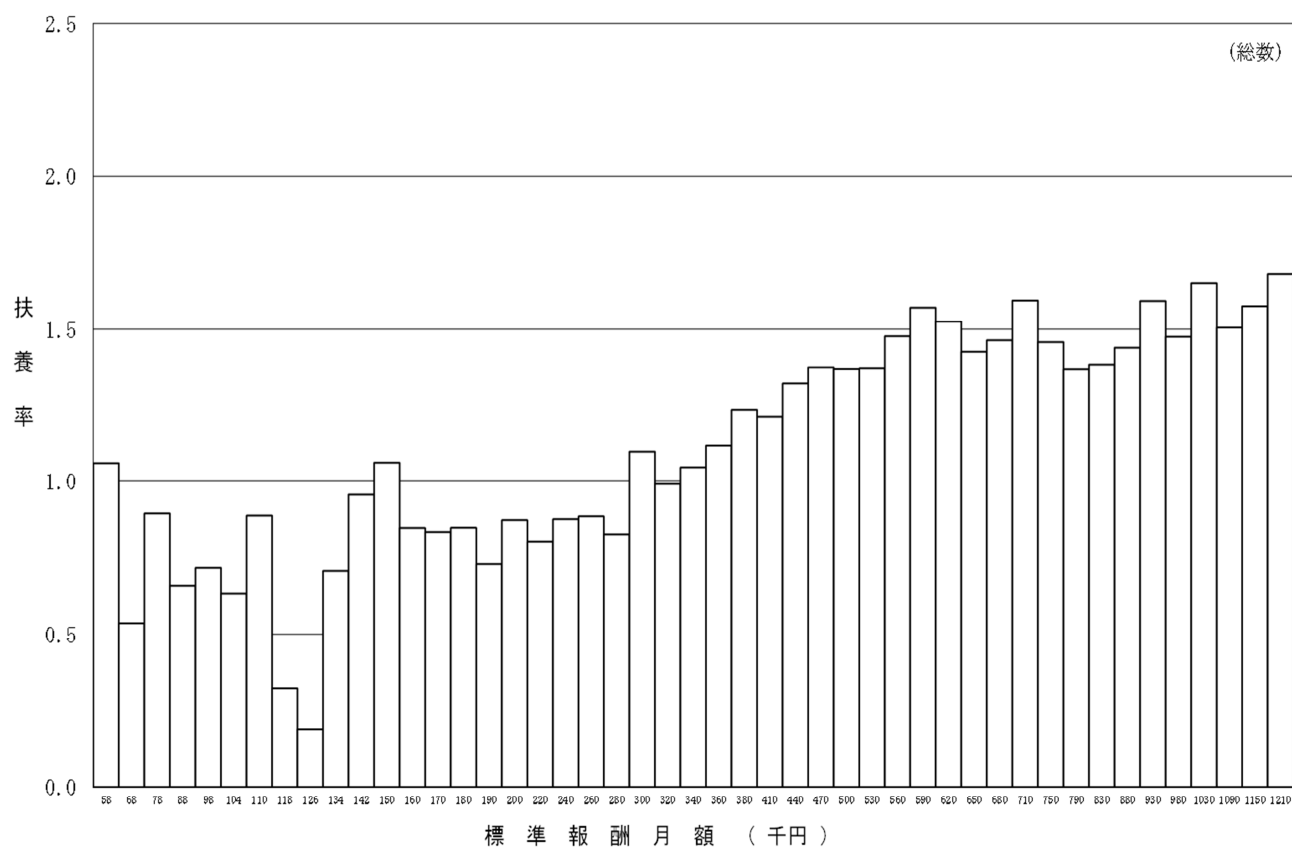
標準報酬月額別にみた扶養率を示したものが表7及び図3である。男性についてみると、概ね標準報酬月額が19万円程度から59万円程度の間で、標準報酬月額の上昇とともに扶養率も増加する傾向にある。扶養率が最も高いのは標準報酬月額121万円の1.680となっている。

また、船舶種別にみると、概ね男性と同様の傾向となっており、扶養率が最も高いのは汽船等が標準報酬月額121万円の2.110、漁船(い)が標準報酬月額79万円の1.875、漁船(ろ)が標準報酬月額93万円の1.576となっている。

表7 標準報酬月額別扶養率（平成26年10月1日現在）

標準報酬月額	総数	男性	女性	(再掲) 汽船等	(再掲) 漁船(い)	(再掲) 漁船(ろ)
総数	1.153	1.170	0.077	1.206	0.756	1.092
58,000 円	1.060	1.066	0.000	0.735	0.636	1.354
68,000	0.537	0.550	0.000	0.769	—	0.400
78,000	0.895	0.944	0.000	0.750	1.000	1.045
88,000	0.658	0.675	0.000	0.529	—	0.750
98,000	0.717	0.749	0.074	0.750	0.714	0.492
104,000	0.633	0.638	0.000	0.686	1.000	0.536
110,000	0.888	0.888	—	0.809	—	0.898
118,000	0.324	0.327	0.000	0.741	—	0.221
126,000	0.189	0.188	0.286	0.606	0.333	0.154
134,000	0.707	0.713	0.000	1.051	0.889	0.594
142,000	0.956	0.972	0.250	0.622	0.667	0.984
150,000	1.062	1.079	0.000	0.745	0.750	1.239
160,000	0.848	0.872	0.000	0.602	0.545	0.982
170,000	0.835	0.865	0.190	0.678	0.615	0.994
180,000	0.849	0.874	0.171	0.741	0.800	0.911
190,000	0.729	0.779	0.027	0.487	0.292	0.940
200,000	0.873	0.906	0.115	0.727	0.725	1.010
220,000	0.805	0.857	0.040	0.663	0.340	0.980
240,000	0.877	0.922	0.030	0.780	0.701	1.133
260,000	0.886	0.915	0.022	0.817	0.530	1.029
280,000	0.827	0.843	0.064	0.792	0.602	0.961
300,000	1.098	1.116	0.077	1.099	0.686	1.176
320,000	0.991	1.009	0.080	0.976	0.546	1.132
340,000	1.046	1.059	0.114	1.073	0.806	1.042
360,000	1.118	1.128	0.103	1.166	0.920	0.956
380,000	1.234	1.240	0.053	1.288	0.745	1.148
410,000	1.212	1.219	0.147	1.283	0.748	1.188
440,000	1.323	1.330	0.136	1.359	0.803	1.259
470,000	1.375	1.380	0.286	1.421	0.975	1.216
500,000	1.370	1.375	0.000	1.439	0.800	1.154
530,000	1.372	1.377	0.000	1.427	1.020	1.205
560,000	1.477	1.480	0.000	1.528	0.833	1.341
590,000	1.572	1.578	0.000	1.652	0.846	1.407
620,000	1.526	1.533	0.000	1.535	1.040	1.541
650,000	1.427	1.434	0.000	1.483	1.188	1.296
680,000	1.464	1.468	0.000	1.572	1.000	1.182
710,000	1.594	1.606	0.000	1.682	0.929	1.446
750,000	1.458	1.461	0.500	1.520	1.273	1.359
790,000	1.369	1.373	0.500	1.451	1.875	1.250
830,000	1.384	1.392	0.000	1.415	0.938	1.399
880,000	1.440	1.441	1.000	1.477	—	1.410
930,000	1.593	1.593	—	1.642	1.000	1.576
980,000	1.476	1.481	0.000	1.534	0.333	1.460
1,030,000	1.651	1.651	—	1.790	1.000	1.565
1,090,000	1.505	1.505	—	1.559	1.667	1.475
1,150,000	1.576	1.580	1.000	1.903	1.000	1.344
1,210,000	1.680	1.680	—	2.110	1.636	1.475

図3 標準報酬月額別扶養率（平成26年10月1日現在）



6. 総報酬額階級別扶養率

被保険者の標準報酬月額額の12ヶ月分に標準賞与額（平成25年10月1日から平成26年9月30日までの1年間に支払われたもの）を加えたものを総報酬額とし、その総報酬額階級別に扶養率を示したものが表8である。男性についてみると、概ね総報酬が100万円程度から900万円程度の間で、総報酬額の上昇に伴い扶養率も増加する傾向にある。扶養率が最も高いのは1,850万円以上1,900万円未満の2.750となっている。

また、船舶種別にみると、総数と同様の傾向を示しており、扶養率が最も高いのは汽船等で1,850万円以上1,900万円未満の2.750、漁船（い）で1,400万円以上1,450万円未満の3.000、漁船（ろ）で1,000万円以上1,050万円未満の1.647となっている。

表8 総報酬額階級別扶養率（平成26年10月1日現在）

総報酬額階級	総 数	男性	女性	(再掲) 汽船等	(再掲) 漁船(い)	(再掲) 漁船(ろ)
総 数	1.153	1.170	0.077	1.206	0.756	1.092
～ 999,000 円	0.994	1.009	0.000	0.753	0.636	1.209
1,000,000 ～ 1,499,000	0.586	0.599	0.057	0.733	0.778	0.410
1,500,000 ～ 1,999,000	0.735	0.745	0.088	0.726	0.767	0.723
2,000,000 ～ 2,499,000	0.859	0.888	0.121	0.702	0.595	0.980
2,500,000 ～ 2,999,000	0.875	0.910	0.075	0.758	0.568	1.047
3,000,000 ～ 3,499,000	0.882	0.908	0.000	0.820	0.551	1.012
3,500,000 ～ 3,999,000	1.026	1.053	0.064	1.012	0.562	1.142
4,000,000 ～ 4,499,000	0.947	0.966	0.090	0.977	0.606	0.929
4,500,000 ～ 4,999,000	1.089	1.100	0.015	1.127	0.442	1.127
5,000,000 ～ 5,499,000	1.206	1.215	0.103	1.230	0.655	1.244
5,500,000 ～ 5,999,000	1.245	1.254	0.226	1.258	0.969	1.242
6,000,000 ～ 6,499,000	1.285	1.292	0.148	1.324	1.033	1.184
6,500,000 ～ 6,999,000	1.431	1.435	0.200	1.445	1.109	1.399
7,000,000 ～ 7,499,000	1.449	1.460	0.000	1.470	0.958	1.435
7,500,000 ～ 7,999,000	1.504	1.509	0.000	1.536	1.290	1.331
8,000,000 ～ 8,499,000	1.510	1.514	0.000	1.567	1.176	1.198
8,500,000 ～ 8,999,000	1.619	1.626	0.000	1.679	0.900	1.479
9,000,000 ～ 9,499,000	1.409	1.413	0.400	1.481	0.813	1.288
9,500,000 ～ 9,999,000	1.582	1.586	0.000	1.654	1.375	1.405
10,000,000 ～ 10,499,000	1.765	1.765	－	1.775	1.556	1.647
10,500,000 ～ 10,999,000	1.582	1.583	1.000	1.654	2.833	1.410
11,000,000 ～ 11,499,000	1.748	1.748	－	1.884	0.889	1.546
11,500,000 ～ 11,999,000	1.528	1.532	0.000	1.634	1.000	1.458
12,000,000 ～ 12,499,000	1.623	1.623	－	1.670	1.667	1.564
12,500,000 ～ 12,999,000	1.607	1.607	－	1.615	1.000	1.625
13,000,000 ～ 13,499,000	1.471	1.471	－	1.469	1.667	1.467
13,500,000 ～ 13,999,000	1.629	1.632	1.000	1.961	2.333	1.344
14,000,000 ～ 14,499,000	2.000	2.000	－	2.034	3.000	1.000
14,500,000 ～ 14,999,000	1.673	1.673	－	2.113	1.750	1.480
15,000,000 ～ 15,499,000	1.652	1.652	－	1.706	1.000	1.600
15,500,000 ～ 15,999,000	1.111	1.111	－	1.250	－	0.000
16,000,000 ～ 16,499,000	2.050	2.050	－	2.050	－	－
16,500,000 ～ 16,999,000	1.700	1.700	－	1.778	－	1.000
17,000,000 ～ 17,499,000	2.375	2.375	－	2.714	－	0.000
17,500,000 ～ 17,999,000	1.667	1.667	－	2.000	－	1.000
18,000,000 ～ 18,499,000	1.714	1.714	－	1.769	－	1.000
18,500,000 ～ 18,999,000	2.750	2.750	－	2.750	－	－
19,000,000 ～ 19,499,000	－	－	－	－	－	－
19,500,000 ～ 19,999,000	－	－	－	－	－	－
20,000,000 ～	－	－	－	－	－	－

(注)総報酬額は、標準報酬月額額の12ヶ月分に標準賞与額（平成25年10月1日から平成26年9月30日までの1年間に支払われたもの）を加えたものとしている。

7. 年齢階級別平均標準報酬月額

被保険者の年齢階級別にみた平均標準報酬月額を示したものが表9及び図4である。男性は年齢階級別にみると山型をなしており、ピークは50～54歳で、469,969円となっている。これを20歳未満の平均標準報酬月額と比較すると、約1.93倍となっている。また、45歳ごろまでの平均標準報酬月額は年齢階級の上昇とともに2～8万円程度増加するが、その後はそれより小幅な増加となり、55歳を過ぎると平均標準報酬月額は年齢とともに概ね減少する傾向となっている。

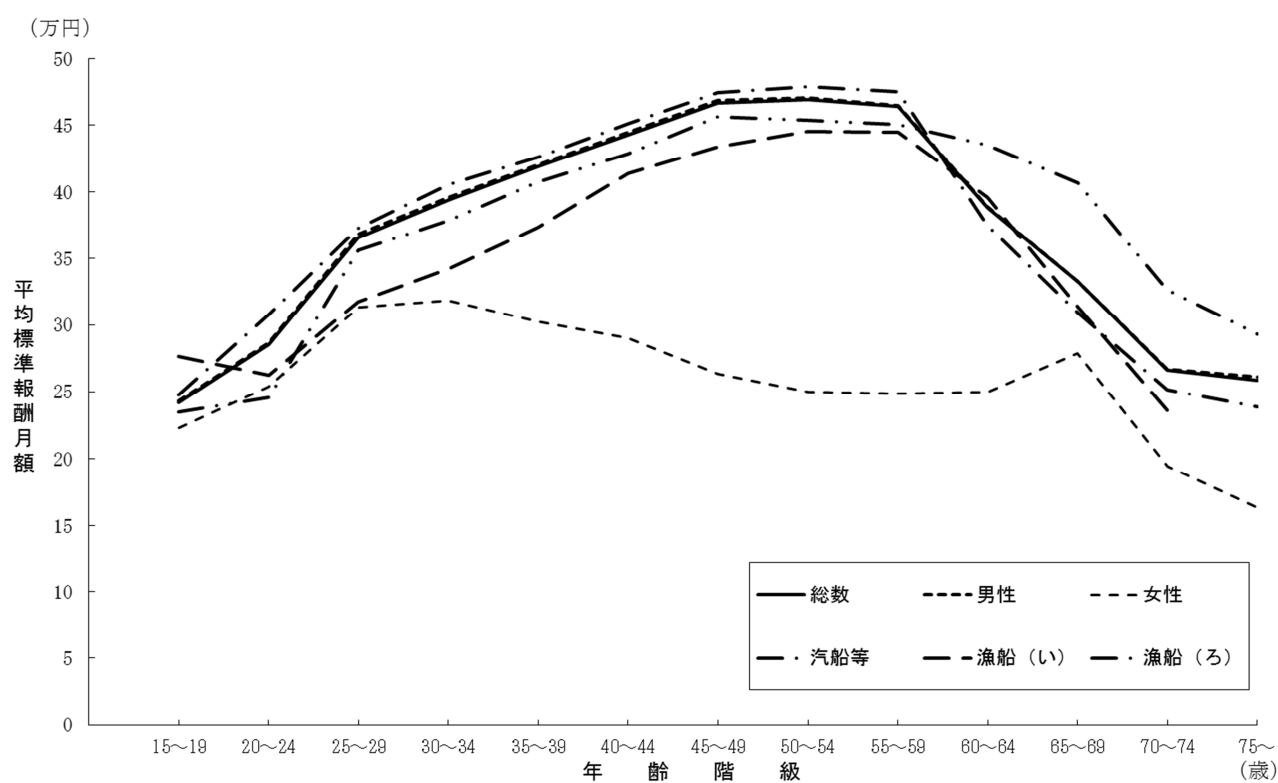
一方、女性の平均標準報酬月額は30～34歳と65～69歳でピークを迎え、30～34歳では318,078円、65～69歳では278,870円となっている。

また、船舶種別にみると、男性と同様に山型をなしており、ピークは汽船等が50～54歳の478,331円、漁船（い）が50～54歳の445,511円、漁船（ろ）が45～49歳の456,003円となっている。

表9 年齢階級別平均標準報酬月額（平成26年10月1日現在）

年齢階級	総数	男性	女性	(再掲) 汽船等	(再掲) 漁船(い)	(再掲) 漁船(ろ)
	円	円	円	円	円	円
総 数	404,194	406,156	278,180	412,086	379,201	400,672
15～19歳	241,646	242,932	223,231	247,818	276,061	234,977
20～24	285,255	286,830	253,741	307,748	262,569	245,586
25～29	366,043	368,507	313,363	372,816	317,006	356,605
30～34	393,887	395,699	318,078	405,376	342,371	378,790
35～39	418,749	420,563	302,541	426,274	373,860	407,550
40～44	442,716	444,770	290,353	450,743	413,704	428,824
45～49	466,214	468,344	263,414	473,745	433,403	456,003
50～54	468,719	469,969	249,838	478,331	445,511	453,684
55～59	464,046	464,691	248,308	474,743	444,737	450,129
60～64	388,608	389,091	249,931	375,030	396,093	434,781
65～69	332,413	332,701	278,870	309,280	313,159	406,882
70～74	265,822	266,684	194,125	251,293	236,200	326,417
75歳以上	258,764	260,980	163,143	238,490	354,000	293,173

図4 年齢階級別平均標準報酬月額（平成26年10月1日現在）



8. 年齢階級別平均標準賞与額

平成25年10月1日から平成26年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額の平均を年齢階級別に示したものが表10及び図5である。

年齢階級別の分布をみると、男性は標準報酬月額と同様の山型をなしており、ピークは50～54歳で622,718円となっている。これを20歳未満の平均標準賞与額と比較すると約5.81倍となり、平均標準報酬月額の場合よりも比率が大きくなっている。女性の平均標準賞与額についても山型をなしており、ピークは35～39歳の497,877円となっている。

また、船舶種別にみると、汽船等及び漁船（い）については山型となっているが、漁船（ろ）については、20歳代後半から50歳代後半までが比較的高い水準となっている。ピークは汽船等が50～54歳で迎え829,198円、漁船（い）は55～59歳の769,364円、漁船（ろ）45～49歳の118,680円となっている。なお、漁船（ろ）については大多数の者が賞与の支給を受けていないことに注意を要する。

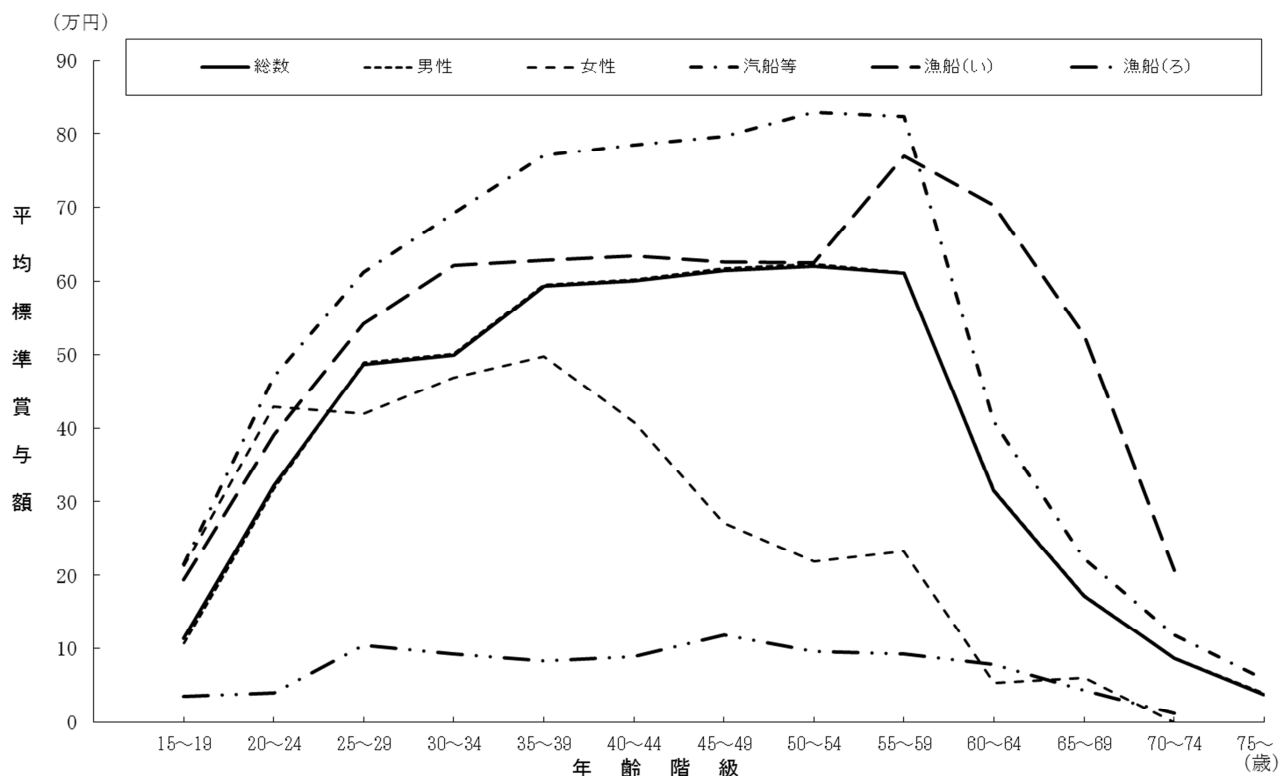
表10 年齢階級別平均標準賞与額（平成26年10月1日現在）

年齢階級	総数	男性	女性	(再掲) 汽船等	(再掲) 漁船(い)	(再掲) 漁船(ろ)
	円	円	円	円	円	円
総 数	481,122	482,954	366,738	646,026	608,815	80,919
15～19 歳	114,010	107,116	212,654	215,022	193,545	35,525
20～24	321,661	316,298	428,454	469,740	391,117	40,170
25～29	486,477	489,574	419,168	612,639	542,566	103,932
30～34	499,672	500,400	468,810	692,340	621,479	92,225
35～39	593,730	595,218	497,877	770,125	628,240	82,860
40～44	600,260	602,881	407,691	784,344	634,117	89,057
45～49	614,021	617,663	271,362	796,066	626,056	118,680
50～54	620,459	622,718	219,361	829,198	625,168	96,485
55～59	610,667	611,826	232,423	823,337	769,364	92,724
60～64	314,765	315,792	53,379	409,143	702,913	78,181
65～69	171,742	172,433	60,609	223,214	527,203	43,993
70～74	86,725	87,821	0	118,666	206,800	12,235
75歳以上	38,220	39,106	－	59,050	－	－

(注1) 平均標準賞与額は、平成26年10月1日現在の被保険者について、平成25年10月1日から平成26年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額の平均を疾病任意継続被保険者を除いて算出している。

(注2) 年齢階級については、平成26年10月1日現在の年齢階級である。

図5 年齢階級別平均標準賞与額（平成26年10月1日現在）



また、平均標準報酬月額と平均標準賞与額の比較を示したものが表11及び図6である。

総数における平均標準賞与額の平均標準報酬月額に対する比率をみると、約1.19ヶ月分となっている。この比率を年齢階級別にみると、山型をなしており、ピークは35～39歳の約1.42ヶ月分となっている。その後は年齢の上昇とともに減少している。

次に男女別でみると、男性は35～39歳、女性は20～24歳でピークとなっており、また、ピーク時の平均標準賞与額の平均標準報酬月額に対する比率は、男性が約1.42ヶ月分、女性が約1.69ヶ月分となっている。

また図6をみると、平均標準賞与額の平均標準報酬月額に対する比率は、40歳代前半までは女性の方が高いが、40歳代後半以降全ての年代で男性の方が高くなっている。

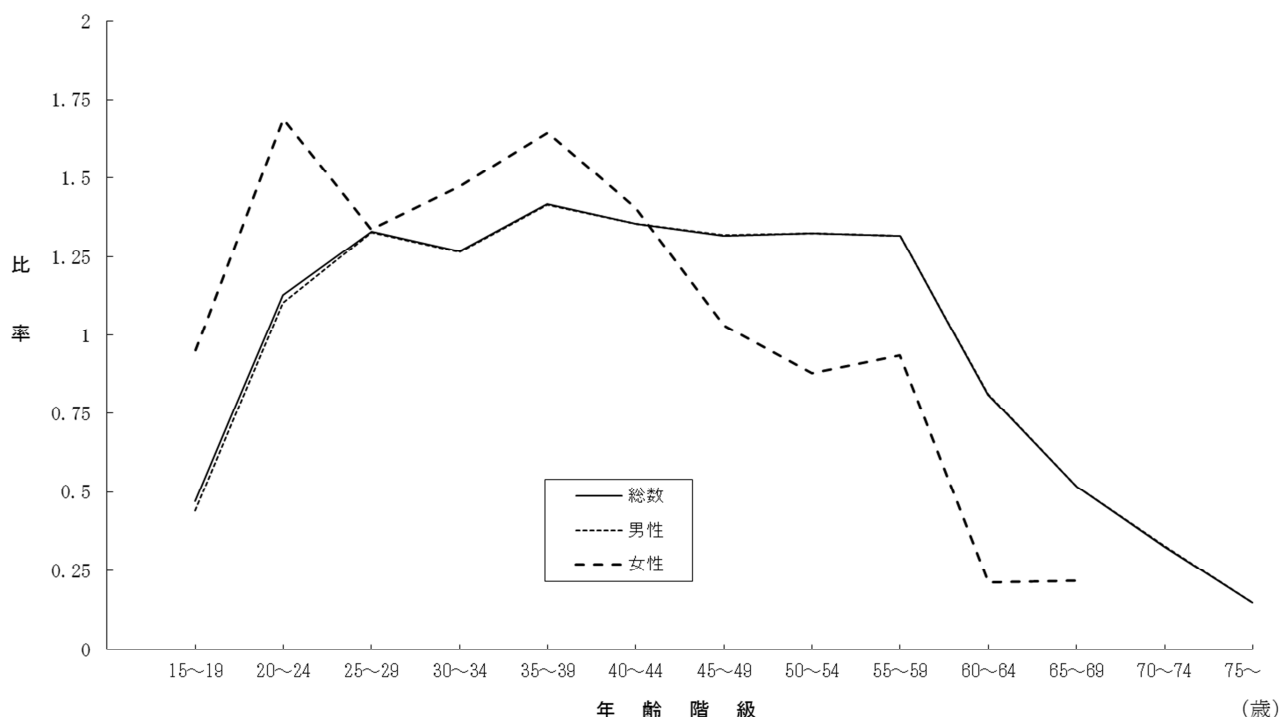
表11 年齢階級別平均標準報酬月額と平均標準賞与額の比較（平成26年10月1日現在）

年齢階級	① 平均標準報酬月額			② 平均標準賞与額			比率（②/①）		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
	円	円	円	円	円	円			
総 数	404,194	406,156	278,180	481,122	482,954	366,738	1.190	1.189	1.318
15～19歳	241,646	242,932	223,231	114,010	107,116	212,654	0.472	0.441	0.953
20～24	285,255	286,830	253,741	321,661	316,298	428,454	1.128	1.103	1.689
25～29	366,043	368,507	313,363	486,477	489,574	419,168	1.329	1.329	1.338
30～34	393,887	395,699	318,078	499,672	500,400	468,810	1.269	1.265	1.474
35～39	418,749	420,563	302,541	593,730	595,218	497,877	1.418	1.415	1.646
40～44	442,716	444,770	290,353	600,260	602,881	407,691	1.356	1.355	1.404
45～49	466,214	468,344	263,414	614,021	617,663	271,362	1.317	1.319	1.030
50～54	468,719	469,969	249,838	620,459	622,718	219,361	1.324	1.325	0.878
55～59	464,046	464,691	248,308	610,667	611,826	232,423	1.316	1.317	0.936
60～64	388,608	389,091	249,931	314,765	315,792	53,379	0.810	0.812	0.214
65～69	332,413	332,701	278,870	171,742	172,433	60,609	0.517	0.518	0.217
70～74	265,822	266,684	194,125	86,725	87,821	0	0.326	0.329	0.000
75歳以上	258,764	260,980	163,143	38,220	39,106	-	0.148	0.150	-

（注1）平均標準賞与額は、平成26年10月1日現在の被保険者について、平成25年10月1日から平成26年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額の平均を疾病任意継続被保険者を除いて算出している。

（注2）年齢階級については、平成26年10月1日現在の年齢階級である。

図6 平均標準報酬月額と平均標準賞与額の比較（平成26年10月1日現在）



9. 年齢階級別平均総報酬額

被保険者の平均総報酬額（標準報酬月額の12ヶ月分に標準賞与額（平成25年10月1日から平成26年9月30日までの1年間に支払われたもの）を加えたもの）を年齢階級別に示したものが表12及び図7である。

年齢階級別の分布をみると、男性は標準報酬月額と同様の山型をなしており、ピークとなる年齢階級は50～54歳で6,254,179円となっている。女性の平均総報酬額については標準報酬月額と同様、2つの山があり、30～34歳、65～69歳でピークを迎えているが、男性と比べるとなだらかであり、年齢階級による差があまりみられない。

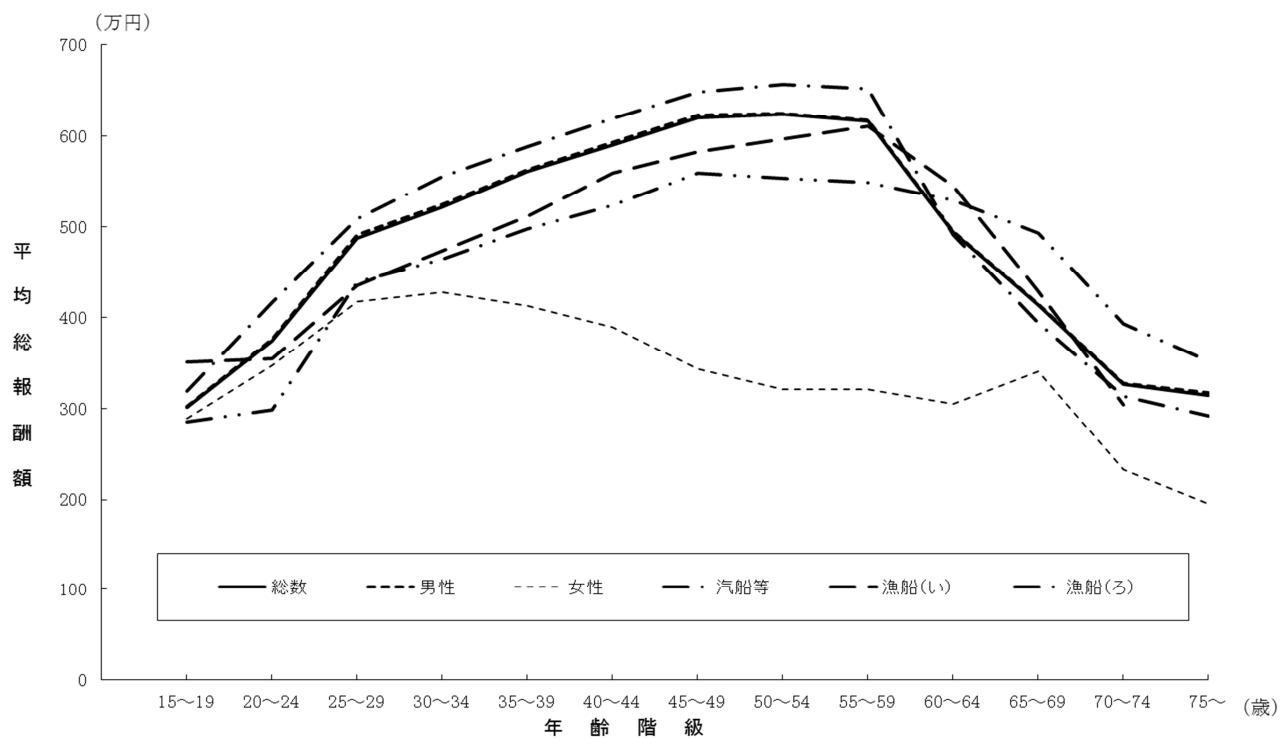
また、船舶種別にみると、男性と同様に山型をなしており、ピークは汽船等が50～54歳で6,569,165円、漁船（い）が55～59歳で6,106,206円、漁船（ろ）が45～49歳で5,590,714円となっている。

表12 年齢階級別平均総報酬額（平成26年10月1日現在）

年齢階級	総数	男性	女性	（再掲） 汽船等	（再掲） 漁船（い）	（再掲） 漁船（ろ）
	円	円	円	円	円	円
総 数	5,312,719	5,337,831	3,700,465	5,591,053	5,159,226	4,888,985
15～19	3,013,621	3,022,150	2,891,423	3,188,840	3,506,273	2,855,255
20～24	3,743,161	3,756,642	3,473,343	4,162,715	3,541,949	2,987,204
25～29	4,874,554	4,907,561	4,169,100	5,086,426	4,346,634	4,383,191
30～34	5,222,549	5,245,152	4,276,559	5,556,851	4,729,934	4,637,699
35～39	5,613,423	5,636,698	4,121,635	5,885,415	5,114,556	4,973,455
40～44	5,907,338	5,934,508	3,891,926	6,193,264	5,598,562	5,234,943
45～49	6,201,222	6,230,294	3,432,328	6,481,003	5,826,889	5,590,714
50～54	6,236,897	6,254,179	3,211,486	6,569,165	5,971,299	5,540,696
55～59	6,163,899	6,172,719	3,212,115	6,520,251	6,106,206	5,494,275
60～64	4,942,329	4,948,907	3,052,552	4,909,502	5,456,029	5,295,555
65～69	4,137,720	4,141,652	3,407,043	3,934,576	4,285,116	4,926,577
70～74	3,262,153	3,273,373	2,329,500	3,134,186	3,041,200	3,929,243
75歳以上	3,143,385	3,170,868	1,957,714	2,920,930	4,248,000	3,518,077

（注）総報酬額は、標準報酬月額の12ヶ月分に標準賞与額（平成25年10月1日から平成26年9月30日までの1年間に支払われたもの）を加えたものとしている。

図7 年齢階級別平均総報酬額（平成26年10月1日現在）



10. 年齢階級別標準賞与額0円の被保険者の割合

標準賞与額について、支給額が0円の被保険者の割合を年齢階級別に示したものが表13である。総数でみると0.504と半数以上の者が賞与を受けていない。

次に男女別、年齢階級別にみると、男性については年齢の上昇に伴い、いったん割合は減少したのち、再び上昇する傾向にある。最も割合の低い年齢階級は35～39歳で0.409となっており、逆に最も割合の高い年齢階級は75歳以上で0.921となっている。女性についても男性と同様の傾向であり、最も割合の低い年齢階級は20～24歳及び30～34歳で0.250となっており、逆に最も割合の高い年齢階級は70～74歳及び75歳以上で1.000となっている。

また、船舶種別にみると、汽船等は約3割、漁船（い）は約4割の者が賞与を受けておらず、漁船（ろ）に至っては約9割の者が賞与の支給を受けていない。また、年齢階級別にみると、どの適用区分においても年齢の上昇に伴い、いったん割合は減少したのち、再び上昇する傾向にある。最も割合の低い年齢階級は、汽船等が35～39歳で0.229、漁船（い）が15～19歳で0.333、漁船（ろ）が45～49歳で0.913となっており、逆に汽船等、漁船（い）及び漁船（ろ）で最も割合の高い年齢階級は75歳以上で、汽船等が0.880、漁船（い）が1.000、漁船（ろ）が1.000となっている。

表13 年齢階級別標準賞与額0円の被保険者の割合（平成26年10月1日現在）

年齢階級	総数	男性	女性	(再掲) 汽船等	(再掲) 漁船(い)	(再掲) 漁船(ろ)
総 数	0.504	0.506	0.394	0.326	0.391	0.934
15～19歳	0.675	0.696	0.365	0.326	0.333	0.950
20～24	0.488	0.500	0.250	0.239	0.365	0.960
25～29	0.425	0.428	0.352	0.263	0.360	0.913
30～34	0.459	0.464	0.250	0.234	0.341	0.932
35～39	0.408	0.409	0.342	0.229	0.368	0.924
40～44	0.433	0.433	0.471	0.256	0.426	0.923
45～49	0.438	0.437	0.517	0.264	0.417	0.913
50～54	0.455	0.454	0.611	0.268	0.418	0.926
55～59	0.465	0.465	0.538	0.273	0.368	0.928
60～64	0.620	0.619	0.828	0.485	0.355	0.937
65～69	0.756	0.756	0.826	0.661	0.594	0.965
70～74	0.840	0.838	1.000	0.782	0.700	0.971
75歳以上	0.922	0.921	1.000	0.880	1.000	1.000

(注1) 標準賞与額0円の割合は、平成26年10月1日現在の被保険者について、疾病任意継続被保険を除いた平成25年10月1日から平成26年9月30日の1年間で算出している。

(注2) 年齢階級については、平成26年10月1日現在の年齢階級である。

1 1. 年齢階級別、被保険者期間別構成等

被保険者期間（資格取得後平成26年10月1日までの期間）が1年未満か、1年以上かにより、年齢階級別に被保険者の総数に対する割合を示したものが表14である。

被保険者期間1年未満の割合は、年齢階級総数で24.2%となっており、年齢の上昇に伴い概ね減少する傾向にあるが、学卒者の新規加入の影響により、20歳未満で1年未満の被保険者が多くなっている。また、定年後の再就職による加入の影響により、60～74歳の各年齢区分の1年未満の被保険者の割合は、前後の年齢階級と比べて多くなっている。

また、船舶種別にみると、被保険者期間1年未満の割合は汽船等が19.2%、漁船（い）が22.4%、漁船（ろ）が37.4%となっており、年齢階級別の状況はどの適用区分も総数とほぼ同様になっているが、25～74歳の各年齢区分において、汽船等及び漁船（い）に比べ漁船（ろ）の方が1年未満の割合が高くなっている。

表14 年齢階級別、被保険者期間別被保険者構成（平成26年10月1日現在）

年齢階級	総数			(再掲) 汽船等		
	総数	1年未満	1年以上	総数	1年未満	1年以上
総 数	100.0	24.2	75.8	100.0	19.2	80.8
15～19歳	100.0	79.3	20.7	100.0	79.0	21.0
20～24	100.0	39.5	60.5	100.0	39.1	60.9
25～29	100.0	26.6	73.4	100.0	21.9	78.1
30～34	100.0	23.9	76.1	100.0	18.3	81.7
35～39	100.0	19.7	80.3	100.0	14.3	85.7
40～44	100.0	20.1	79.9	100.0	14.2	85.8
45～49	100.0	19.9	80.1	100.0	15.0	85.0
50～54	100.0	19.4	80.6	100.0	14.3	85.7
55～59	100.0	19.5	80.5	100.0	13.3	86.7
60～64	100.0	24.5	75.5	100.0	20.5	79.5
65～69	100.0	28.3	71.7	100.0	25.1	74.9
70～74	100.0	25.8	74.2	100.0	25.0	75.0
75歳以上	100.0	15.5	84.5	100.0	12.0	88.0
年齢階級	(再掲) 漁船（い）			(再掲) 漁船（ろ）		
	総数	1年未満	1年以上	総数	1年未満	1年以上
総 数	100.0	22.4	77.6	100.0	37.4	62.6
15～19歳	100.0	72.7	27.3	100.0	80.0	20.0
20～24	100.0	41.6	58.4	100.0	40.3	59.7
25～29	100.0	25.1	74.9	100.0	41.1	58.9
30～34	100.0	16.8	83.2	100.0	36.1	63.9
35～39	100.0	16.4	83.6	100.0	35.4	64.6
40～44	100.0	21.0	79.0	100.0	35.5	64.5
45～49	100.0	18.1	81.9	100.0	32.8	67.2
50～54	100.0	15.8	84.2	100.0	32.8	67.2
55～59	100.0	12.7	87.3	100.0	35.1	64.9
60～64	100.0	23.8	76.2	100.0	38.4	61.6
65～69	100.0	36.2	63.8	100.0	39.0	61.0
70～74	100.0	30.0	70.0	100.0	32.5	67.5
75歳以上	100.0	60.0	40.0	100.0	20.2	79.8

次に、被保険者期間別に年齢階級別平均標準報酬月額について比較したものが表15である。

平均標準報酬月額の被保険者期間による比率は、年齢階級別に総数をみると、15～19歳及び55～59歳の2ヶ所でピークを迎え、60歳以降は徐々に小さくなり、75歳以上で最も小さくなっている。

さらに、船舶種別にみると、比率は漁船（い）が最も大きくなっている。また年齢階級別にみると、汽船等については15～19歳で最小、60～64歳で最大、漁船（い）については40～44歳で最小、75歳以上で最大、漁船（ろ）については75歳以上で最小、15～19歳で最大となっている。

表15 年齢階級別、被保険者期間別平均標準報酬月額（平成26年10月1日現在）

年齢階級	総数			(再掲) 汽船等		
	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①
総 数	円 378,345	円 412,467	1.090	円 359,417	円 424,572	1.181
15～19歳	234,953	267,285	1.138	249,151	242,806	0.975
20～24	289,611	282,411	0.975	300,596	312,343	1.039
25～29	352,751	370,853	1.051	336,071	383,123	1.140
30～34	385,270	396,592	1.029	376,865	411,746	1.093
35～39	420,152	418,406	0.996	397,550	431,078	1.084
40～44	446,029	441,885	0.991	456,016	449,870	0.987
45～49	470,106	465,249	0.990	470,265	474,358	1.009
50～54	451,030	472,978	1.049	441,211	484,532	1.098
55～59	427,526	472,900	1.106	418,712	483,323	1.154
60～64	367,536	395,436	1.076	315,222	390,481	1.239
65～69	328,791	333,846	1.015	265,425	323,970	1.221
70～74	288,427	257,970	0.894	232,750	257,485	1.106
75歳以上	386,542	235,264	0.609	238,500	238,489	1.000
年齢階級	(再掲) 漁船（い）			(再掲) 漁船（ろ）		
	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①
総 数	円 318,577	円 396,691	1.245	円 411,780	円 394,022	0.957
15～19歳	268,750	295,556	1.100	222,975	282,854	1.269
20～24	253,719	268,875	1.060	274,084	226,369	0.826
25～29	293,636	324,855	1.106	385,955	336,148	0.871
30～34	269,286	357,094	1.326	402,980	365,108	0.906
35～39	317,143	384,965	1.214	456,399	380,806	0.834
40～44	408,824	415,000	1.015	443,207	420,898	0.950
45～49	339,077	454,186	1.339	484,928	441,897	0.911
50～54	363,241	460,903	1.269	469,046	446,202	0.951
55～59	391,724	452,462	1.155	442,373	454,328	1.027
60～64	379,854	401,176	1.056	438,983	432,158	0.984
65～69	265,120	340,455	1.284	437,342	387,445	0.886
70～74	182,667	259,143	1.419	419,393	281,725	0.672
75歳以上	193,333	595,000	3.078	583,333	219,759	0.377

また、被保険者期間別に年齢階級別平均標準賞与額について比較したものが表16である。
平均標準賞与額の被保険者期間による比率は、年齢階級別に総数をみると、60歳以降は徐々に大きくなり、65～69歳で最も大きくなっている。

さらに、総数を船舶種別にみると、比率は漁船（ろ）が最も大きくなっている。また年齢階級別にみると、汽船等については75歳以上で最小、70～74歳で最大、漁船（い）については、30～34歳で最小、65～69歳で最大、漁船（ろ）については40～44歳で最小、25～29歳で最大となっている。

表16 年齢階級別、被保険者期間別平均標準賞与額（平成26年10月1日現在）

年齢階級	総数			(再掲) 汽船等		
	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①
総 数	円 104,856	円 603,608	5.757	円 189,223	円 754,320	3.986
15～19歳	57,372	330,606	5.762	128,048	542,149	4.234
20～24	117,155	455,650	3.889	180,095	655,821	3.642
25～29	122,103	619,089	5.070	197,066	729,212	3.700
30～34	126,801	616,512	4.862	241,620	793,047	3.282
35～39	131,048	706,868	5.394	239,973	858,785	3.579
40～44	156,955	710,540	4.527	297,573	864,946	2.907
45～49	179,064	720,918	4.026	321,049	879,767	2.740
50～54	117,245	742,059	6.329	224,967	930,140	4.135
55～59	128,396	728,080	5.671	269,878	908,089	3.365
60～64	41,939	411,037	9.801	74,479	495,603	6.654
65～69	20,844	235,539	11.300	35,008	286,255	8.177
70～74	10,404	115,475	11.099	16,635	152,736	9.181
75歳以上	15,021	42,487	2.829	30,042	63,006	2.097
年齢階級	(再掲) 漁船（い）			(再掲) 漁船（ろ）		
	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①
総 数	円 118,795	円 750,181	6.315	円 2,598	円 127,810	49.195
15～19歳	72,833	515,444	7.077	6,158	152,663	24.792
20～24	118,088	585,650	4.959	3,429	64,945	18.937
25～29	151,932	673,771	4.435	793	175,821	221.774
30～34	210,214	704,324	3.351	3,800	142,235	37.426
35～39	149,107	722,056	4.843	3,328	126,401	37.983
40～44	65,559	785,141	11.976	8,791	133,289	15.162
45～49	208,462	718,068	3.445	1,319	175,913	133.412
50～54	81,724	726,845	8.894	943	143,018	151.599
55～59	136,828	861,543	6.297	1,532	142,090	92.724
60～64	93,610	893,611	9.546	1,364	126,144	92.484
65～69	40,920	803,500	19.636	779	71,569	91.847
70～74	0	295,429	－	0	18,116	－
75歳以上	0	0	－	0	0	－

(注1) 平均標準賞与額は、平成26年10月1日現在の被保険者について、平成25年10月1日から平成26年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額の平均を疾病任意継続被保険者を除いて算出している。

(注2) 年齢階級については、平成26年10月1日現在の年齢階級である。

12. 規模別被保険者構成割合、扶養率等

船舶所有者が使用する被保険者数（以下、「規模」という。）別にみた被保険者の構成割合、扶養率、平均標準報酬月額及び平均標準賞与額を示したものが表17である。

被保険者構成割合をみると、規模10～19人が最も多く17.6%となっている。また、規模100人未満の割合は81.5%となっている。適用区分別に被保険者構成割合が最も高いところをみると、汽船等が規模50～99人の18.2%、漁船（い）が規模30～49人の25.2%、漁船（ろ）が規模10～19人の23.2%となっている。

規模別の扶養率は、総数だと規模の違いによるはっきりとした傾向はみられないが、漁船（い）については、規模20～29人をピークとした山型をなしている。

規模と平均標準報酬月額との関係をみると、規模が大きくなるにつれ、概ね増加傾向となる。また、規模と平均標準賞与額との関係をみると、規模が大きくなるに伴い高くなる傾向にあるが、総数及び汽船等については、規模300～499人でかなり下落している。

表17 船舶所有者が使用する被保険者数別被保険者構成割合、扶養率、平均標準報酬月額及び平均標準賞与額（平成26年10月1日現在）

使用する被保険者数	総数				（再掲）汽船等			
	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額
	%		円	円	%		円	円
総 数	100.0	1.153	404,194	481,122	100.0	1.206	412,086	646,026
1～4人	7.7	1.184	295,304	180,665	7.3	1.241	343,108	274,061
5～9	14.0	1.165	350,648	248,860	13.4	1.212	357,885	375,628
10～19	17.6	1.160	398,064	361,965	16.5	1.237	387,037	555,512
20～29	12.1	1.157	392,609	480,754	12.3	1.234	399,099	649,450
30～49	14.4	1.170	416,852	503,395	14.3	1.227	408,641	713,962
50～99	15.8	1.163	433,594	708,434	18.2	1.176	423,130	849,035
100～299	13.5	1.182	496,364	795,840	16.4	1.218	486,943	902,321
300～499	1.1	0.501	672,684	0	1.6	0.501	672,684	0
500～999	0.0	—	—	—	0.0	—	—	—
1,000人以上	0.0	—	—	—	0.0	—	—	—
疾病任継	3.9	0.979	314,651
使用する被保険者数	（再掲）漁船（い）				（再掲）漁船（ろ）			
	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額
	%		円	円	%		円	円
総 数	100.0	0.756	379,201	608,815	100.0	1.092	400,672	80,919
1～4人	6.4	0.726	247,604	218,792	9.7	1.113	213,701	12,537
5～9	7.2	0.817	302,183	350,192	17.8	1.094	339,827	20,621
10～19	11.7	0.928	370,093	312,629	23.2	1.042	417,906	41,114
20～29	5.6	1.120	471,391	756,533	14.2	1.002	376,287	126,168
30～49	25.2	0.711	363,215	685,177	15.6	1.121	443,192	21,621
50～99	24.2	0.798	373,686	873,616	11.5	1.192	485,208	150,020
100～299	19.7	0.543	457,025	541,767	8.0	1.168	551,125	348,710
300～499	0.0	—	—	—	0.0	—	—	—
500～999	0.0	—	—	—	0.0	—	—	—
1,000人以上	0.0	—	—	—	0.0	—	—	—
疾病任継

（注1）平均標準賞与額は、平成26年10月1日現在の被保険者について、平成25年10月1日から平成26年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額の平均を疾病任意継続被保険者を除いて算出している。

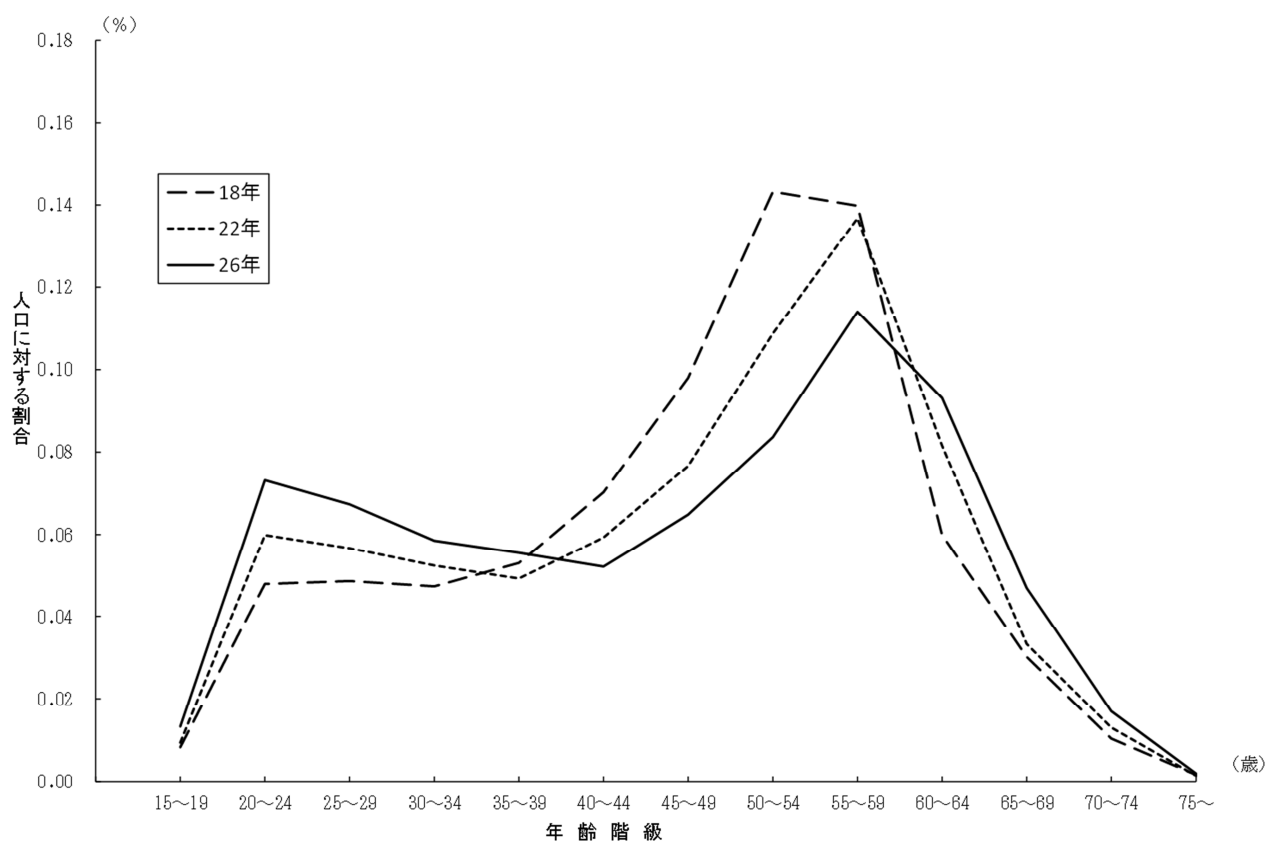
（注2）年齢階級については、平成26年10月1日現在の年齢階級である。

1 3. 被保険者数の推移について

総人口に対する被保険者数の割合（以下、「被保険者割合」という。）の推移を男女計について年齢階級別に示したものが図8である。

被保険者割合をみると、平成18年から22年にかけては30歳代後半から50歳代前半までは減少しており、その他の年齢階級では概ね増加している。また、平成22年から26年にかけては40歳代前半から50歳代後半までは減少しており、その他の年齢階級では概ね増加している。

図8 年齢階級別にみた被保険者数（男女計）の総人口に対する割合の推移
（各年10月1日現在）



男女別に人口に対する被保険者数の割合の推移を年齢階級別に示したものが図 9－1、9－2 である。

男性については、男女計と同様に平成18年から平成22年にかけては30歳代後半から50歳代前半までは減少しており、その他の年齢階級では概ね増加している。また、平成22年から26年にかけても30歳代後半から50歳代後半までは減少しており、その他の年齢階級では概ね増加している。

また、女性については、平成18年から平成22年にかけては、20歳代前半から40歳代前半までは増加がみられ、その他の年齢については減少している。平成22年から平成26年にかけては20歳代後半から40歳代後半にかけて増加しており、50歳代に若干減少がみられるものの、その他については概ね横ばいとなっている。

図 9－1 年齢階級別にみた男性被保険者数の男性人口に対する割合の推移
(各年10月 1 日現在)

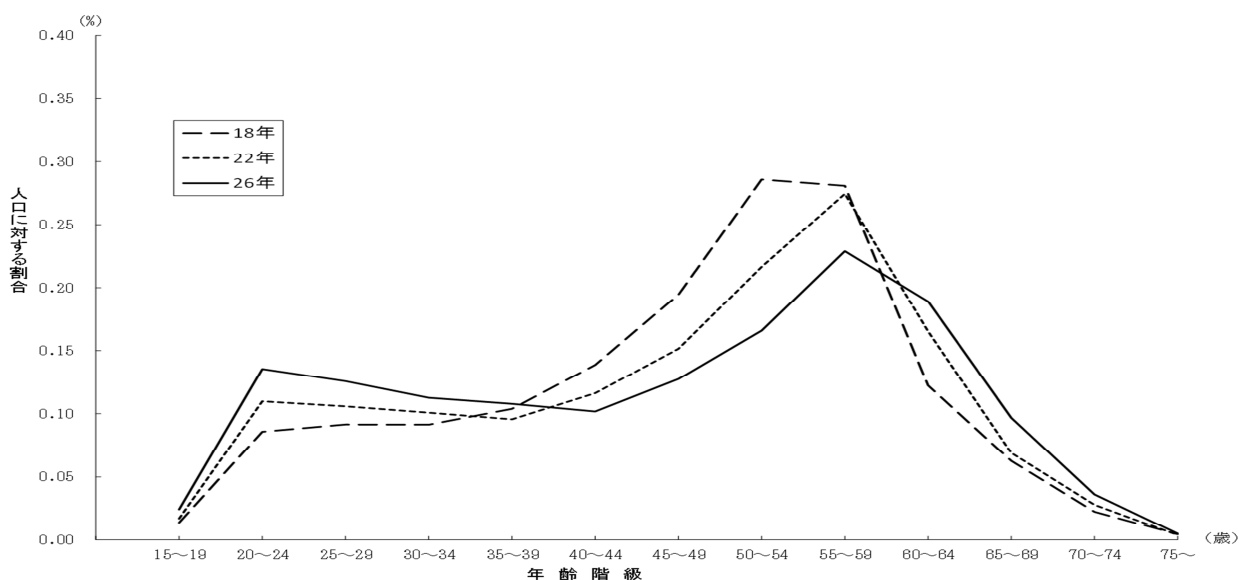


図 9－2 年齢階級別にみた女性被保険者数の女性人口に対する割合の推移
(各年10月 1 日現在)

